

明治二十三年法律第九十號中改正法律案外二件委員

多田 通君 高岡 忠郷君 村野常右衛門君

大村 和吉郎君 中辰之助君

江島 久米雄君 土居平左衛門君

裁判所構成法中改正法律案委員

花井 卓藏君 藤澤幾輔君 高津雅雄君

木村 格之輔君 丸山嵯峨一郎君 高須賀穰君

平岡 萬次郎君 後藤文一郎君 有馬要介君

刑法中改正法律案委員

望月 長夫君 山田 利光 武君 高津雅雄君

大塚 成吉君 森 東一郎君 重岡薰五郎君

官國幣社經費復舊建議案委員

山田 喜之助君 多田 作兵衛君 磯田和藏君

小津淳一郎君 山口 定省君 小崎義明君

大限 英麿君 井手 毛三君 早川龍介君

藤野辰次郎君 寺田彦太郎君 河口善之助君

佐藤伊助君 望月圭介君 三輪傳七君

(左)質問書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス

小笠原島及伊豆七島ニ於ケル行政ニ關スル質問書

明治二十三年勅令二百十五號小學校令中改正建議案委員

中山平八郎君 岩瀬武司君 井上信八君

大隈英麿君 佐藤伊助君

(左)質問書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス

小笠原島及伊豆七島ニ於ケル行政ニ關スル質問書

明治三十年小笠原島母島北村ニ火災アリシ際宮内省ヨリ特ニ片岡侍從ヲ

同島ニ派遣セラレ恩賜金ヲ同罹災民ニ下付セラレタルニ同島島司阿利孝

太郎ハ何故カ之レカ配當ヲナサス之レヲ同村共有金ト爲シタリ當時罹災

民ノ一人淺沼五郎ナル者ハ天恩ヲ拜セントヲ欲シ之レヲ他ニ積置金ニ

爲スヲ拒ミタルニ同島司ハ理由ナク巡查ヲシテ之レヲ拘引セシメ強ニル

ニ配分額出ノ取消ヲ爲サシメタルハ實ニ同島民ヲ支配スルノ職分トシテ

アルヘカラサルノミナラス優渥ナル天恩ヲ故意ヲ以テ阻絶シタルモノナ

リ何故ニ之レカ分配ヲ爲サルヤ同島母島ニ現在セル官林中ノ「タコ」ノ

葉ヲ島司阿利孝太郎ハ其部下ナル荻原轍ナル者ニ普通ノ手續ヲ履マス之

レカ拂下ノ取扱ヲ爲サシメ且ツ島民カ拂下テ其製造品ハ製造者自身ノ都

合ヲ以テ何レニ轉賣スルモ勝手タルヘキニ島司阿利孝太郎ハ其自由ヲ束

縛シ其製造品ハ悉皆之レヲ荻原轍ニ賣戾スコトヲ爲サシメ故ニ同島民ハ

ナカラヌ益金ヲ收得スルハ何等專壓ノ處分ナルソ

同一島島司阿利孝太郎ハ其慣行ニ叛キ自己ノ部下ナル菊池虎太郎ニ牧場ノ

餘ノ坪數ヲ拂下然カモ其拂下ハ客年中ニナシタルニモ拘ハラス本月歸航

レタル定期船ニヨリテ出願シタルモノハ如ク五六日前之レヲ東京府廳ヘ

移牒シタリ同島島司カ行政ヲ系ス如斯ハ如何

一本年議會ヲ通過シタル内務省豫算中小笠原島航海費ナルモノハ小笠原及

八丈島ノ航海數ヲ十二航海トナスノ義ニシテ客歲同豫算ノ内務省ニ於テ

確定セラレタルトキ高本正年ハ八丈島地役人高橋郡之助等ト同省ニ出頭

シ小笠原島及八丈島航海費ト記名セラレヌコト以テシタルニ當時大臣

代理トシテ面會セラレタル井上祕書官ハ事實ニ於テ八丈島ハ小笠原島ト

同シク十二航海トナスノ義ナレハ其義ニ及ハサルヘシト談示セラレタル

通り確定シタルモノナルニ小笠原島司阿利孝太郎ハ自己ノ私恩ヲ島民ニ

賣ラヌカタメ其部下ニシテ共ニ同島ニ於ケル事業ノ利益ヲ共ニセル前文

記載ノ荻原及菊池虎太郎ヲシテ小笠原島專行航海ノ請願書ヲ携帶セシメ

且ツ島司留任ノ請願ヲ爲シ航海專行ヲ爲サヌニハ現任島司ヲ留任セシメ

サルヘカラストノ意思ヲ以テ島民ヨリ請願書ヲ出サシメ其甚タシキニ至

リテハ同請願ニ同意セサル村會議員菊池儀平ニ對シ強テ其調印ヲ求メ島

司自ラ己レカ留任請願ヲ爲セル等同島ハ京地ヲ去ル五百有餘ノ海里ヲ

距ツル孤島ナルヲ以テ其事情ノ露白スルノ遙キヲ以テ島司ハ同島ノ政治

ヲ紊亂スル如斯如何

一徹兵檢丁ハ國民ノ義務ナルモ特ニ或ル部分ノ人ヲシテ其檢丁ノ爲ニ少ナ

カラサルノ金額ヲ費サシムルハ忍フ能ハサルノ事項ナリトス伊豆七島ニ

於ケル檢丁ハ之レヲ東京市ニ於テナスカ故ニ各島ノ人々ハ爲ニ一人數十

金ヲ費サルヘカラス細民ノ子弟ノ檢丁ノ爲ニ終身其負債ヲ償フ能ハス

シテ身ヲ誤ルモノ多シトス政府ハ何故ニ小笠原島等ノ如ク島地ニ於テ之

レカ検丁ヲ爲サルヤ

右及質問候也

明治三十二年三月 日

提出者 高木正年
贊成者 田中正造
外二十九名

- 議長(片岡健吉君) 是ヨリ會議ヲ開キマス
- 〔委員長ハ居リマスカト呼フ者アリ〕
- 高木正年君(百四十四番) 私ハ質問書ヲ提出シマシタガ、今日ノ場合演説ハ止メマスカラ、質問書ヲ政府へ御回シヲ願ヒマス
- 議長(片岡健吉君) 議事日程第一、第四號明治三十一年度歲入歲出總豫算追加案、委員長栗原亮一君

第一 (第四號)明治三十一年度歲入歲出總豫算追加案

〔委員長ハ居リマスカト呼フ者アリ〕

(恵松隆慶君・委員長ノ來ルマデハ少シ御見合セヲ願ヒマス)ト呼フ

○議長(片岡健吉君) 唐刈武八郎君カラ、是ヨリ漁業法案ノ委員會ヲ開キタ

イト云フコトデアリマス

切委員會ハ出來マセヌト呼フ

栗原亮一君演壇ニ登ル

〔異議アリ異議アリト呼フ者アリ、恵松隆慶君「豫算ガ濟ムマデハ、一

レタル定期船ニヨリテ出願シタルモノハ如ク五六日前之レヲ東京府廳ヘ

○栗原亮一君(八十七番)ソレデハ追加豫算ノ豫算委員會ノ報告ヲ致シマスル、三十一年度三十二年度ノ追加豫算ガ其後餘程澤山ニ出テ居リマシテ、是モアルノデゴザイマス、此報告ハ主査會ノ纏ルニ從シテ、漸次報告ヲシテ積アリマシタガ、隨分追加豫算ノ中ニハ、臺灣公債或ハ特定航路ノ補助ト云フ大問題モアリマシテ、餘程此主査會ノ諸君ニ於カレテハ、議案ノ提出ニナリマシテ以來、慎重ニ日ヲ重ネテ御調査ニナツタノデアリマス、ソレガタメ主査會ニ於キマシテモ、時日ヲ費シマシタノデ、遂ニ昨日ニ至リマシテ各主査ノ報告ガ集マリマシテ、昨日是マデ提出ニナツテ居リマス所ノ總テノ追加豫算ヲ豫算總會ニ於テ決議ヲ致シタノデアリマス、此報告ノ順序ト致シマシテ臺灣ノ事業公債、是ガ一番ニ早ク委員ニ付シテアリマシタカラ、且ツ是ハ隨分重大ナル問題デアリマスカラ、之ヲ第一ニ御報告ヲ致シマシテ、又此報告ヲ切レキタニシマシテモ、却テ煩雜デモアリマセウカラシテ、アルダケノモノハ此處ニ一時ニ御報告申シマシテ、ソレカラ又段々議事ニ移到コトニナラウト思ヒマス、此臺灣事業公債ハ即チ此第四號三十二年度歲入歲出總豫算追加デアリマスガ、是ハ今日臺灣ノ經營ヲ全クスル上ニ於キマシテ、又臺灣ノ財政ヲ獨立セシメテ、内地ヨリ常ニ巨多ノ補助金ヲ之ニ充ツルト云フコトハ、甚ダ内地ノ財政上ニモ、是マデ困難ヲ感ズル譯デアリマスカラ、此公債ノ精神ハ以後臺灣ノ財政ヲ獨立シタイ、ソレニ附キマシテ色々鐵道ノ敷設、或ハ築港、土地ノ調査、又ハ給水工事、廳舍建築等、種々ノ事業ガアリマシテ、此臺灣ノ經濟ヲ獨立セシムル上ニ於テ、又臺灣ノ經營ヲ全クスル上ニ於テハ、ドウモ到底此コトハ必要已ムヲ得ナイコトデアル、詰リ此事業ノ中ニ於キマシテ、四千万圓ノ内五百萬圓ト云フモノヲ總テノ費用ノ上カラシテ相通シテ減額ヲ致シテ、種々審議討論ノ末、其議案ヲ認メマシテ、五百万圓ノ削減ヲ加ヘテ之ヲ協賛スルコトニ、委員會ニ於キマテハ可決致シマシタノデアリマス、何レ此詳細ノ所ハ、當局者ヨリ又説明モアリマセウ、又細カシキ所ハ、政府委員ニ就キマシテ十分御質問アルヤウニシタイト思ヒマス、大體サウ云フ結局ニナツテ居リマス、第四號——特追第四號ノ方モ臺灣ニ關係ノモノデアリマシテ、特追第四號ノ方デハ、臺灣公債募集金ノ募集三百五十萬圓デアリマス原案ヲ之ヲ減ジマシテ、三百二十萬圓ト致シマシタノデアリマス、ソレカラ第八號ノ三十一年度歲入歲出總豫算、是ハ餘程早クカラ提出ニナツテ居リマシタガ、詰リ審查シタ結果、傳染病豫防費補助、北海道本廳經費、並ニ此遞信ノ部ニ於キマシテ日本鐵道株式會社利益ノ補助、是ハ契約ノ上カラ不足ヲ告ゲテ、當然ヤラネバナラヌモノデアリマスカラ、第八號ノ三十一年度ノ追加豫算ハ、原案ノ通可決スベキモノト委員會ハ決定致シタシテアリマス、ソレカラ次ハ、第八號明治三十二年度ノ總豫算追加デアリマスガ、是ハ隨分浩瀚ノモノデアリマスルデス、併ナガラ大抵此項目ニ附キマシテモ、皆必要ナモノデアリマスルガ、唯此中ニ於キマシテ削減ノ重ニアリマス點ハ、此北海道ノ水害補助費デアリマスルガ、是ハ前ニモ補助費ヲ與ヘマシタカラシテ、其割合ニ從シテ補助費ヲ求メ來タノデアリマスルケレドモ、先づ目下ノ所デ、是程ナクテモ宜カラウト云フ意見デアリマシテ、委員會デハ之ヲ否決致シマシタノデアリマス、ソレカラ石狩川ノ修繕費、之ガ五千圓程削減ニナツテ居リマス、ソレカラ此鹽業調査ノ費用ト云フモノハ、協

賛シテアリマスルガ、此會ト云フモノハ、別ニ置クノ必要ハアルマイト云フ所カラシテ、鹽業調查會費ハ削減ニナツテ居リマス、是等ハ少シク變ツタ所ハナインデアリマスカラシテ、唯著シキ所ダケヲ述ベテ略シテ置キマス、ソレカラ次ハ特追第六號、是ハ明治二十二年度ノ各特別會計ノ追加豫算デアリマス、又臺灣ノ歲入竝ニ此經常費、ソレカラ樟腦ノ專賣ノ收入ト是等ノコトデアリマスガ、是ハモウ別ニ削減スペキ所モナク致シマシテ、孰モ必要ノモノト認メマシテ、特追第六號ハ原案ノ通可決スベキモノト決定ヲ致シタノデアリマス、ソレカラ追第三號、是ハ三十一年度ノ分デアリマシテ、豫算外國庫負擔ノ契約デアリマス、是モ審議致シタ所、詰リ原案ノ通可決スペキモノト決定ヲ致シタデアリマス、ソレカラ特追第五號三十一年度ノ特別會計ノ追加豫算デアリマスガ、内務省ノ部ニ置キマシテ臺灣在監人ノ諸經費デアリマス、是モ原案ノ通可決スベキモノト決定ヲ致シタデアリマス、第九號ノ明治三十一年度ノ追加豫算、是ハ内務省ノ所管デアリマシテ、三十一年中ニ於キマシテ、各縣ニ於テ水害ガアリマシテ、即チ此神奈川新潟崎玉群馬茨城栃木愛知山梨長野宮城巖手、神奈川外十縣ニ於キマシテ、水害ガアリマシテ、此金額ハ四百六万九千餘デアリマスガ、是レ亦已ムヲ得ザルモノデアリマスカラ、原案ノ通可決スベキモノト決定ヲ致シタデアリマス、此財源ハ是マデ政府ノ追加豫算ニ於キマシテモ、其財源が定メテアリマシタガ、其豫定ノ財源ト云フモノヲ餘程喰込ンダデアリマスカラシテ、遂ニ其豫定ノ財源中ヨリ致シテ、之ヲ支辨スルコトノ出來ズ致シマシテ、已ムヲ得ナイカラシテ此四百万圓ト云フモノハ、特別ニ政府ガ借入金ヲ致シマシテ、其端ノ六万九千圓ダメヲ償金繰入ト致シタ次第デアリマス、是ハ各府縣ノ事情ニ於キマシテ、已ムヲ得ヌモノデアリマスカラシテ、原案ノ通可決スベキモノト決定ヲ致シマシタ、ソレカラ詰リ是ニ伴ヒマシテ、三十一年度ニ於テ豫算外國庫負擔ノ分デ、此水害費ノ借入ノコトデアリマス、追第四號、是ハ今ノ結果ト致シマシテ、原案ノ通可決スベキモノト決定ヲ致シマシタ、ソレカラ追第五號ハ、是ハ隨分ヤカマンイ問題デアリマシテ、歐洲總「シアトル」線、ソレカラ桑港ノ方モ、是マデ一般獎勵ニ依ツテヤル所ノモノヲ、特別保護ニ移シタノデアリマス、此一般獎勵法ハアリマスケレドモガ、斯ノ如ク國家ノ國道トモ云フベキ所ノ此海外ニ通ズル線路ト云フモノハ、國家ノ保護ヲ以テ其線路ヲ鞏固ニ致シ、又交通ノ便ト云フモノヲ開カナケレバナラヌ、就イテハ一般獎勵法デハ甚ダ此線路ヲ鞏固ニ維持スルニハ困難デアルカラシテ、特定航路ト致シタノデアリマスルガ、併ナガラ其經費ハ、三十二年度ニ於テハ關係ノナイノデアリマス、詰リ一般獎勵ニ於キマシテ、五年間ト云フモノハ同ジコトデアリマスケレドモガ、此一般獎勵法ニ依レバ、五年以後ニナレバ、段々船ガ古クナツタリ致シテ、其獎勵金ガ減シテ参リマス、特定航路ニナレバ、五年後ニナリマシテモ、ソレハ減ラナイ、即チ五年後ニ於キマシテハ、多少特定航路ニシマスレバ、經費ハ増加シマスケレドモガ、ソレハ一方ニ特定ニスレバ、利益ニナル譯デアリマスカラシテ、ソレデ一般獎勵ノ方ヲ止メテ特定ニ致シマシテ、三十三年度カラシテ關係ヲ持ツモノデアリマシテ、三十二年度ノ豫算ノ方ニハ、直接ノ關係ハ持タナイデアリマス、併ナガラ此コトハ前カラ極クテ

居ナケレバ、事業ヲ進行スルノ上ニ於キマシテ不便デアリマスカラ、此追第
五號ニ於キマシテ、契約ヲ要スル所ノモノガ要求ニナツテ居ルノデアリマス、
是ハ隨分議論モアリマシタケレドモガ、併シ今日日本ガ海國ト致シテ、此海
權ヲ握リ航海ノ便ヲ開クト云フ上ニ於テハ、又已ムヲ得ナイモノナル、又
斯ウ云フ大線路ト云フモノハ、一般獎勵ヲスルヨリハ特定ニシタ方ガ、其利
益モ大ナルモノデアルト云フ所カラシテ、遂ニ原案ノ通可決スベキモノト決
定致シタデアリマス、ソレカラ第十號明治三十一年度ノ追加豫算デアリマス、
是ハ歲入ハ償金ヲ以テ繰入レマンシテ、歲出經常部ノ方デハ、此外務省ノ機密
費、又文部省ノ俸給諸給、農商務省ニ於キマシテハ、特許意匠或ハ商標ノ經
費トカ、臨時部ノ方ハ、此內務デ沖繩北海道ニ關スル補助ノコトデアリマス、
ソレカラ此臺灣銀行ガ設立ニナリマスカラシテ、其準備費ト云フモノ、ソレ
カラ農商務省ノ此林野下戻ヲスルニ附キマシテ、調査ヲシナケレバナラズ、
其經費が籠ツテ居リマス、是等ハ何レモ已ムヲ得ザルモノト認メマシテ、委
員會ハ原案ヲ可決スベキモノト決定ヲ致シタデアリマス、ソレカラ追第六號
三十二年度ノ分デ、豫算外國庫負擔トナル契約ヲ爲スヲ要スル分デアリマス
ガ、是ハ離島——此離島ガアリマシテ、大島其他ノ間ニ航海ガアリマス、
其補助費ト云フモノト、ソレカラ神社ノ補助費ト云フモノガアリマス、是等
ヲ籠メタル所ノ豫算デアリマスルガ、是亦イヅレモ已ムヲ得ザルモノナル
カラシテ、原案ノ通可決スベキモノト決定ヲ致シタデアリマス、ソレカラ第
十一號明治三十一年度ノ追加豫算デアリマス、是ハ歲入ハ償金繰替ノ分ニ
ナツテ居リマシテ、此製造綿絲ヲ輸出ヲ致シマス、此綿絲ノ紡績業ト云フ
モノハ我國ニ於テ工業ヲ發達スルニハ、遂ニハ其原料モ無税ニ致シテ、大ニ
獎勵ヲ致シ、此際又支那地方ニ此製品ヲ賣ルニハ、非常ナル良イ時機ニ向ッ
テ居ル、是ニ附イテ多少保護スル所ナケレバ、其利益ヲ收ムルコトガ出來ヌ
デアルカラシテ、其輸出ノタメニ交付金ヲスルト云フコトデアリマス、ソレ
カラ遞信ノ部ニ於キマシテ、船舶ノ買入費ガ籠ツテ居リマス、是モ原案ノ通
可決スベキモノト決定ヲ致シタノデアリマス、ソレカラ追第七號、是ハ海軍
ニ傭入レテアリマス所ノ外人ガ、甚ダ勤勉デアツタカラト云フノデ、ソレ
デ此終身ノ俸給ト云フモノヲ與ヘルト云フコトデアリマス、是モ已ムヲ得ヌ
コト、致シマシテ、原案ノ通可決スベキモノト決定致シマシタデアリマス、ソ
レカラ此日程ニハ載ツテ居リマセヌケレドモガ、期日モ切迫デアリマスカラ、
日程ヲ變更ニナリマシテ、サウシテ其他ノ豫算案ノ報告ヲ致シタイノデアリ
マス（異議ナシ）ト呼フ者アリ）第十二號ノ明治三十一年度ノ追加豫算デア
リマス、是ハ第五ハノ高等中學ヲ岡山縣ニ置クト云フコトデアリマスカラ、又此外國
人ニ終身年金ヲ與フルト云フコトモ籠ツテ居リマスガ、是モ委員會ニ於テハ、
原案ニ可決スベキモノト決定ヲ致シタノデアリマス、ソレカラ第十三號明治
三十二年度ノ追加豫算、是ハ東京海上保険株式會社ノコトデアリマスガ、即チ
此百分ノ四十二相當スル金額ヲ會社ニ交付スルノ契約ニナツテ居リマシテ、
其結果ト致シテ交付金ヲ與フルト云フコトデアリマス、總計ガ七十九万五十
五圓デアリマス、第十四號三十一年度ノ歲入歲出豫算、是ハ議院建築調查會
費ノコトデアリマス、前ニモ本豫算ノ中ニ此經費ガ要求サレテアリマシタガ、
アレテハ甚ダ不完全デアルカラシテ、更ニ是ハ議會ニ提出スルヤウニ、併シ

同一ノ議案ヲ再ビ當議會ニ出スコトハ出來マセヌデ、是ハ調查費デハナク、
調査會ノ經費ト云フコトニナリマシテ、其時分ニ否決サレマシタノハ、更ニ
此調查會費ヲ別ニ出スコトニナリマシテ、其結果トシテ此追加豫算ガ出タ
スベキモノト決定致シマシタ、ソレカラ特追第五號三十一年度ノ特別會計ノ
追加豫算デアリマス、是ハ森林經營ノタメニ資金ヲ置グヨトニナリマシテ、
其森林資金ノコトデアリマス、是モ委員會ニ於キマシテハ、原案ヲ可決スベ
キモノト決定致シマシタ、又ソレト關係ヲ致シマシタ所ノ第七號ノ三十一年度
ノ追加豫算、是ハ國有林野經營ノ財源ニ充テルタメニ、特別會計ノ森林資
金ヨリ繰入ヲシテ、八十万圓ト云フモノヲ臨時部ノ第七款ニ請求ガシテアリ
マス、是ハ前ノト伴フト思ヒマスカラ、是モ委員會ニ於テハ、可決スベキモ
ノト決定ヲ致シタデアリマス、ソレカラ特追第七號デアリマスが、是ニハ特
別資金、ソレカラ軍艦水雷艇ノ補充基金、災害準備基金、教育基金、前ノ全
體ノ財政計畫ニ於キマシテ、此償金ガ遂ニハ七千万圓餘リ剩ル譯デアリマシ
テ、其二千万圓ト云フモノヲ義キニ帝室ニ獻納スルヨトニナリマシテ、殘リ
五千万圓ヲ之ニ割リマシテ、即チ此軍艦水雷艇、是モ段々老朽スルニ從ヒマ
シテ、補充ヲシナケレバナラヌカラ、五千万圓ヲ割ツテニ二千萬圓ヲ之ニ充テ、
地方ニモ災害竝起ル譯デアリマシテ、一々財源ヲ求メルコトハ困難デアルカ
ラ、之ヲ別ケテ一部ハ災害準備基金ト致シ、又教育ニ附イテモ種々ナル建議
案モ出テ居リマシテ、成ルベク此教育ノコトヲ完全ニスルヤウニ、一千萬圓
ヲ教育基金ニ充テラレマシテ、詰リ是デ償金ノ殘ル所ハ、始末が附イテシマッ
タ譯デアリマス、大體ニ於キマシテ追加豫算ガ澤山ニ出マシタノデアリマス
ケレドモガ、此償金ノ中ニ於キマシテ千五百万圓ト云フモノト、ソレカラ
三百八十万圓、之ヲ合セタモノガ二十二年一度ニ跨ツテ、是等追加豫
算ガ不時ノ經費ニ充ル計畫ニナリマシテ、詰リ其財源ニ當籍メテ、追加豫算
ガ總デ出タノデアリマシタガ、隨分色ニノ必要ノコトガ起リマシテ、其財源
ハ悉ク使ヒ盡シマシテ、尙ホ此二十二年一度ニ水害費ノ四百万圓坏ハ、償金ノ中ガラ
シテ充ツルト云フ途ガナクナツタモノニアリマスカラ、一時借入金ヲスルト
云フコトニナリマシタノデ、ソレデ償金ノ始末ト云フモノハ、残リナクヌ
カリ附イテシマシタ譯デアリマス、追加豫算ハ隨分澤山出マシタケレドモガ、
大體ニ於キマシテハ、其財源ノ繰入ニナツタノデアリマスカラ、詰リ申セ
バ追加豫算モ、是デ御免ヲ蒙ル譯デアラウト思フノアリマスカラ、
アリマスガ

○○栗原亮一君（八十七番） 何號デスカ
○木村誓太郎君（五十番） 十三號デアリマス、此東京海上保険株式會社ニ對
シマシテ交付シマスル金額ノ説明ヲ見マスルニ、明治二十九年以前ノ損失ヲ
交付スルコトニナツテ居リマスガ、此命令ト云フモノハ、ドウニ云フコトニナツ
テ居ルノデアリマセウカ、今日ニ至ツテ明治二十九年以前ノ損失ヲ今日國
庫カラシテ之ヲ算出シテ出スト云フノハドウ云フ譯デアリマセウカ、一應其
邊ノ御調ガアリマシタナラ、承リタインデアリマス

○栗原亮一君（八十七番） 是ハ政府委員ノ方カラ、ドウカ……

- 井上角五郎君(百八十八番) 本員ハ此際ニ議長ニ御尋ヲ致シマスガ、昨日本員ガ質問ヲシタ所ノ答辯書ハ、既ニ參ッテ居ルノデゴザイマセヌカ
- 議長(片岡健吉君) マダ參リマシタラ御報告致シマス
- 井上角五郎君(百八十九番) ソレナラバ茲ニ一ツノ動議ヲ提出致シマス(星亨君「議事日程ヲ變更スルノデスカ」ト呼フ)宜シイ、議事日程ノ變更ヲ求メマス、ソレハドウ云フコトニテ議事日程ノ變更ヲ求メルカト云ヘバ、元來今日ノ經濟ニ於テ、吾々ハ今後新財源ヲ求メザルモ、此議會ノ結果トシテ生ジ來タモノ、即チ監獄費國庫支辨ノ如キモノハ、出來得ルト信シテ居ルニ、之ヲ爲サントスレバ、新財源ヲ求メザルヲ得ズト云フ、大藏大臣ノ演説ガアツタ以上、斯ノ如キ大部ノ追加豫算ヲ一々贊成シテ、他日ノ新財源ヲ求メルト云フコトガアツテハ、實ニ議會切迫ノ折柄、諸君が議事ヲ御急ギニナルハ、御尤デアルケレドモ、吾々ノ責任トシテ國民ノ負擔ニ對シテ、相濟マヌコトデアルト心得マスカラ、大藏大臣ガ相當ノ演説ヲシテ、此コトニ附イテノ答辯ヲナシ、吾々ヲシテ満足サスニ至ルマデ、此追加豫算ノ議ニ入ルコトヲ延期シタ伊云フ問題ヲ議スルガタメニ、議程日程ノ變更ヲ求メマス
- 〔贊成々々ト呼フ者アリ〕
- 議長(片岡健吉君) 議事日程ノ變更ハ、豫算ノ議事ヲ答辯ノアルマデ延期スルト云フノデスカ
- 井上角五郎君(百八十九番) 答辯ガアルマデ之ヲ延ベルト云フコトヲ決スル問題ノタメニ、議事日程ヲ變更ヲ求メマス
- 〔贊成々々ト呼フ者アリ〕
- 議長(阪谷芳郎君) 議長
- (政府委員大藏省主計局長阪谷芳郎君演壇ニ登ル)
- 〔井上角五郎君「アノ人チャイケナイ」ト呼フ〕
- 政府委員(阪谷芳郎君) 唯今御尋ノ答辯書デゴザイマスガ、ソレハ既ニ手續中ニナツテ居リマス、詰リ大抵質問ノ御趣意ト異ナル所ハナインデアリマス
- 井上角五郎君(百八十九番) 本員ハ阪谷君ノ御話ヲ聽カウト云フノデハナイ、議事日程ノ變更ヲスルト云フコトノ動議ヲ出シタノデアリマスカラ、贊成モ幸ニアルヤウデアリマスカラ、ドウカ決議ヲ願ヒマス
- 議長(片岡健吉君) 議事日程ヲ變更シテ、唯今井上君ノ言ハレタコトヲ議サウト云フコトニ……御異議ハアリマスマイカ
- 〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕
- 議長(片岡健吉君) 然レバ議事日程ヲ變更致シマス
- (星亨君「政府ニ同意ヲ求メタノデスカ」ト呼フ)
- 〔此時政府ニ同意ヲ求ム〕
- 議長(片岡健吉君) 政府ハ同意ヲ致シマシタ
- (井上角五郎君演壇ニ登ル)
- 議長(片岡健吉君) 諸君、唯今本員ノ發議ニ依テ、即チ此動議ヲ
- 議スルガタメニ、議事日程ノ變更ヲセラレタガ、滿場ノ一致ヲ以テ御贊成ヲ下スクタ以上ハ、多辯ヲ費サズシテ、此必要ト云フコトハ御分リニナツテ居ルコト、思ヒマスガ、抑、私ガ昨日長イ間ノ演説ヲ爲シテ議論ヲシタノハ、

徒ラニ此議會ノ時間ヲ費スノデハナイ、大藏大臣ガ責任ヲ以テ財政整理ヲスベキ人ガ財政ノ整理ヲシ、吾々ガ此協賛ヲシテ今日ニ至シタノハ、其新財源ヲ求メザレバ、當初以來唱へ來シタ所ノ監獄費國庫支辨スラ出來ナイト云フテ置イテ、追加ガ第十三號ニ至ルマデノ多數ヲ出シタ、サウシテ一方ニハ、是ニタモノ、即チ監獄費國庫支辨ノ如キモノハ、出來得ルト信シテ居ルニ、之ヲ爲サントスレバ、新財源ヲ求メザルヲ得ズト云フ、大藏大臣ノ演説ガアツタ以上、斯ノ如キ大部ノ追加豫算ヲ一々贊成シテ、他日ノ新財源ヲ求メルト云フコトガアツテハ、實ニ議會切迫ノ折柄、諸君が議事ヲ御急ギニナルハ、御尤デアルケレドモ、吾々ノ責任トシテ國民ノ負擔ニ對シテ、相濟マヌコトデアルト心得マスカラ、大藏大臣ガ相當ノ演説ヲシテ、此コトニ附イテノ答辯ヲナシ、吾々ヲシテ満足サスニ至ルマデ、此追加豫算ノ議ニ入ルコトヲ延期シタ伊云フ問題ヲ議スルガタメニ、議程日程ノ變更ヲ求メマス

〔贊成々々ト呼フ者アリ〕

○議長(片岡健吉君) 議事日程ノ變更ハ、豫算ノ答辯ノアルマデ延期スルト云フノデスカ

○井上角五郎君(百八十九番) 答辯ガアルマデ之ヲ延ベルト云フコトヲ決スル問題ノタメニ、議事日程ヲ變更ヲ求メマス

〔贊成々々ト呼フ者アリ〕

○議長(阪谷芳郎君) 議長

(政府委員阪谷芳郎君演壇ニ登ル)

〔井上角五郎君「アノ人チャイケナイ」ト呼フ〕

○政府委員(阪谷芳郎君) 唯今御尋ノ答辯書デゴザイマスガ、ソレハ既ニ手續中ニナツテ居リマス、詰リ大抵質問ノ御趣意ト異ナル所ハナインデアリマス

○井上角五郎君(百八十九番) 本員ハ阪谷君ノ御話ヲ聽カウト云フノデハナイ、議事日程ノ變更ヲスルト云フコトノ動議ヲ出シタノデアリマスカラ、贊成モ幸ニアルヤウデアリマスカラ、ドウカ決議ヲ願ヒマス

○議長(片岡健吉君) 議事日程ヲ變更シテ、唯今井上君ノ言ハレタコトヲ議サウト云フコトニ……御異議ハアリマスマイカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(片岡健吉君) 然レバ議事日程ヲ變更致シマス

(星亨君「政府ニ同意ヲ求メタノデスカ」ト呼フ)

〔此時政府ニ同意ヲ求ム〕

○議長(片岡健吉君) 政府ハ同意ヲ致シマシタ

(井上角五郎君演壇ニ登ル)

○井上角五郎君(百八十九番) 諸君、唯今本員ノ發議ニ依テ、即チ此動議ヲ

議スルガタメニ、議事日程ノ變更ヲセラレタガ、滿場ノ一致ヲ以テ御贊成ヲ下スクタ以上ハ、多辯ヲ費サズシテ、此必要ト云フコトハ御分リニナツテ居ルコト、思ヒマスガ、抑、私ガ昨日長イ間ノ演説ヲ爲シテ議論ヲシタノハ、

衆議院議員井上角五郎君外四名提出去ル三日衆議院ニ於ケル大藏大臣演説

○井上角五郎君(百八十九番) 諸君、唯今本員ノ發議ニ依テ、即チ此動議ヲ

議スルガタメニ、議事日程ノ變更ヲセラレタガ、滿場ノ一致ヲ以テ御贊成

ヲ下スクタ以上ハ、多辯ヲ費サズシテ、此必要ト云フコトハ御分リニナツテ居

付テノ質問ニ對シ同大臣ヨリ答辯書提出ニ付及御回付候也

明治三十二年三月七日

(寺田書記官朗讀)

衆議院議員井上角五郎君演説

二付テノ質問ニ對シ同大臣ヨリ答辯書提出ニ付及御回付候也

明治三十二年三月七日

内閣總理大臣侯爵山縣有朋

衆議院議員井上角五郎君外四名提出去ル三日衆議院ニ於ケル本大臣演説ニ付テノ質問ニ對シ別紙答辯書差進候也

明治三十二年三月六日

大藏大臣伯爵松方正義

衆議院議長片岡健吉殿

衆議院議員井上角五郎君外四名ノ質問ニ對スル答辯書
去ル三日衆議院ニ於ケ監獄費國庫支辨ノ財源ニ關スル本大臣演説ノ趣旨ハ質問ノ通ナリ
右及答辯候也

明治三十二年三月六日

大藏大臣伯爵松方正義

○大岡育造君(四十五番) 本員ハ動議ヲ出シタイト思ヒマス、是ダケノ多クノ追加豫算ヲ出サシテ、而モ其中ニヘ郵船會社ニ五百五拾万圓カラヤルト云フ案ガ出テ居リマスガ、唯今井上君ヘノ答辯ニハ、其通ナソト云フ答ガ出テ、明瞭ヲ缺クノアリマスカラ、斯ウ云フ多クノ案ノ列ンデ居ルトキハ、大藏大臣ハ出席シテ、吾々ニ答辯セラレントコトヲ望ミマス、又芳川遞信大臣モ、コンナ案ヲ出シタニ附イテハ、相當ノ質問ヲシナケレバナラヌカラ、御出席ノアルヤウニ希望致シマス

(「贊成々々ト呼フ者アリ」)

○星亨君(二百二十四番) 唯今ノ井上君ノ動議ハ、消滅シタ譯ニナリマスカ、是カラ動議ヲ議スル譯ニナリマスカ

○議長(片岡健吉君) 井上角五郎君ハ、答辯ヲ得テ満足ト云フコトガアリマスカ、是デ満足スルヤ否ヤハ分リマセヌ
○井上角五郎君(百八十一番) 本員ハ折角諸君ノ贊成ヲ得テ、議事日程ハ變更シマンタガ、本員ノ説ハ取消シマス、満足ト云フコトハ、ドノ點デ満足カトト承認シタル以上ハ、此以上ノ満足ハナイト私ハ思ヒマスカラ、取消シマス
○議長(片岡健吉君) ソレテハ元ヘ戻ツテ議事日程ノ第一ニ移ルコトハ、御異議アリマセヌカ

(「異議ナシト呼フ者アリ」)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、議事日程ノ第一ニ移リマス

○竹内正志君(百四十二番) 私ハ此追加豫算ノ第四號ヲ議スルニ當ツテ、二箇條當局者ニ質問ヲ致シタイト思ヒマス、此臺灣ノ事業公債ニ伴ヒマシテ出テ居リマスル所ノ追加豫算デス、此コトニ附イテ後藤君ニ御尋シマスガ、此臺灣ノ計畫ト云フモノハ、此事業公債ヲ募ラレルニ附イテノ計畫、頗ル吾々ノ見所ニ依ルト、如何ニモ不完全デアルト思フ、此コトヲ一ツ御尋シテ置キタイ、ソレカラ此豫算ノ動搖スルト云フノハ、ドウ云フ譯デアルカ、初二ハ六千万圆ト云フコトニアッタ所ガ、ソレガ忽チ四千万圆ニ減ジタ、四千万圆ガ又五百萬圓減ズルト云フ譯デアルカラシテ、吾々ニ殆ド此贊否ヲ決スルニ當ツテ迷

フノデアル、孰ガ果シテ此事業公債ヲ募ルト云フコトニ附イテ、一番必要ナ事業デアルカ、隨分二千万圓ニ減ジテモ、或ハ同意ヲサレルカモ知レナイヤウニ思ハレル、六千万圓ノモノガ忽チ二千万圓、三分ノ一ヲ減ズルト云フヤウナ譯デアルカラ、聞ク所ニ依レバ、總督府ハ是ニ附イテハ、責任ヲ負シテ殆ドコトデアル、果シテ責任ヲ負シテ、總督府ノ死活問題トシテ、此臺灣事業公債ト云フモノヲ提出サレタト云フデアレバ、斯ノ如クニ公債法案ガ動搖スルノハ、ドウ云フ譯デアルカ、幾ラモ宜イ、六千万圓デモ宜イ、將タニ二千万圓デモ宜イ、坂レルダケ——思フダケ取ラニヤ仕方ガナイカラ、幾ラモ取シテ置クト云フヤウナコトノヤウニモ思ハレルノデアリマス、此コトニ附イテハ、果シテ確實ナル目的ガ、是非トモ是ダケ要ル、是ダデ宜イト云フコトニ附イテ、詳シク御説明ヲ請ヒタイ、ソレカラシテ是ハ獨リ臺灣ノ當局者バカリデナイ、政府ニ向シテ御尋シタイガ、臺灣ノコトハ獨立ヲスル、臺灣ノ經濟ハ臺灣デ持ツト云フコトデアル、ソレハ至極宜イ、即チ大藏省ノ方デモ、大變手ノ省ケルト云フ話デ、同意ヲシタト云フコトヲ大藏ノ政府委員ガ言ハレマシタガ、果シテ此コトハ齟齬ガナク、計畫ガ違ハズシテ行シタラ宜シウゴザイマスケレドモ、若シモ之ガ間違フト云フコトガアッタラ、隨分臺灣ノ歲入ハ今マデ八九百万圓ノ中デ、五百万圓ニ二百万圓ト云フ差ヲ生シテ居ル、一十九年度二十年度三十一年度ノ收支ヲ見マスルト、大變ナ狂ヒヲ生ジテ居ル、若シ此事業ガ計畫ノ如ク往クヤ否ヤ、十年計畫ノ如ク狂ヒヲ生ジタ時分ニハ、臺灣ノ經濟ハ臺灣デ持ツト云フコトナクシテ、更ニ此一般會計ノ中カラシテ支出セネバナラヌ、補助ヲ仰ガネバナラヌト云フヤウナコトニナリハセヌカト云フコトヲ吾々ハ氣遣フノデアル、果シテサウ云フコトガアルヤ否ヤ、アツタ時分ニハ、政府ハドウ云フ風ニスルカト云フコトヲ承ケテ置キタイ、ソレカラ大租權ノコトデアル、之ヲ一番能ク確メテ置キタイト思フ、臺灣公債ヲ返ス、六千万圓デモ宜イ、四千万圓デモ宜イ、是ニ附イテ公債ヲ償却スル根本ニナシテ居ル、若シ大租權ガ夢ノ如キモノデアツテ、取レヌト云フコトデアルナラバ、公債法案ハ一場ノ夢、反古ニナシテシマフト云フコトヲ私ハ信シテ居ル、此大租權ニ一千二百萬圓ヲ授シタガ、何故ニ二百万圓ト云フ公債ヲ返ス根本ノ計畫ガ出テ來ルカト云フコトハ、頗ル大問題デアラウト思フ、此コトニ附イテハ、最モ親切ナル御答辯ヲ願ヒタイト思フ、吾々ノ見ル所ニ依レバ、五分ノ利子トシテモニ二百万圓ノ大租權ヲ買フニ附イテハ、四千万圓ノ金ガ要ルト云フ積デアル、然ルニ政府ノ豫算デアルト、一千一百萬圓位デー一百萬圓ノ大租權ガ買ヘルト云フコトデアル、然ルニ今日ノ臺灣ノ實況ハドウデアルカト云ヘバ、官民有ノ區別モナク何モナイ、唯租稅ヲ取ルト云フテモ、舊政府ノ受取ヲ當ニシテ、租稅ヲ人民ガ納メテ居ルト云フ位ナ實況デアルノニ、ドレダケガ大租權、ドレダケガ小租戶、ドレダケガ番租デアルト云フ、租稅ノ區別ガ分ラウ筈ガナイ、分ラウ筈ガナイノニ、大租權カラ二百萬圓取ルト云フコトヲ書イテアルガ、是ハ頗ル本員ノ了解ニ苦ム所アルカラ、十分ノ御説明ヲ願ヒタイ、ソレカラモウ一箇條ハ、基隆ノ築港ニ築港ニ附イテハ、私ノ聞ク所ニ依レバ、此基隆ノ浚渫サレル所ノ土地ハ、嘗テ臺南ノ旅團長ヲシテ居タ比企島何某ト云ヘル人、此人が買占メト居ルト云

フコトデアル、是ハ確實デアツテ總督府モ當時弱タテ居タルト云フコトヲ開イテ居ルガ、果シテ渾濁サレル所ノ土地ハ、何人ガ持タテ居ルカ、其所有主ノ名ヲ聽キタイ、是ダケ十分ニ御答辯ヲ願ヒタイ

(政府委員臺灣總督府民政長官後藤新平君演壇ニ登ル)

○政府委員(後藤新平君) 竹内君ニ御答致シマスガ、此豫算ノ變更シマシタコトニ附イテハ、細ニ申述ベマスト管ニシクナリマスガ、大體ノ精神ヲ容レマシテ金額ダケハ減少シテモ、其精神ヲ容レルト云フコトニナリマスレバ、當局者ハ是ニ依ッテ、尙ホ其修正ノ趣旨ニ副フヤウニ、勉メヤウト云フコトカラナツタノアル、多言ヲ要シナイコト、考ヘル、ドノ案ガ宜イカ、ドノ案ガ惡ルイカト云フガ如キニ至ッテハ、別ニ茲ニ申述ベマセヌ、又財政ノ獨立ト云フコトニ附イテハ、既ニ委員會ニモ段々説ガアリマシテ、財政獨立ノ必要ト云フコトヲ認メマシタカラ、其方針ヲ以テ務テ行ク積ニアリマス、大租權ノ買上ノ割合等ニ於キマシテハ、委員會ニ於キマシテ「ト申上ゲテ置キマシタノデ、此割合ノコトヲ今詳シク申述ベヌデモ、委員會ノ速記ニ載ッテ居リマスカラ、大要御分リニナルコト、思フ、又築港ノ持主ノコトニ附キマシテハ、權兵衛ガ持ッテ居ルカ、太郎兵衛ガ持ッテ居ルカ、今茲ニ申上ゲルコトハ出來マセヌガ、何人ガ持ッテ居テモ、其邊ハ總督府ハ、人ニ附イテドウ斯ウ云フコトハナイ、唯計畫ノ必要ヲ認メテ、築港スルノ外ナイノデアリマス

○竹内正志君(百四十二番) 當局者ノ答辯ハ、如何ニモ不十分デ、議場ハ満足ヲサレタカ知レマセヌガ、私ハ満足スルコトが出来來ナイ、是ダケノ大問題デアル、是ダケノ大キナ金ヲ與ヘルト云フコトニ附イテハ、今ノヤウナ答辯デハ吾ミハ満足ガ出來マセヌガ、想フニ是ハ出來ナイノデアラウト思フ、出來ナイノデアラウト思フカラシテ、強テ私ハ追究ハ致シマセヌガ、私が此二十年計畫ト云フモノハ、夢ノヤウナモノデアル、之ニ向クテ協賛ヲ與ヘルト云フコトハ、ドウモ私ノ責任トシテ、議員ノ責任トシテ出來ヌト云フコトニ附イテハ、モウ一應御尋スルガ、二十年計畫ニ依ルト一方ニハ、歲入ハ段々一割トカ五分トカ、増シテ來ルトカ云フヤウナコトニナツテ居ル、是ハ至極重寶デアル、數字ノ上ニ於テ至極重寶デアル、然ルニ一方歲出ニ於テハ、三十年ノ間支出ハ一文モ増サヌト云フコトニ、數字ノ上テ出テ居ル、之ガ不思議デアルト思ヒマス委員會ノ時分ニ問ウタ所ガ、軍事費杯トハ違フ、アノ裏ノ計畫ト云フモノハ、軍事費が重デアルカラ、豫算ガ非常ニ狂ウタト言ハレマスガ、内地ノ行政費デモ、段々年々増シテ居ル、半年宛ニ一千萬圓カラノ狂ヒヲ、昨年カラ生ジテ居ル、松方内閣ノトキト伊藤内閣ノトキト、段々ヤツテ往クト云フト、内閣ガ變ル度毎ニ、一千万圓ノ狂ヒヲ行政費ノ内ニ生ジテ居ル、然ルニ臺灣ノ二十年計畫ハ一文モ違ハヌ、唯收入ガ増スト云フヤウナ奇怪千萬ナル豫算ガ組ンデアリマスカラ、此コトニ附イテハ、ドウシテサウ云フ割合ガ出ルカ、ドコヲ押ヘタラ、サウ云フ算盤ガ出ルカト云フコトヲ、モウ一應承リタイ

(政府委員臺灣總督府民政長官後藤新平君演壇ニ登ル)

○政府委員(後藤新平君) 二十年計畫ノ計算上ノコトハ、委員會ニ於テモ詳シク申上ゲテ置キマシタ、モウ議會モ切迫シテ居リマスカラ、私ハ一(竹内正志君)満足スルヤウナ答ハ、ツモ承ラヌ」ト呼フ) 私ハ長ミコ、ニ申述ベルコ

トヲ略シマス(竹内正志君「出來マセヌネ、出來マラ宜イ」ト呼ヒ「簡單ニ

(七)

ヤツタラドウデス」ト呼フ者アリ竹内正志君「出來ヌノデアラウ」ト呼フ)ソレデハ一言短簡ニ辯シテ置キマセウガ(工藤行幹君「委員會デ言ウタカラ、言ハスト云フノハ、餘リ親切ナラヌヤウニ思フ、委員會ニ於テモ、言ウタラウ

ケレドモ、本會デ言フコトハ、當然デアル」ト呼ヒ竹内正志君「衆議院ガ是デ満足シテ、宣判ヲ捺スナラバ宜シイ、私ハ敢テ諸君ノタメニ妨害ヲ致シマセヌカラ、諸君ガ是デ満足スルナラ宜シイ」ト呼ヒ「言ヒタマヘ言ヒタヘ」ト呼フ者アリ)「レザヤ一言短簡ニ申上ゲテ置キマス、成ル程其收入ハ多クシテ支出ハ少イヤウニナツテ居ルト云フコトニ附イテハ、竹内君御自身ニモ御發言ノアツタ通、軍事費杯ト違フト云フコトモ一ツデアリマス、ソレカラ又或ル一部ノコトニ附イテハ、地方稅ニ依ッテ辨ジヤウト云フコトノ仕組ヲシテアルモノモアル、ノデゴザイマス、ワレ故ニ唯アノ二十年計畫ヲ一讀ンデ字ノ如クスルト、如何ニモ不都合ナヤウデアリマスガ、其質問ノアル點ニ於テハ、委員會ニ於テ決定スルマテノ必要ナコトダケハ、申上ゲタ考デアリマス、其後トノ細目ニ瓦ツテ、何ノ點ハ何ト云フヤウナコトハ、總テ此地方稅ノ關係、又今度出シテアル樟腦稅杯ノ變動等ニ於テ、其融通ヲ附ケテ往カウト云フノデゴザイマシテ、年々ノ多少ノ變更ハアリマセウガ、大體ノ方針ヲ二十年計畫ノ趣旨ニ取シテ、而シテ目的ヲ達スルコトニ當局者ハ勉ムルコトヲ責任ヲ以テ御答シテ置イタ積デアリマス

○野間五造君(百九十八番) 百九十八番ハ、此臺灣ノ事業公債ニ附イテハ、百モ千モ万モマダ質問ガアルノデアリマスガ、ソレヲモ委員會テ口ヲ止メラレタカラ、言ハズニ居ル、又議會モ切迫シテ居リマスカラ、質問ト云フコトニハ餘リ重キヲ置カヌ積デアリマスガ、此全體二十年計畫ト云フモノハ、本當ニ成立ツテ居ル政府ノ案カ、ドウカト云フコトヲ聞キタインデアル、何ゼナレバ此二十年計畫ト云フモノハ、何ヲ以テ拂出シテ何ヲ以テ支辨スルカト云フコトヲ、私ガ委員會テ御尋シタトキニ、政府委員ノ御答ト云フモノガ此處ニアルノデアリマス、其政府委員ノ御答ト唯今御話ノアツタ政府委員ノ御答トハ、全ク矛盾シテ居ル、斯ノ如ク矛盾シテ居ル答辯デハ、二十年計畫ト云フモノハ、マルデ法律案トシテ吾人ガ認メルコトガ出來ナイ、唯一ノ空想ヲ捕イタノ地圖ニ過ギナイモノデアラウト私ハ考ヘル、其答辯ハ此處ニ斯ウ云フコトガアル、是ハ阪谷芳郎君ガ斯ウ云フコトヲ言シテ居ル、大藏省ト總督府ト何時モ抵觸シテ居ル例ニ舉ゲルノデアルガ、總督府ト大藏省トメ何時モ抵觸ラシテ居ル「エキザンブル」トシ申上ゲルノデアルガ、衆議院ノ臺灣事業公債法案ノ特別審査委員會ノ速記録、明治三十二年二月十七日第一號ノ中ニ斯ウ云フコトヲ言シテ居ル、尤モ大租權ト云フモノ、買收ハ、四年先キデアリマスカラ、其大租權ヲ愈、買收スルニ附イテノ胸算ハ、大藏省ハマダ認メテ居ラヌノデアル、斯ウ云フコトニナツテ居ル、之ヲ御讀ニナレバ、誰ニモ分ルモノデアル、マダ買フコトモ認メテ居ラヌノニ、二十年計畫ト云フモノハ、吾々ノ……

○議長(片岡健吉君) 野間君ノハ質問デスカ
○野間五造君(百九十八番) 御話シテアルト云フコトハ、誠ニ奇怪千萬ト考シク申上ゲテ置キマシタ、モウ議會モ切迫シテ居リマスカラ、私ハ一(竹内正志君)満足スルヤウナ答ハ、ツモ承ラヌ」ト呼フ) 私ハ長ミコ、ニ申述ベルコ

明ヲ願ヒタイ、ドチラヲ本當ニシタガ宜イノカ分ラヌノデアル、大藏省ヲ本當ニスレバ、買ハナイト云フコトデアル、總督府ヲ本當デアルト認ムルナラバ、買アト云フコトデアル、孰レガ孰レカ分ラヌカラ、是ダケヲ聞イテ置カナケレバ、二十年計畫ノ總デト云フモノ、本土臺ガ、既ニ破レテシマツテ居ル話ニアラウト、自分ハ信ズルノデアル、ドウカ其所ヲ御願ヲシテ置キタイ

（政府委員臺灣總督府事務官祝辰巳君演壇ニ登ル）

○政府委員（祝辰巳君）唯今野間君カラ、大藏省ノ政府委員ノ答辯ト、總督府ノ政府委員ノ答辯ト、矛盾シテ居ルト云フ御話デゴザイマシタガ、是ハ決シテ矛盾ハ致シテ居リマセス、現ニ大藏省ニ於キマシテモ、四五年先キニ於テ土地丈量ノ完結シタ上ニ於テ、大租權ヲ買收シテ、此公債ノ償還ニ充テルト云フコトハ、御手許ニ回ツテ居ル參考書ノ中ニモ、十分説明シテアルノデアリマス、ソレカラ大租權ト云フモノハ幽靈デアツテ、之ガ無クナレバ、公債償還ノ道ハ無クナルト云フ御説モアリマシタガ、決シテ是ハ左様ナコトデハナイノデゴザイマス、段々總督府ニ於テモ、各地方廳ニ命シテ調査ヲ致シマシタ結果、總體ニ於テ一千二百万圓ノ公債ヲ發行スレバ、買收ノ出來ルト云フ見込ガ附イテ出シタノデアル、現ニ昨年十月以來臺灣臺北地方ニ於テ、丈量ヲ致シテ居リマスガ、其結果ニ依ツテ此處ニ一例ヲ申上ゲマシテモ、五百七十町歩程ノ田地ヲ實際丈量致シマシタ其結果ニ於キマシテ、其土地ノ負擔シテ居ル地租ト云フモノハ、僅ニ千五百十一圓ニシカ滿タヌノデゴザイマス、ソレダケノ土地ニ對シテ、大租ハ何程アルカト云ヘバ、石ニシテ一千百七十二石、金ガ其外ニ三千六百七十一圓ト云フダケノ、大租ヲ持ツテ居ルト云フヨトガ、丈量ノ上ニ現レテ居ルノデゴザイマス、全體ヲ通シテ今日ノ所デ、臺灣ノ租稅ハ、地租ハ九十万圓ニ上ツテ居ル、其倍以上ノ大租ヲ負擔シテ居ルト云フコトハ、明確デアリマス、決シテ之ガ幽靈的ノモノデナイト云フコトヲ御答シテ置キマス

○星亨君（二百三十四番）反對スル人ハ、反對シテ宜シイノデゴザイマスカラ、是ハモウソレデ宜シイ、私ハ第一ノ日程ハ、直チニ議シテ、委員長報告通、異議ナシト認メマス

○野間五造君（一百九十八番）質問ヲシナケレバ、分ラヌノデアル……

○竹内正志君（百四十二番）私ハ御答ヲ得ルヤウニト思ッテ待ツテ居ルガ、御答ガナインデアル、若シ此臺灣ガ獨立スルト云フコトハ……

○議長（片岡健吉君）野間君ニ發言ヲ許シテアリマス

○野間五造君（百九十八番）私ハ唯今私ノ發言ヲシテアリテノ御答辯トハ考ヘナシ、祝サンノ御話ハ、是ハ詰リ速記録ト云フモノヲ取消ニナルト云フ御話カト思フ、先刻讀上グタ如ク速記録ニ書イテアル、大藏省ハ決シテ之ヲ認メナイト云フコトハ、アリイト書イテアルカラ、御一讀ヲ願ヘバ分ルコトデアルカラ、御一讀ヲ願ヘバ分ルコトデアル、サウスレバ、坂谷君ノ委員會デ言ハレタコトハ、マルデ間違フデアルト云フコトニナルデアラウト、自分ハ承知ヲシテ居ルノデゴザイマス

○竹内正志君（百四十二番）大切ナコトデアルカラ、是非答辯ヲ得タイ、若

シ出來ナケレバドウスルカ、政府委員ノ誰デモ宜イカラ、御答辯ヲ願ヒタイオ議長（片岡健吉君）大抵質問モ盡キタヤウデアリマスカラ、最早議題ニ付イテ——是ハ全部ヲ議題ト致シマス

○恆松隆慶君（九十七番）是ニハ色ニ質問ガアリマスガ、委員長ノ報告シタ通、全部宜シイト云フ積テアリマス

（中島祐八君演壇ニ登ル）

○中島祐八君（三十四番）私ハ此三十二年度ノ第四號ノ追加豫算ニ附イテハ、委員會ノ少數者ノ意見ヲ御報道致シマス、私共少數者ハ、此追加豫算ハ全然否決シヤウト云フ考アアル、簡短ニ其理由ヲ申述ベマスガ、此追加豫算ハ、御承知ノ通臺灣ノ事業公債法ト關聯シテ居ル所ノ豫算デアル、臺灣ノ財政ヲ獨立シヤウト云フコトデアツテ、其名ハ頗ル美デアル、併ナガラ吾ミハカリデナク、臺灣ノ施政ニ附イテハ、種々ノコトガ耳朶ニ觸レルヤウナ非難攻撃ヲ免レナインデアル、然ルニ此非政ノ中ニ向マテ、今此處ニ又數千万圓ノ資本ヲ投シテ、色々ノ事業ヲ經營シヤウト云フコトハ、此非政ヲシテ益非政ニ陷ラシムルノデアルト、私ハ考ヘルノデアル、決シテ完全ニ此各種ノ事業ノ目的ヲ達スルコトハ出來ナイ、言ヲ換ヘテ申シテ見マスレバ、露骨ニ言フナラバ、今日ノ當局者ヲ信用シテ、此數千万圓ノ事業ヲ委託スルコトハ、出來ナイノデアル、且ツ又此公債法案ニ依ツテ見マスルト云フト、其公債ノ方法ヲ見マスルト、償還ノ期限ガ三十七年カラ八十二年、殆ド五十年ニ亘テ居ル所ノ償還ノ期限デアル、其償還法ハ如何ニスルカト云フト、此四千万ノ事業公債ノ外ニ、一千二百万圓ノ土地整理公債ナルモノヲ募フテ、ソレヲコトデアル、假ニ之ヲ利子ノ割合カラ計算シテ見マスルト、一千二百万圓ノ地租ガ二百万圓ヲ得ラル、ト云フコトニスルト、一年ニ一割六七分ノ計算ニナル、如何ニ大租權ナルモノガ完全ノ權利デナク、漠然ノモノデアルトシタ所ガ、斯様ナル計算ヲ以テ買得ルコトハ、甚ダ私ハ信用スルコトガ出來ナイコトデアル、若シ此地租ノ二百万圓ヲ得ルコトガ出來ナイト云フナラバ、此事業公債ノ償却方法ト云フモノハ、全ク根抵カラ破レテシマフモノデアルト考ヘルノデアリマス、又試ニ此臺灣總督府ノ二十年間ノ財政計畫ト云フモノヲ見マスルノニ、私ハ實ニ杜撰ヲ極メタモノデアルト考ヘル、此歲出ノ側ニノデアル、若シ此地租ノ二百万圓ヲ得ルコトガ出來ナイト云フナラバ、此事業公債ノ償却方法ト云フモノハ、全ク根抵カラ破レテシマフモノデアルト考ヘルノデアリマス、又試ニ此臺灣總督府ノ二十年間ノ財政計畫ト云フモノヲ見マスルノニ、私ハ實ニ杜撰ヲ極メタモノデアルト考ヘル、此歲出ノ側ニノデアル、若シ此地租ノ二百万圓ヲ得ルコトガ出來ナイト云フナラバ、此其外ノモノハ、多クハ二十年間少モ増減ノナイコトニナツテ居ル、所ガ、却テ總督府或ハ縣廳等ハ、年々經費が減ズルコトニナツテ居ル、歲入ノ方ハド分或ハ一割、或ハ一割五分、總テ增加スルコトニナツテ居ル、歲出ノ方ハ年年減ズルコトニナツテ居ル、歲入ハ年々追ニ増加スルコトニナル、若

モ認メラレナイ、元來此國家ノ豫算ト云フモノハ總豫算ヲ以テ出サル、ノガ本意デゴザイマス、此他ノ已ムヲ得ナイ一日モ缺クベカラズ、或ハ天災地變ノタメニ生ズルコトハ、追加豫算ヲ出スコトハ、已ムヲ得ナイコトデゴサイマスガ、是等ノモノヲ皆併セテ、兩収ノ如ク豫算ヲ出シテ來ルト云フコトハ、

如何ニモ此豫算編成ノ大本意ニ戻ツテ居ルコトデハナイカト思フノデゴザイマス、勿論是等ノコトハ、萬々已ムヲ得ナイトスレバ、即チ此今ノ豫備費ト云フモノガアル、豫算外ニ生ジタモノノ、或ハ豫算ノ不足ヲ補フト云フモノハ、

豫備費ト云フモノガゴザイマスレバ、是等ノモノヲ悉ク追加豫算トシテ出サヌデモ、敢テ差支ガナイト思ヒマス、故ニ是非之ヲドウシテモ追加豫算トシテ承認ヲシナケレバナラヌト云フコトハ、孰ニアルカ、是ハ萬已ムヲ得ナイトキニハ、豫備費ノ方カラ出シテ差支ガアルカナイカト云フ所ノ御見込ヲ承リメイト思フノデゴザイマス

(政府委員大藏省主計局長阪谷芳郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(阪谷芳郎君) 唯今御尋ノ戸籍ノ庫ノ繼續費デゴザイマスガ、是

ハ三十一年度ノ繼續費ヲ三十二年度ニ要求シタノデアル、新タナモノデハゴザイマセヌ、三十一年度ノ追加豫算ノ成立ツタ結果、三十二年度ニ現レ出タノデゴザイマス、ソレカラ又北海道ノ監督署ハ、是ハ北水協會ノ家屋ヲ借りテ居リマシタノガ、繼續ノ出來ル計畫デアツタノデゴザイマスガ、北水協會ノ方カラ明渡シヲ請求セラレマシテ、約定期限ガ切レテ居リマスカラ、ソコデ北海道廳ノ官舎ノ中カ、其他ニ適當ナ家屋ガナイカト云フコトヲ種々検査致シマシタガ、其監督署ノ移ルヤウナ家屋ガゴザイマセヌ、即チ右述ベマシタ如ク工藤君ノ言ハレル通執モ追加豫算トシテ適當ナル性質ノモノデゴザイマスカラ、此段御答ヲ致シマス

○工藤行幹君(百二十五番) モウ一ツ御尋致シマス、ソレナラバ此借入レル

家屋ノ年限ガ盡キルト云フコトハ、總豫算ヲ政府ガ取調ベルトキ分ラナカッタノデゴザイマスカ、若シ分テ居ルナラバ、總豫算ノトキニ之ヲ緑込マナケレバナラヌノニ、其年月ノアルモノデゴザイマスレバ、何日マデ借りラレルト云フコトガ分テ居リマセウ、何故ニ總豫算ニ緑込マズシテ、之ヲ追加豫算トシテ御出シニナツタカト云フコトヲ伺ヒタ

○政府委員(阪谷芳郎君) ソレハ借入ノ繼續ガ出來ル積ニアツタ、一年ヅ、此年限ノ來マンタトキニ——所ガ、此節ニ至ツテ明渡ヲ請求サレマシタ、其明渡ヲ請求サレマシタ理由ハ、農商務省所管ノ政府委員カラ、御答スルコトニ致シマス

○工藤行幹君(百二十五番) ドノ政府委員カラデモ一向構ヒマセヌガ、ソコヲ承リタイ、若シ是ハ年限ガ前以テ分ツテ居ルモノナレバ、總豫算ニ緑込マナケレバナラヌ、總豫算ノトキニハ、之ヲ繼續シテヤル積デ、ヤツテ居ツタノデアルナラバ、之ヲ豫算外カラ出サナケレバナラヌト云フコトハ、當然ダラウト思フ、然ルヲ特別ニ追加豫算トスルト云フコトハ、分ラヌノデアリマスカラ、ドノ政府委員カラデモ、追加豫算トシテ出サヤルヲ得ナイ理由ヲ明ニ承リタイ

○政府委員(阪谷芳郎君) 家ガ借りラレル積ガ、借りラレヌコトニナリマニタカラ、ソレデ總豫算ノ調製時期ニハ、既ニ後レテシマツタ、然ラバ第二豫備

○橋元鷺君(七十六番) 私ハ修正動議ヲ出シマス
(橋元鷺君演壇ニ登ル)
〔恵松隆慶君「修正ナラバ、何省ノ何枚目ト云フコトヲ言ッテ下サイ」ト呼フ〕

○橋元鷺君(七十六番) 私ハ此臨時部ノ方ノ十一款ノ第二項ト云フモノヲ委員長ノ報告デ削除ニナツテ居リマスル、ソレヲ私ハ金額ハ千百八十八圓五十錢ト云フコトニ直ス、第二項ノ鹽業調査會費ハ六千四百八十八圓五十錢ト云フ原案デアリマシタ、ソレヲ委員會ガ全部削除ニナツテ居ルノデアリマス、ソレヲ私ハ千百八十八圓五十錢ト、斯ウ致スノデアリマス、私ハ此場合デゴザイマスルカラ、極短簡ニ理由ヲ申上ゲテ、諸君ノ協賛ヲ得タトイ考ヘマスル、此鹽業調査會ト云フモノハ、即チ本院ヨリ建議ニナツテ、サウシテ設立ニナリマシタモノデゴザリマスル、所デ、諸君モ御承知ノ通、此鹽業ノ調査會ト云フモノ、起リマシタト云フモノハ、近來外鹽ガ我國ニ續々輸入スルノ傾ガゴザイマシテ、此儘ニシテ置キマシタナラバ、我食鹽ニハ非常ナ影響ヲ及ボスト云フ邊ヨリ、此調査會ト云フモノガ出來タノデゴザイマス、諸君、此鹽業ノコト、云フモノハ、實ニ吾々ノ常食ノ中ニ最モ必要ナル品物デゴザイマシテ、暫クモ缺クベカラザル所ノ食物デアル、而シテ是ガ外鹽ノタメニ、我食鹽ガ段々減ズルト云フコトニナツテ、即チ鹽業ノ衰頽ヲ來スト云フコトニナリマシタナラバ、實ニ我國ノ一大經濟上ニ影響ヲ及ス事柄ハ、口ニ申サバ極短簡ナ話デゴザイマス、ソレ故ニ此外國ノ食鹽ニ對シテ、我食鹽ガ競爭スル場合ニ於テハ、其品質ヲ改良シ、又生產費ヲ減ズルト云フコトニシナケレバナラヌ、所デ、品質ヲ改良シ、生產費ヲ減ズルト云フ事柄ハ、口ニ申サバ極短簡ナ話デゴザイマスケレドモ、如何ナル方法ヲ以テ、如何ナル事柄ヲ爲シタナラバ、其品質ヲ良クシ、生產費ヲ減ズルコトガ、果シテ出來ルヤ否ヤト云フコトハ、中々重大ノ問題デアルト私ハ思ヒマス、故ニ此調査會ニ於テ、能ク此等ノコトヲ調查ヲ致シマシテ、サウシテ此外鹽ノ競争ニ當ラナケレバナラヌト思ヒマス、餘ノ品物ナラバ、棄置イテモ宜シウゴザイマスガ、此食鹽ト云フモノ、需要ト云フモノハ、我國民トシテ、人間トシテ、動物トシテ、總テ此需要ノナインモノハ、獨リモナイト云フ位ノモノノデゴザイマスカラ、是ハ是非共此調査會ト云フモノ、設置ヲセヌケレバナルマイ考ヘマス、而シテ私ハ此手當ト云フモノハ、即チ他ノ調査會ノ方モ削リマシタカラ、五千三百圓ト云フモノ、調査會員ノ手當ヲ削除シテ、サウンテ諸雜費ト云フモノニ此千百八十八圓五十錢ト云フコトヲ存シテ置キマシタナラバ、即チ調査委員ノ手當ガナク、極ク僅ナ金額デ、此重大ナル問題ノ調査會ヲ開クコトガ出來マスルカラシテ、ドウカ是ダケノコトハ存スルコトニ、諸君ノ御贊成ヲ希望致シマス
(賛成タクノ聲起ル)

○恵松隆慶君(九十七番) チヨット質問ヲ致シマス、是ハ前年度ニ於キマシテ設ケラレテ居リマスガ、尙ホ又三十二年度デモ、ヤラナケレバナラヌト云フ必要ヲ認メラレテ居ルノデゴザイマスカ

○橋元勗君(七十六番) 無論サウデゴザイマス、ソレハ此調査會ト云フコトニ附イテハ、即チ外國ノ食鹽ノコトヲ能ク調査ヲ致シマシテ、サウシテソレニ對シテハ、内國ノ食鹽ハドウ云フ具合ニシテ、改良ヲシナケレバナラヌト云

フコトニシテ往カナケレバナラヌカラシテ、昨年ノ一回デ以テ、十分全ク調査ガ出來終タト云フコトハ云ヘナイ、故ニ引續イテ開クノ必要ガアリマス

ノデゴザイマス

○恵松隆慶君(九十七番) 鹽業觀察ト云フモノガアル

○橋元勗君(七十六番) 鹽業觀察ノタメニ調査會ヲ設置シナケレバナラヌト云

云フノデハナイ、外國ノ鹽業ハドウ云フコトニナッテ居ルカト云フコトヲ能ク視察シテ、ソレニ向クテ日本ノ鹽業ハ、ドウ云フ方法ヲ以テ改良發達ヲ圖ルト云フコトガ必要デアリマス

(「贊成々々」ノ聲起ル)

○議長(片岡健吉君) 是ハ三十名以上ノ贊成ガアルト認メマス、ソレデハ全部ヲ議題ニ

贊成ナサル方ハ、立ツテ贊成ト仰シヤフテ下サイ

(「贊成々々」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 定規ノ贊成ガアルト認メマス、ソレデハ全部ヲ議題ニ

供シテアリマシタガ、先ヅ此橋元勗君ノ說カラ、採決ヲ致シマス、是ニ附イテ……

○西谷金藏君(一百十五番) 私ハ唯今ノ意見ニ反対ヲ致シマス、反対ノ理由

ヲ簡單ニ述ベマス、是ハ私共主查會デ否決致シマシタ所以ノモノハ、他デゴザイマセヌガ、鹽業調査所ト云フモノノ設ケ、又試驗所ト云フモノガゴザイ

マスルガ故ニ、強テ此調査會トカ何トカ云フヤウナ委員組織ノ必要ヲ認メ

マセヌ、故ニ否決致シマシタノデゴザイマス、實ハ各種ノ調査會ヤウナモノガゴザイマスガ、是ハ餘程古イ説デ、今日進ンダ時代ニ在クテハ、敢テ此官民

混同ノ調査會ノ必要ヲ私共ハ認メヌノアル、又其調査會員ハ、如何ナル人

ガナツテ居ルカト申シマシタナラバ、野崎武吉郎君トカ何事カ、總テ其鹽業ニ關係ノアル何時タリトモ鹽業ノコトニ附イテ、意見ヲ述べルコトノ出來ル

○議長(片岡健吉君) 採決ヲ致シマス、橋元勗君ノ修正說ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○議長(片岡健吉君) 少數ト認メマス
○田口卯吉君(百四番) 政府委員ニシテ質問ヲシタノデゴザイマスガ、此項中遞信省ノ中ニモ、濱洲ノ航路擴張費ト云フモノガ、十七万兩某ヲ更ニ増加スルト云フ案が出テ居リマスガ、一體航路擴張費ハ頻ニ郵船會社ガ、色々ノ航路ヲ以テ要求シテ參リマスガ、濱洲ノ航路ノ契約ト云フモノハ、僅ニ數年前致シタコト、思ヒマス(ソレハ何所デス)ト呼フ者アリ)二十四頁ノ所ノ航路擴張費十七万幾ラト云フノガアル、ソレデ種々ノ航路ニ斯ケ航路擴張費用ヲ郵船會社ガ要求スルニ附キマシテハ、少シク事情ヲ伺ハナケレバナ

立ヲ請ヒマス

少數

リマセヌノデゴザイマスガ、濱洲線航路ニ向クテ更ニ斯クマデ巨額ノ金額ヲ補助シナケレバナラヌト云フ理由ヲ政府委員ヨリ御辯明アランコトヲ希望致シマス

○政府委員(佐藤秀顯君) 御答ヲ致シマス、是ハ明治二十九年ノ下半期カラ、三十三年度一杯ニ涉ル契約ニ依シテ、開キマシタ航路デアツテ、今日マデ使

用シテ居リマスル船舶ノ總數ハ、三艘デアル、速力ハ十二海里以上、總噸數ハ二千噸以上位ノ在來船舶ヲ用ヒテ航海シツ、アツタノデアリマス、所ガ、ア

ノ航路ハ衆議院ノ御建議モアリ、又貴族院ノ建議モアリマシテ、東洋殊ニ帝國カラシテ、優先權ヲ占メテ置カナケレバナラヌト云フコトデ、開ラカレマシタモノデ、著々發達シツ、アルノデアリマスガ、何卒サウ云フ程度ノ船デ

ハ、航海權ヲ確立スルト云フ見込ハ、ドウシテモ立チマセヌメニ、船舶ヲコトニ更ヘル必要ガ起リマシタ、今マデノ船舶ノ代價ト申シマスモノハ、六

十餘萬圓デアツタノデス、三艘デ、今度ノハ二百四十萬圓モ掛ケナケレバ、新造シテ三千七八百噸ノ大キサデ、少クモ十六海里ヲ最強速力トスルト云フ

万圓ノ補助ヲ以テ、カツク、航海ヲ維持シテ居クタノデ、少モ利スル所ガナカツタノデアリマスガ、ソレニ加フルニ此新船ヲ以テスルト云フ場合ニアツ

テハ、ドウシテモ此處ニ要求ヲ致シマシタケノ增額ヲ與ヘナケレバナラヌト云フ譯デアリマシテ、ソレ故ニ此提案ヲシタ譯デアリマス

○田口卯吉君(百四番) 更ニチヨット伺ヒマスガ、唯今ノ御話ノ如キ補助デ

ゴザイマスト、餘程非常ナ補助ト思ヘルデス、例ヘバ今マデ六十万ノ資本ヲ要シタ船ニ向クテ、年々三十萬圓宛補助ナサレテ居クタ、サウスルト其金ガニナルト、五年デ以テ船ノ元ガ取レテ、ソレカラ先キハ、只ト云フヤウナ補助ニナルト、五年デ以テ船ノ元ガ取レテ、ソレカラ先キハ、只ト云フヤウナ補助ノ仕方ト本員ハ認メル、非常ナ補助デアリマスガ、ソレハ航海獎勵法ヨリモ此度三百五十万バカリ船ヲ使フトキニ、五十二万圓ノ補助ヲヤルト云フニヨリ餘程割合が勝ツヤウニナッテ居ルト思フガ、ドウ云フ所ノ計算デサウ云フ補助ガ出マスカ

○政府委員(佐藤秀顯君) 御答致シマス、元ト此船舶ニ對シテ、ドレ程ノ割合ニナルト云フ日安カラ、此航海ノ補助ハ生レルモノデハナインデアリマス、申スマデモアリマセヌガ、船舶ノ一番ニ金ノ掛ルノハ、航海費デアリマシテ、

ザツト御話ヲシテ見マスレバ、是マデ年々ニ收入致シマスモノガ、此船舶ノ航海費其他船舶ノ常ニ費ス諸般ノ経費ト、ソレカラ保険ノ積立金モシナケ

レバナラズ、此船舶ノ減價引金モイリマスシ、種々ノ積立準備金ト云フヤウナモノモ、船ヲ維持スルニ附イテハ、無論要ルノデアリマス、サウ云フモノヲ合セマスト支出ノ總額ハ、ドウシテモ七八十万圓ニナルノデアリマス、

總テサウ云フヤウナモノヲ差引計算ヲ致シマシテ、ドウシテモ足ラヌ所ハ足シテヤラナケレバ、國道トシテ此航海ヲ維持スルコトハ出來ヌノデアリマス、

今マデノ補助ノ計算方法ハ、サウ云フ所カラ出タノデアリマシテ、此後モサウト御承知下サレバ宜イノデアリマス

○藤金作君(百一十六番) チヨット私ハ意見ヲ述ベタイ、此第五ノ樟腦專賣ニ關シマシテ、大體ニ於テハ原案ヲ贊成シテ居リマスガ、是ハ政府ニ大イニ希望ヲ述ベテ置カンナラヌコトガアル、又政府ノ意向ヲ御答ニナルヤウニ、併テ簡短ニ意見ヲ述ベマス、樟腦ト云フモノハ、能ク御承知ノ御方モアリマセウガ、地方ニ於テハ、ドウモ樟腦ノ產出シナイ處ガアリマスカラ、樟腦之ノ物ノ理由ヲ御了解ニナラヌ御方モアラウカト存ジマス、然ル所樟腦ナルモノハ、先づ我國ニ於テモ、山陽道四國九州等ニ於テ、專ラ產出スルモノデカラ、特有物產デアルノデアリマス、然レドモ之ヲ濫ニ製造輸出致ストキニアル、臺灣ニ於テハ、大イニ樟木ノ澤山アル處デ樟腦ヲ製造スル、且ツ樟腦ヲ輸出スル產地デアリマスルガ、此樟腦ハ各國ニ於テハ出來ナイモノデアル、先づ日本臺灣支那ノ一部ニ於テ、產出スルヨリ他ニ出來ナイモノデアルカニ、其價格ハ大イニ下落スルノデアル、凡ソ是マデノ統計ニ據リマスレバ、一箇年間七百万圓位ヲ輸出スルヲ以テ適當ト思ハレマス、ソレヨリ以上ノ額ヲ濫ニ輸出致シマストキニ於テハ、其價格ハ却テ七百万圓ノ價格ヨリモ安イコトニナリマス、今ハ大イニ樟腦ノ代價ガ下落シテ居リマスルガ、是ハ日清戰爭以來臺灣ガ、我版圖ニ入りマシテ、ソレヨリ樟腦ノ濫製濫賣密輸出等ノ結果ヨリ、斯ウナックモノデアラウト思ハレマス、且ツ此結構ナル所ノ物產ガ、最早日本ノ内地ニ於テハ、樟木ハ餘程モウ伐リ盡シタ譯ニナクテ居リマス、且ツ大イニ下落致シマシタハ、全ク此輸出ノ程度ヲ誤ッタモノデアリマシタカラ、大イニ贊成致シテ居リマス、然レドモ是ニ對スル所ノ政府ノ豫算ヲ見マスレバ、百斤ノ樟腦ヲ三十圓ニ買入レテ、荷造費用ト彼此ヲ二圓トシ、政府ノ利益ヲ十圓ト見テ、四十二圓ヲ以テ輸出シヤウト云フ所ノ豫算漸ク本期議會ニ於テ、政府モ覺ル所アツテ、之ヲ專賣ニスルト云フコトニナリマシタカラ、大イニ贊成致シテ居リマス、然レドモ是ニ對スル所ノ政府ノ局者ニ向ツテ、臺灣ノ樟腦製造ノコトニ附イテハ、注意ヲ致シテ居リマシタ、ニナクテ居リマス、又是マデノ樟腦稅トシテ政府ガ賦課シテ居ツタ所ハ、百斤ニ附イテ拾圓デアリマス、此樟腦ハ我輸出ニ於テ能ク取締ラシ、又濫製ヲシナイトキニ於テ、其度ヲ誤ラザルニ於テハ、百斤ノ價ハ百圓位ノ價格ヲ保ツコトハ、屹度出來ルノデアリマス、就キマシテハ三十圓デ臺灣デ買上げガ出來マスレバ、百斤ニ附イテ七十圓ノ利益ヲ上ダルコトハ、出來ルノデアリマス、ソレヨリ聊カ二圓カ三圓ノ百斤ニ附イテ費用ヲ仕掛ヘバ宜シイコトデアル、斯ノ如キ結構ナル特有物產、斯ノ如キ財源ヲ唯今ノヤウナ手ヌルイコトデハ、甚ダ殘念ナ譯デアリマス、就キマシテハ豫算ハ豫算トシテ置キシタ所ガ、六十圓以上ニ賣ルコトハ出來ルノデアル、臺灣ノ地ニ於テ、先づ五百万圓ノ樟腦ガ、出來ルモノト認メテ宜シカラウト思ヒマス、シマスト我國庫ハ、一箇年ニ千二百万圓以上臺灣ノ政費ヲ償ツテ居ルモノガ、樟腦ノ一部ニ於テモ、唯今述ベルガ如キ歲入ヲ増スコトガ出來ル、今政府ノ豫算ニ據

リマスレバ、本年七月カラ明年三月マデ九箇月ノ豫算ニ於テ、歳出八百六十
二万四千四百三十四圓餘デ、歳入ハ百九十六万三千七百二十八圓トシテアリ
マスカラ、差引僅ニ三十三万九千二百九十二圓ノ豫算ニナッテ居リマスデア
リマス、是ハ當局者ニ於テ、大イニ注意セラレルニ於テハ、屹度唯今述ブル
如キ二百万圓以上三百万圓ノ歲入ヲ増スコトハ、確ナコトデアリマス、且ツ
之ト同時ニ内外ノ民業モ、又其相當ノ價格ヲ保ツトガ出來ルノデアル、然
カシマスレバ當業者モ大イニ利益ヲ得、政府モ利益ヲ得テ、外國人ニ唯日本
ノ特有物産ヲ捨賣スルト云フ結果ヲヤラセルコトハ、甚ダ殘念ノ次第デアリ
マスカラ、ドウカ當局者ハ國ノタメ、又其當業者ノタメニ深ク御注意アルヤ
ウニ希望ヲ述べテ置キマス

政府委員臺灣總督府事務官祝辰巳君演壇ニ登ル

○政府委員(祝辰巳君) 唯今百二十六番カラノ御尋ニ先づ御答致シマスガ、總督府ニ於キマシテ之ヲ專賣制度ニ致シマスルニモ、主タル趣意ハ臺灣ノ唯一ノ物産デアル、此財源ヲ將來マテ保存シテ、收益ヲ收メテ行キタイト云フノガ趣意デゴザイマスカラ、勿論此買上價格、又費下價格ニ至リマシテハ、山元ニ於ケル生產費ト、需要地ニ於ケル價格等ニ鑑ミマシテ、伸縮ヲ致シマスル積デ、隨ツテ其價格ノタメニ賣崩シヲ致シマシテ、當業者ニ迷惑ヲ被ラセルト云フコトハ、致サヌコトニ注意スル積デアリマス、第二三百四番カラノ何故ニ專賣ヲスルカト云フコトモ、唯今申上ゲマシタ通ニ將來彼所ノ樟腦ノコトハ、段々此山元ニ於キマスル粗製亂伐ト云フ弊ヲ矯メテ、臺灣ノ唯一ノ物產デアルト云フ價格ヲ維持シテ行キタイト云フコトニ附キマシテハ、總督府モ段々勉メタノデアリマスケレドモ、今日ノヤウニ内外商人ガ彼所ニ這入^{シテ}居リマシテ、勝手ニ山元ニ這入^{シテ}粗製亂伐ヲスルト云フ以上ハ、其目的ヲ達スルコトハ出來マセヌ、ソレヲ達スルニハ、第一著ニ總督府ニ於テ、樟腦ノ專賣ヲシテ山元ノ取締ヲシ、又制限ヲ加ヘテ行クト云フコトハ、彼所ノ樟腦ヲ將來ニ保持スル途デアルト云フコトヲ考ヘマシタ、故ニ此專賣ト云フコトガ起シテ參^シクノデアリマス○恆松隆慶君(九十七番) 此問題ニハ分科會ナリ總會ナリニ致シマシテモ、質問ナリ議論ナリハ、十分出テ居^シタノデ、結果、是ハ宜シイト云フコトニナツタ、ドウカ動議ガナケレバ、直チニ決議セラレントコトヲ望ミマス○議長(片岡建吉君) 採決致シマス、豫算委員會ノ修正アル部分ハ、豫算委員會ノ修正通、他ハ原案デ異議ハアリマセヌカ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、其通決シマス、議事日程ノ第六、追第三號豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ要スル件

第六 (追第三號) 豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ要スル件

○恵松隆慶君(九十七番) 是ハ三十二年度ノ豫算外國庫負擔ニ關係スルモノデアリマス、ドウカ全部委員長ノ報告通可決セラレンコトヲ望ミマス

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(片岡健吉君) 本案ニ附イテ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、原案ノ通決シマス、議事日程ノ第七、第九號明治三十一年度歲入歲出總豫算追加案

第七 (第九號) 明治三十一年度歲入歲出總豫算追加案

○恵松隆慶君(九十七番) 是ハ水害ニ關係スル水害補助費等デゴザイマス、最モ急ヲ要スルモノデ、是ニハ少モ異議ハナイコトデアリマス、直チニ可決セラレンコトヲ望ミマス

○議長(片岡健吉君) 本案ニ附イテ御異議ガナケレバ、原案ノ通決シマス、議事日程ノ第八、特追第五號明治三十一年度各特別會計歲入歲出豫算追加案

第八 (特追第五號) 明治三十一年度各特別會計歲入歲出豫算追加案

○恵松隆慶君(九十七番) 是ハ臺灣ノ民政費等デ、極簡短ノヤウデゴザイマスカラ、直チニ可決セラレンコトヲ望ミマス

○議長(片岡健吉君) 本案ニ附イテ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、原案ノ通決シマス、議事日程ノ第

第九 (追第四號) 豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲナスヲ要

○大岡育造君(四十五番) 本員ハ質問ヲ先づ致シタウゴザイマス、先刻此問題ニ附イテハ、大臣ノ出席ヲ煩スヤウニ言ッテ、一般ニ賛成ト云フコトモアツタノデゴザマスガ、今見エマセヌヤウデゴザイマスケレドモ、私ハ成ルタケ分ルヤウニ御答ヲ得テ、十分ナラヌ時分ニ請求スル積デアリマス

○議長(片岡健吉君) 是ハ議事日程第九號デゴザイマス

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(片岡健吉君) 本案ニ附イテ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、原案通決シマス、議事日程ノ第十、追第五號豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ要スル件——島田三郎君

第十 (追第五號) 豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲナスヲ要

(島田三郎君演壇ニ登ル)

○大岡育造君(四十五番) 質問デスカ

○島田三郎君(二百五十番) 質問デス——簡短ニ質問が出來マセヌ故ニ、演壇ニ登リマシテ政府ノ當局者ニ問ヒマスルノデ、此議案ニ附イテハ、本員ハ滿腹ノ疑ガアリマスルノデ、十分ナル答ヲ得タイト思ヒマス、如何ニモ十

年ニ瓦リマスル計畫デ、大關係ノアル議案デゴザイマスルガ、政府ノ發セラレタ案ヲ見マスルト、何ノ説明モナインデ、歐洲線「シートル」線及ヒ桑港

線ノ定期航海ヲ開始セシムルノ必要アリ、因シテ年度後ニ瓦ルノ契約ヲ結ブヲ要ストアツテ、必要ナリト言ッタギリ、デ、必要ナル所以ヲ何モ述ベテゴ

ザリマセヌカラ、頭カラシテ一向分リマセヌ、是ハ議案デアル、チヨツト議員ノ中カラ、大臣ガ自ラ出テ此説明ニ當ラレタイト云フ要求モ聞ヘエヌ位デゴザイマスガ、本員ハ大臣ノ居ラレヌノヲ甚ダ遺憾ト思ヒマスガ、併ナガラ

政府委員トシテ出席セラレテ居ル御方ガアリマスカラ、十分ナル説明ヲ請ヒタイ、第一ニ定期航海ヲ開始ノ必要ガアルト言ッテゴザイマガ、其必要ヲ

説明シテナインガ、甚ダ不満足ニ思フ點デアル、ソコデ歐洲線「シートル」線竝ニ桑港線ノ此定期航海ヲ開クト云ウテ、之ヲ計算シテ見マスルト、唯今

船ニ附イテ保護シテゴザイマスル航海獎勵法ノ結果トシテ與ヘテ居ルモノヲ、之ヲ引直シマスルト、十年間ニ歐洲線ニ於テ、凡ソ四百万圓程多ク支出

ヲスルノデ、「シートル」線ニ於テ四十萬圓程多ク支出ヲスル、桑港線ニ於テ一百萬圓程、總計五百四十萬圓程多ク政府が出シマスル譯ニナリマスルガ、實

ニ歲入不足ヲ告ゲテ居ルト云フコトヲ政府ガ屢々言ハレテ居ルノニ、何故ニ明瞭ナル必要ノ所以ガナクシテ、是ダケ好シニデ金ヲ支出セラル、カト云フコトヲ第一ニ問ハナケレバナラヌ、本員ノ見ル所ニ依ルト、疑ヨリ一步ヲ進メ

テ必要ガ殆ドナ、イ、歐洲線ニ向クテ五百四十萬圓程、十年間ニ餘計拂フノハ

何ノ必要ガアルカ、唯今マデノ形迹ヲ見マスルト、日本ヨリ倫敦マデ船ヲ遣リマス、此船ハ如何ナル構造ニナシテ居ルカト云フト、茲ニ書現シテアル文

書ニ徵シテ見マスレバ、郵便線路ニ使ヘナイ船ノヤウニ本員ハ理解致シマス之ニ向クテ郵便線路ノ如キ裝ウテ契約ヲスルノハ、本員ハ第一オカシイト思

ヒマス、併ナガラ旅客貿易其他ノモノニ附イテ、論敦マデ定期ニ遣リマス必

要ガアルカト思ウテ見マスルト、是モ亦本員ハ其必要ヲ認メマセヌ、ソレダカラ唯今英國ニドレダケノ日本人ガ居ルカト見マスルト、留學生ヲ合セテ人前後デアル、ワレナラバ商賣人ハドノ位居ルカト申シマスト、三井物産大

倉組高田商會ト云フ三商會ヨリ外ニハ、出店ヲ倫敦ニ持ツテ居ル者ハアリマス、其外正金銀行ノ支店ハアリマスガ、是ハ爲替ヲ組ムダケデアツテ、郵

便線路ニ依頼スルコトハナインデアリマス、斯ウ云フ具合ナ形勢デアル、然

ラバ我國ヨリ英吉利ニ參リマス英吉利人ハ、如何ト云ヒマスレバ、是ハ多ク

英吉利ノ定期航海船ガゴザイマスカラ、之ニ乗ッテ參リマス、日本人ノ乗リマスル者モ、唯今マデノ形勢ニ依リマスト、無論他ノ船ヲ擇ブヤウニナシテ

居リマス、其理由ハ尙ほ質問ノ順ヲ逐ウテ後ニ述べマスガ、斯様ナルモノニ

斯ノ如キ巨額ノ保護ヲ與ヘテ、定期航海ヲ開クト云フコトハ、本員ハ無益ノ

コトアハナイカト思ヒマス、何レノ國デモ定期航海ヲ保護致シマスニハ、貿易商賣ノ必要ナルコト、或ハ植民ノ關係ヲ附ケマスルコト、第一ニ居リマスノハ、郵便線路トシテ郵便物ヲ載セルノガ必要デアツテ、是ハドウシテモ定期航海ニシナケレバナラヌノデアリマスガ、我國ノ先ヅ倫敦ニ著ケマスル線路ニ附イテハ、郵便物ヲ載セ得ルヤ否ヤト云フコトヲ本員ハ疑フテ居リマスカラ、是ニ附イテ簡條ヲ舉ゲテ質問シマスガ、無論貿易ノ上旅客ノ上ニハ、是ダケノ保護ヲ與ヘテ、定期航海ヲ開ク必要ハ萬ナイトコト、思ヒマス、若シモ之ヲ實地ニ考ヘテ見マスレバ、今日ノ形勢ハ東洋ニ多クノ船ヲ浮ベルノガ必需要アラウト思ヒマス、西洋諸國ノ意ヲ東洋ニ注グコトハ、日一日ト急ニナツテ參リマシテ、唯今マテモ支那海並ニ印度海、ソレヨリ北太平洋ニ向フテ、歐羅巴諸國カラ好イ船ヲ入レテ來ル時節アリマスカラ、日本ガ若レ實益ヲ取フテ、虛名ヲ棄テマシタナラバ、倫敦ニ棄テヨリモ、此保護ノ金額ヲ必要ノ場所ニ用ヒル方略ヲ取リマシタナラバ、日本人モ實際ニ其福利ヲ享ケルデゴザイマセウシ、貿易ノ便利ニモナラウト思ヒマス、現在我國ト倫敦トノ間ノ貿易ノコトヲ考ヘテ見ルノニ、片貿易ニナツテ居ル、コチラカラ持フテ往クモノハ少クシテ、アチラカラ持フテ來ルモノハ、軌道アルトカ、陸軍用ノ武器並ニ日用ノ諸品ハ參リマスケレドモ、是ハ無論英吉利ノ船デ持タテ來ルカラ、日本ノ船ヲ借ル氣遣ハナイ、ソレ故ニ日本カラ定期航海ヲシテ往クニハ、僅カ印度海マデア、途中デ載セル物ガ多クテ、是ヨリ先キニ往クトキハ、大概空船デアラウト想像致シマス、斯ノ如キモノニ向フテ、貿易上何ノ益モナイ定期航海ヲ開イテ、殊ニ國庫カラ之ヲ保護スル必要ガアルカ、アチラカラ参ルトキハ、多分ノ荷物ヲ待合セテ居リマシテ、英吉利ノ船ニ載ラヌモノヲ受取ルヨリ外ニ、相當ノ荷物ハアリハシマセヌ、ソレモ非常ニ船貨ヲ安クシテ、英吉利ノ船ヨリ安イ物ヲ取レバ、或ハ漸ク船ニ満ルカモ知レマセヌガ、斯ノ如クシテハ日本ガ定期航海ヲシテ、決シテ商賣上相當ナル利益ノアルコトハナイノデアリマスカラ、全部ノ保護カ多分ノ保護ニ依賴シテ、命ヲ繫グト云フヤウナス様ナ船ヲ英吉利ノ倫敦トノ間ニ定期航海ヲスル必要ハナイトス様ニ考ヘル、然ラバ第一ニ戻リマシテ、郵便物ヲ積載セルカト言ヘバ、是コソ本員ノ疑フ所デ、是ハ積載セルニ堪ヘヌト思フ、ソレハ何故カト云フト、此政府ノ案ニ依ルト歐洲線ハ、噸數六千噸以上最速力一時間十四海里十二艘デアリマスガ、唯今デ、此線路ハ英吉利ノ船ヲ浮ベテ居リマスケレドモ、孰モ十七海里以上デアリマス、或ハ十七海里半若クハ其以上ヲ浮ベテ居リマスカラ、ソレト同シ競争船ニ日本ノ十四海里ノ船ヲ浮ベマシテ、是デ以テ郵便積載ノ役ガ務マルカドウカト云ヘバ、決シテ務マラスト思フ、萬國郵便條約ノ上ニ於テ、諸政府ガ此條約ニ這入リマシタナラバ、其手ヲ以テ、之ヲ萬國ニ通用サセル契約ノ内ニ這入フテ居リマストキハ、舊ノ契約ニ基キマンシテ、一番早イ船ニ載セルノガ責任ガアル、然ルニ十七海里以上ノ英國「ビヤノ」會社ノ船ガ、此間ヲ往來レテ居ルノニ、日本政府ノ船デ殊ニ我國ノ船、即チ十四海里ノモノニ載セルコガ出來ルヤ否ヤ、若シ是ガ

出来ルトスルナラバ、政府ニ殊ニ此辯明ヲ請フノデアリマス、若シ本員ガ理解スル如クンバ、此契約ハ國民ヲ欺ク所ノ契約ヲ、政府が出来サレタモノデアルト思フノデアリマス、ソレハ何ゼアルカト云フト、保護スル緊要ナル箇條トシテ「以上ノ航路ニヨリ遞送スヘキ郵便物ハ無賃タルヘキコト」モ保証ヲスル代リニ無賃デ載セルト書イテアリマスガ、本員ノ考デハ、態ニ遅イ船ヲ撰シテ、郵便物ヲ載セルコトガ出來ルカ出來ナイカ、無賃デ載セルト云フ以上ハ、此契約ハ政府ガ國民ノ知ラザルニ乘ジテ、國民ヲ欺クモノデアルト本員ハ理解スルノデアル、此コトニ附イテ確タル政府ノ説明ヲ請ヒタイ、第二ニハ何故ニ同ジ契約ヲナシ同ジ保護ヲ與ヘルナレバ、政府ハ此案ニ依フテ、歐洲線ニ於テハ十四海里内上ノモノト云タテ、香港桑港間ハ十七海里、香港「シヤトル」線ハ十五海里ト云フ差ヲ附ケタノハ、何カ同ジ資格ガナケレバ、同ジ保護ノ下ニ立ツベカラズトスルナレバ格別、然ラズシテ斯様ナコトニ致スト云フト、實ニ怪シカラヌコトデアツテ、唯今申スヤウニヨリ早キ船ガ往來航海シテ居ルノニ、遅イ船ニ此資格ヲ保タセルト云フコトハ、斷ジテ出來ヌト思フ、諸外國ト我國トノ間ニ、互ニ載セルコトニシナケレバナラヌノダカラ、之ヲ郵便航路ノ船トシマスレバ萬國ノ船ニ向フテコチラカラ載セルコトニ致セバ、英國ノ郵便ヲコチラノ船ニ載セナケレバナリマセヌガ、英國政府ガ斯ノ如キ遅イ船ニ郵便物ヲ載セルコトハアリマセヌカラ、コチラカラ行クトキモ、日本政府ノ契約ニ依テ、載セルコトヲ望ムマイト思ハレルシ、又歸ルトキモ郵便海路ノ資格ヲ持タセテ、嘘ノ箇條ヲ書書イテ、國民ニ是ダケノ巨額ノモノヲ、十年間ニ拂ハシムモ達シテ居ル、其他香港桑港其他ニ「シアートル」線ヲ立テル、是ダケノモヨリモ多クノモノヲ拂フト云フノハ、ドウ云フ譯アルカ、ソレヲ伺ヒタイガ、本員等ハ唯今ノ所、兩方トモ其必要ハナイト思フ、斯ノ如キ疑ハシキモノヲ、十年間ノモノヲ勿卒ノ間ニ決セシメテ、殊ニ五百万圓ニ近イモノヲ、今ヨリモ多クノモノヲ拂フト云フノハ、ドウ云フ譯アルカ、ソレヲ伺ヒタイ又唯今マデニ保護セラレテ居タ線路ハ、是マデニ少モ改良サレテ居ラナイ今ガ、獨逸ガ膠州灣ヲ取ッテカラ、獨逸ハ六艘ノ船ヲ東洋ニ入ル、ト云フコトモ開會社ノ三菱ニ與ヘタノデ、其時ハ一週間一回アルガ、今日モ亦一週一回アル、政府ガ恩惠ヲ與ヘタニモ拘ラズ、其後一向ニ一艘モ改良シテ居ラナイ今其後ノ東洋ノ形勢ハドウデアルカ、歐羅巴諸國カラ日本ニ良イ船ヲ入レテ居ル、佛國ニ於テ競争スルハムツカシイガ、日本ヨリ工業ノ幼稚ナル支那印度ニテハ、日本ノ生産物ヲ賣ルコトハ出來ル、即チ燐寸ノ如キ、又日本ノ餘り名譽デハナイガ、人力車ノ如キ、竹細工ノ如キ、或ハ近頃發達シタル紡績ノ織物デモ、是等ハ印度以東ヘハ賣ルモノデアルカラ、ソレマデノ荷物ガアル又印度以東支那ニテモ、戰爭後日本ノ居留地ガ殖エタカラ、後來日本ノ内部

ガ整頓サヘスレバ、東洋貿易ニ向ケル海產物ヲ賣ルハ、日本ガ給與者デアル、浦潮斯德西伯利亞ノ如キ貿易ハ、大イニ望ガアル、是等ニ向シテノ線ヲ改良スル方ニ金ヲ使フナラバ——金ヲ惜シデ反対スルノデハナイガ、行掛上虛名ヲ維持スルタメニ、國民ガ近キ處ニ手ヲ明ケテ、黙從シテ居ルノハ實益ヲ知ラヌ、又默從セシムル政府モ、不居千萬ノ政府デアル、本員ガ舉ゲタル郵便物ヲ載セルコトガ出來ルカ、是ヨリ早ク英吉利ニ通シテ居ル所ノ船ノアルニ、是ヨリ遅イ船ニ載セルノデアルカドウカ、ソレヲ聞キタイ、大體ノ所ハ突括メテ議論スレバ、定期航海ノ必要ハ何所ニアルヤ、歐羅巴諸國——英吉利ニ向シテ、ドレ程ノ荷物ト旅客ト商賣ガアルカ、郵便物ヲ積込シダ高ハドウデアルカ、唯今定期航海ノ補助金ハナイ船ニ向シテ、航海獎勵法ノ結果保護ガアルカ、今マデ積込シダ高ハ幾ラカ、第三ニハ、歐洲線ハ十四海里、米國線ハ十七海里、「シヤトル」線ハ十五海里ト極メテ出シタガ、之ヲ聞キタイ、萬國郵便條約アルニモ拘ラズ、郵便物ヲ遲イトキデモ、矢張其船ニ載セルノカドウカラ聞キタイ、是マデ「シヤル」線歐洲線ニ達シタ線路ハ、亞米利ノ政府其他英吉利ノ政府ガ、向フノ郵便切手ヲ貼附ケタモノヲ載セタカドウカ、其數モ伺ヒタイ、何故ニ手許ヲ忽ニシテ、例ヘバ上海ノ線ノ如キ、日本ノ貿易ニ必要ナルモノデアルノヲ、一週二回ニシテシマッテ、孟賣線ノ如キモ、増シテ貰ヒタイト云フ需要ノアル處ハ、捨テ、置イテ、左様ナ處ニ新ニ斯ノ如キモノヲ開イテ、巨額ノ金ヲ十年間ヤラウトスルノデアルカ、特ニ太平洋ニ諸國ノ船ヲ浮ベテ居ル、其處ニ新ニ一線ヲ開クノハ何故デアルカ、是モ聞キタイ、郵便物ヲ載セルノハ嘘デハナイカ、嘘デナイナラバ、是等ノコトニ附イテ明瞭ニ御答ヲシテ貰ヒタイ、満足ナル答ヲ得レバ、其儘デゴザイマスガ、其答辯ノ模様ニ依レバ、私ハ絶對的反対デ、本員ノ推測スルガ如クンバ、國民ヲ政府ガ欺ク所ノ怪シカラヌ議案デアルト思ヒマス

(政府委員遞信省管船局長佐藤秀顯君演壇ニ登ル)

○政府委員(佐藤秀顯君) 唯今ノ御質問ニ御答致シマス、此豫算外國庫ノ負擔トナルベシ、契約ヲナスヲ要スルノ議案ニ附イテハ、本年ニハ金ヲ要シナイノデアリマスカラ、其形式上要領ノミヲ摘ミマシテ、サウシテ出スコトニナッテ居リマスカラ、極簡短ニアリマスガ、決シテ今質問者ノ御問ヒニナツタヤウナコトデハナイノデアリマス、必要ノ理由ト申シマスモノハ、現ニ航海獎勵法ノ下ニアツテ、航海シツ、アルノデアリマスガ、ソレハ隨意航路デアツテ、先刻モ申述ベマンタ通、今月ハ東ニ行キ來月ハ西ニ行クト云フ傾キガアルカラ、歐米ノ此三航路ト云フモノハ、貿易上ナリ又外交上ナリ、總テ定期航海ヲ維持シテ往クノガ、必要デアルト云フコトカラ、之ヲ提出シタノデアリマス、大體ノ理由ハワレデ、英國ニドレ程ノ人ガ居ルカ、貿易ノ高ハドレ程デアルカト云フ御尋デアリマスガ、今此處デ亘細ノ統計表ヲ繙イテ申上ゲルマデモナシ、島田君ハ御承知デアラシヤルデアリマセウガ、今日ノ貿易ニ足スルコトガ出來ナイ、貿易ノ魁交通ノ先驅ト云フモノハ、我國ノ形勢ニ於テ、ドウシテモ航海發達ト云フコトニ俟タナケレバナラヌ、ソレデアルカラ此航路ト云フモノハ、定期卽チ國家ノ公道トシテ維持シナケレバナラヌト云フコトヲ認メタニ外ナラヌノデアリマス、ソレカラ無貨遞送ト云フコトハ、全ク虛名デアルト云フコトデアリマシタガ、是ハ虛名デモ何デモナイ、現ニ

今日航海獎勵法ノ規定ニ依ラテ、郵便物ヲ無賃遞送スルト云フコトニナクテ居タ
テ、事新シイコトデモナイ、斯ク申セバ、或ハ獎勵法ノ儘ニシテ置イタラ、
宜イヂヤナイカト仰セラル、カ知レマセヌガ、獎勵法ハ隨意航海ニアツテ、今
月ハ東ニ行キ、來月ハ西ニ行クカモ知レマセヌ、此定期ヲ維持スル以上ハ、
其補助ノ一條件トシテ、矢張無賃遞送ト云フコトヲ加ヘルガ、是ハ唯一箇條
デアル、目的ト云フモノハ、ソシナ狹イモノデハナインデアリマス、ソレカラ
ラ外國ノ郵便物ノ發著ニ附キ、新シイ調ヲチヨット摘ンデ申シマスレバ、亞米
利加ニ向シテ發送致シマス、ノガ一箇年ニ百三十二万一千八十二箇、ソレカラ彼
ノ地カラ到著致シマスノガ百三十二万八千七十箇、ソレカラ歐洲ナリ（島田
三郎君「要領ガ違テ居ル、日本ノ船ニ載セル數ヲ聞クノデ、亞米利加英吉利ノ
全體ノ數ヲ聞クノデナイ」ト呼フ）亞米利加ナリ濠洲ナリ、一々統計シテ分ッテ
居リマスガ、此郵便物ヲ近頃漸々獎勵法ノ下デ、此三航路ニ通フト云フヤウ
ナモノが出來テ來タノデ、外國デモ勿論積ミ、又日本カラモ積ムノデアリマ
スガ、誠ニ少イ全體ノ殆ド十分ノ二三ヨリ近イ統計デモ、日本船ガ遞送スル
ヤウナモノハナインデアリマスガ、此航海獎勵法ニ依ル船舶ナリ、又此定期航
海ノ船ハ勿論デアリマスガ、別ニ郵便ノ遞送ニ關スル命令ハ、遞信省カラ與
ヘテ、ソレニ依シテ郵便船ノ記章ヲ立テ、コチラカラ無賃デ以テ往キマス、
又向フモ聯合國デ聯合國ナルナラバ、皆ソレニ歸ルトキニハ、積シテ來ル
ノデアリマス、遙イ船デアルカラシテ、郵便物ハ積ムマイトノコトデアリマ
スケレドモ、ソレハ早イ船モ澤山アリマス、澤山アリマスガ、併ナガラ東洋
ニ來ル船ト、或ハ濠洲ニ使フ船ト、東洋ヘ通ハス船トハ、皆違テ居シテ、其
航路相當ナ貨物ヲ目的トスルカ、或ハ旅客ヲ目的トスルカ、單ニ郵便物バカ
リデアルカ、又其三種ガ合併シテ、一ノ航路ヲ開ク必要カラ起シタモノデア
ルカト云フヤウナコトニ考ヘテ、適當ナル船ヲ揃ヘテ居リマスカラ、チヨット
此處デ日本ニ往來致シマス「ビーオー」會社ノ速力ヲ讀ンデ見マセウガ、「ペル
シヤ」號ガ十四「ノット」「チャパン」號ガ十四「ノット」、「マニラ」ガ十四「ノット」
「ジャンハイ」ガ十二「ノット」「レプラ」ガ十四「ノット」斯ウ云フヤウナモノデア
ルカト云フヤウナコトニ考ヘテ、適當ナル船ヲ揃ヘテ居リマスカラ、チヨット
半杯ト云フノモアルデス、ソレデアリマスカラシテ、或ハ十七「ノット」位ノ
船ヲ通ハス、處モアリマスケレドモ、幾ラ早く歩クニシタ所デ、皆寄港地ト、
云フモノモ、豫テ極メテアラシテ此郵船會社ノ十二艘十四「ノット」ト云フモノモ近頃
調べテ見マスト、矢張「ビーオー」ハプリンデシヲ向フヲ發スル點ニシテ居リ
マスシ、ソレカラ「エム、エム」ハ馬耳塞デアリマス、ソレカラ横濱或ハ神戸
マデノ時日ヲ算ヘテ見ルト、四十日ヨリ早ク著スルモノハナインデアリマス
ソレデアリマスカラシテ此郵船會社ノ十二艘十四「ノット」ヨリハ十五「ノット」
ヨリハ十六「ノット」ノ方ガ、宜イコトハ宜ウゴザイマスケレドモ、航路ノ景況

又商賣ノ都合ト云フモノズ、サウ無暗ニ一足飛ニ早クト云フコトニシテハ、
補助金モ増サナケレバナラズ、時日モ假サナケレバナラズ、サウ思フヤウニ
行キマセヌカラ、政府ハ現在船ニ依ッテ、之ヲ定期ニ代ヘルト云フコトバカ
リ、今日ハ行フコトガ出來マスシ、又行フノガ必要デアルト思ッテ、此案ヲ
出シタノデアリマズ、他ニマダ御答スペキコトガアルカモ知レマセヌガ、大
要右ノ通デアリマスカラ、御承知下サイマスヤウ……

○大岡育造君(四十五番) 政府委員ニ御尋ヲシタイ、ドウカ御出席ヲ願フ、
私ハ演説ハシナイ、特別助成金ハ十年間ニ獎勵法ヲ續ケテ往タヨリモ、幾百
万圓ダケ多ク渡ス譯ニナルカ

(政府委員遞信省管船局長佐藤秀顯君演壇ニ登ル)

○政府委員(佐藤秀顯君) 御答致シマス、先刻ノ島田君ニ御答ヲシタコト、
又唯今ノ御質問ノコトハ、皆此問題ニ附キマシテハ、豫算ノ分科會デモ、
重大ト御認メニナシテ、慎重ノ御審議ガアツテ、十分其邊ノコトハ、御答シテア
ルノデアリマスガ、速記録モマダ出來ナイカモ知レマセヌカラ、重複スルカ
モ知レマセヌガ、尙ホ申シテ置キマス、一箇年ニ三十三年度ヨリ始テ、歐洲
航路ニアツテハ二百六十七万三千八百九十四圓餘デアリマスカラ、ソレヲ十
年通ズレバ二千六百七十三万八千餘圓ニナルノデアリマス、デ、是ハ現在ノ船
舶ガ十年ヲ通ジテ、少モ故障ナシニ此航路ニ使用シ續ケル場合ヲ想像シタノ
デアリマス、若シ何カ故障デモアリマシタラバ、相當ノ代船ヲ使ハセルコ
トニ規定スル筈デアリマスカラ、無論事故ノアツトキニハ、是ヨリ減ルトモ増
フモノガ出テ來テモ、其本當ノ船、今マテ使シテ居タル船ノ(大岡育造君)代船
ノコトヲ聞キマセヌ、金額ノ差ヲ聞クノデス」ト呼フ) 奨勵金ヨリ多クハヤラ
スト云フノデアリマスカラ、無論事故ノアツトキニハ、是ヨリ減ルトモ増
ス氣遣ハナイノデアリマス、ソレカラ航海獎勵金ハ、初年カラシテ船齡五年
ニ達スルマデノ率ハ御承知ノ通デ、二百六十七万三千八百九十四圓ト云フモ
ノハ、助成金モ同ジコトデアリマス、ソレガ三十五年度カラシテ、今ノヤウ
ニ此船ガ事故ナシニ續イテ行キマシタナラバ、三十五年度ヨリ漸々年ヲ取リ
マスカラ、割合ガ減フテ行クデス、ソレヲ通ジマスト二千二百六十六万八千
九百四十三圓ト云フヤウナ譯ニナル、ソレデ是ハ獎勵金ノ方ハ、船ガ新シク
ナレバ、又元ノ率ニ歸シテ來ルト云フコトニナル、特別助成金ノ方ハ(大岡
育造君)「ソシナ講釋ヲセズ、差ヲ仰シヤイ」ト呼フ) 其邊ヲ能ク御承知下サラヌ
ト云フト、極端ヲ想像シタ場合ニハ、其差ハ四百六万九千餘圓デス

○大岡育造君(四十五番) 歐洲航路ダケニ……

○政府委員(佐藤秀顯君) 左様

○大岡育造君(四十五番) ソレカラシヤトル

○政府委員(佐藤秀顯君) 桑港

○大岡育造君(四十五番) 桑港ハ百六十万四千餘圓デス

○政府委員(佐藤秀顯君) 大岡育造君(四十五番) サウスルト今ノ御計畫ノ通ヨリモ、段々金高ノ下
ルノヲ下ゲズニ渡ス結果トシテ、五百四十何万圓ダケ殖エル譯デスナ、續イ
テ御尋申シマス、郵船會社ガ現ニ各航路ニ於テ、受取シテ居ル所ノ保護金ハ
幾ラデス

○政府委員(佐藤秀顯君) 孟買線デ十九万圓、濠洲線デ三十四万圓餘、
レカラ八十八万圓

○大岡育造君(四十五番) 今日可決シタ分ヲ合セテ……

○政府委員(佐藤秀顯君) アレガ十七万圓デアリマスカラ、三十四万圓ガ五
十一二万圓ニナルデス

○政府委員(佐藤秀顯君) 大岡育造君(四十五番) ル金ハイクラデアリマス
ニモ年齢ニモ依リマスカラ、年々差ガアリマス、三十一年度ノ豫算ニ依リマ
スト、二百八十五万圓餘ニナシテ居リマス

○政府委員(佐藤秀顯君) 大岡育造君(四十五番) 二百八十五万圓ト孟買濠洲ト
ハ、又違フノデスナ

○政府委員(佐藤秀顯君) ソレハ達ヒマス、航海獎勵法ニ依ッテ受ケル金ガ
二百八十五万圓デアルデス、三十一年度ノ豫算ニ據レバ、ソレカラ特別
ノ契約ガアツテ、孟買線ト濠洲線ヲ維持シテ居リマシ、ソレカラ三十三年ノ
九月デ満期ニナルベキ八十八万圓ト云フモノガアリマスカラ、ソレヲ……

○大岡育造君(四十五番) 合シマスト幾ラニナリマス

○政府委員(佐藤秀顯君) 今申述ベマシタダケヲ合シテ見ルト、ザット四百
二十六万圓バカリニナリマス

○大岡育造君(四十五番) ソレカラ先刻島田君ニ附イテノ御答ガアツタデセ
ウ、私少シ明瞭ヲ缺キマスルガ、特定航路ノ目的ト云フモノハ、保護スル目的
ト云フモノハ何ニアリマスカ

○政府委員(佐藤秀顯君) 特定航路ヲ保護スル目的ト云フモノハ、航海獎勵
法デ隨意ニヤツテ居ルト云フ、貿易上ナリ又交通上ナリ少モ極マラナイ、
此荷物ハ何日マデニコチラニ取寄セナケレバナラズ、此人ハ何時ハコチラニ
到著スルト云フコトヲ、少モ決定スルコトガ出來ナイ、歐洲ニ往カウト思
テ居ル船モ、或ハ亞米利加ニ往タルアリ亞米利加ニ往クベキモノガ、孟買ニ往
クト云フヤウナコトハ、隨意ニヤラレルノデアリマスカラ、ソレテナシニ義
務トシテ、荷物ガアツテモナクテモ、人ガ往來シテモシナクテモ、損益利
害如何ニ拘ラズ、極メタ通ニ歩ルカセルト云フコトニスルノニハ、特別助成
ヨリ外ニ仕方ガナインデアリマス、其必要ガアルタメニ之ヲ出シタト云フヨ
リ外ハナインデアリマス

○大岡育造君(四十五番) モウツ御尋ヲ致シマス、昨年ノ成績ト云フモノ
ヲ新聞デ見マスルト云フト、獨逸船ノ「ウイルヘルム」ト云フ船ヘ、一時間ニ
二十四「ノット」出ル、ソレカラ英吉利ノ「ルカニヤル」ト云フノハ、一時間ニ
二十三海里モ出ル早イ船ガアルト云フ、先刻又御説明ニ依ルト、歐洲船ハモ
ト早イ船ヲ使ハナケレバナラヌト云シテ、十三万圓御殖シニナシテ、是マデハ十
三「ノット」デ役立タヌカラ十六「ノット」ニスルタメニ此金ヲヤルト云フヤウ
ナ御説明ガアツタ、サウ云フ風ニ早イ船ノ必要ノアルニ拘ラズ、何故ニ歐羅
巴通ノ船ニ、十四「ノット」ト極メラレタノデアルカ

○政府委員(佐藤秀顯君) ソレハ先刻モ申述ベマシタ通在來ノ船舶ヲ使
テ、今日ノ所デハ不適當ト云フコトヲ認メナシ、今日アル船ヲ隨意航海ト云

フコトヲ、定期航海ニ直スバカリノ趣意デアル、ソレデ成ル程二十ノットモ二十四ノットモ、速力ノ段々ニ早クナルト云フコトハ、是ハ今御説ノ通デアリマスガ、是ハ太西洋ヤ或ハ歐羅巴近邊ヤサウ云フ處ニアリマスガ……

○大岡育造君(四十五番) 宜シウゴザイマス、ソコデ今度ノ特定航路ノレアトルト大方竝ブカト思ウテ居リマスガ、晚香坡ノアノ「メール」ハドノ位ノ速力ヲ持クテ居リマスカ

○政府委員(佐藤秀顯君) ヴアンクーヴァルカラ日本ニ來ル即チ「インプレス」ト云フ三艘ノ船ハ、初ハ十八ノットト云フ積デアリマシタガ、近頃古クナッタカラ、十五六位ハ、精一杯ノ力ヲ出シタラ駛ルデセウ

○大岡育造君(四十五番) 私ハ十九ノットト廣告シテ十八ノット往クト開イテ居リマス、其線ニ向クテ十九ノットト云フコトヲ極メタノデアリマス、日本ガ一ソレト大方竝ブ線ニ、ソレヨリモ遅イ船ヲ何故極メタノデアル、新シク此船ハ出來ル筈デアルガ、ナゼ十五ノットト極メタノデアル

○政府委員(佐藤秀顯君) 十七ノットニスルヨリハ二十ノットニスルガ宜シイト云フコトハ、前ニモ御答ヲシタ通デアルガ、此線路ノ即チシアトル線ハ、決シテヴァンクリーグア通ノモノニ競争ヲシャウト云フヤウナ目的デハナイノデアツテ、アノ近邊ノ交通貿易ニ充テルノニハ、十五ノット以上六千

噸以上デアルナラバ、適當デアルト云フコトヲ認メタノデアリマス

○大岡育造君(四十五番) ソレハアナタガ認メル此理由書ニ據ルト、政府ハ非常事變ノ際ニ於テ、本航路ノ船舶竝ニ船員ヲ使用スルコトヲ得トゴザイマスガ、現ニ日本カラシテ亞米利加ニ往文シテアル所ノ巡洋艦ナドハ、確カ二

十四ノット位ノ速力ヲ持クテ居ルト思ヒマスガ、サウ云フ速力ヲ持クテ居ル巡洋艦ニ續イテ、荷物モ運搬シナケレバナラヌコトモアラウト思ヒマス、人モ送ラナケレバナラヌト思フガ、政府ガ此中ニ錢ヲ出シテヤツテ、其船トハ續クコトガ出來ナクテモ宜シトイ云フ御見込デアルカ、少シ大臣デナクチヤ御答ガムヅカシカラウモウ、少シゴマシマセス、御答致シマスガ、是ハ決シテ其巡洋艦ニ使フ積デ、有事ノトキニ使用スルト云フコトヲ書イタノデハナイ……

○大岡育造君(四十五番) 巡洋艦ニ使フト言ヒハセナイ

○政府委員(佐藤秀顯君) 議長(片岡健吉君) 大岡君、質疑ヲナサルトキニハ、政府委員ノ答辯ガ終タ後ニナサルヤウニ

○政府委員(佐藤秀顯君) 現ニ二十七八年事件デモ御承知ノ通ニ帝國ノ船籍ニ上ツテ居ル汽船ト云フ汽船ハ、殆ド使用シ盡シタ云フ位ニアリマス、今度此歐洲線ニ使ヒマスル十二艘ノ如キ、又シアルニ使ヒマスル三艘ノ如キ、殊ニ比較的ニ早キ桑港線ノ船ノ如キハ、最モ此兵馬倥偬ノ際ニハ運送、其他ノ事ニ附イテ用ヲ爲スト云フコトハ、軍事當局者モ望ヲ屬シテ居ル所デアリマス

○恵松隆慶君(九十七番) 賛成者ガアリマス、賛成演説ヲ許サレ、又反対演説ヲ許サレ、早ク討論ニ移ランコトヲ望ミマス

○島田三郎君(二百五十番) 私ノ質問ニ對シテ政府委員カラ、マルデ見當ノ

違ツテ居ル御答ガアリマシタカラ、更ニ政府委員ニ問ヒマスルガ、今政府委員ノ御答ニ據リマスト、只今ノ有様デハ、今日東ノ方へ往クモノガ、明日西ノ方ニ往クト云フ有様デアル、斯ウ言ハレタノデアル、サウ云フ船ニ郵便物ヲ積ンダト言ハレマシタガ、ソンナ船ニ政府ガ郵便物ヲ積メル氣遣ハナイ、

ト云フコトハ、初ハ十八ノットト云フ積デアリマシタガ、近頃古クナッタカラ、十五六位ハ、精一杯ノ力ヲ出シタラ駛ルデセウ

○大岡育造君(四十五番) 私ハ十九ノットト廣告シテ十八ノット往クト開イテ居リマス、其線ニ向クテ十九ノットト云フコトヲ極メタノデアリマス、日本ガ一ソレト大方竝ブ線ニ、ソレヨリモ遅イ船ヲ何故極メタノデアル、新シク此船ハ出來ル筈デアルガ、ナゼ十五ノットト極メタノデアル

○政府委員(佐藤秀顯君) 十七ノットニスルヨリハ二十ノットニスルガ宜シイト云フコトハ、前ニモ御答ヲシタ通デアルガ、此線路ノ即チシアトル線ハ、決シテヴァンクリーグア通ノモノニ競争ヲシャウト云フヤウナ目的デハナイノデアツテ、アノ近邊ノ交通貿易ニ充テルノニハ、十五ノット以上六千

噸以上デアルナラバ、適當デアルト云フコトヲ認メタノデアリマス

○大岡育造君(四十五番) ソレハアナタガ認メル此理由書ニ據ルト、政府ハ非常事變ノ際ニ於テ、本航路ノ船舶竝ニ船員ヲ使用スルコトヲ得トゴザイマスガ、現ニ日本カラシテ亞米利加ニ往文シテアル所ノ巡洋艦ナドハ、確カ二

十四ノット位ノ速力ヲ持クテ居ルト思ヒマスガ、サウ云フ速力ヲ持クテ居ル巡洋艦ニ續イテ、荷物モ運搬シナケレバナラヌコトモアラウト思ヒマス、人モ送ラナケレバナラヌト思フガ、政府ガ此中ニ錢ヲ出シテヤツテ、其船トハ續クコトガ出來ナクテモ宜シトイ云フ御見込デアルカ、少シ大臣デナクチヤ御答ガムヅカシカラウモウ、少シゴマシマセス、御答致シマスガ、是ハ決シテ其巡洋艦ニ使フ積デ、有事ノトキニ使用スルト云フコトヲ書イタノデハナイ……

○大岡育造君(四十五番) 巡洋艦ニ使フト言ヒハセナイ

○政府委員(佐藤秀顯君) 議長(片岡健吉君) 復異議ガナケレバ、許スコトニ致シマス

○大岡育造君(四十五番) 明治二十五年カラシテ段々ニ遞減ヲシテ行キマス所ノ獎勵金、一体地租ヲ増シマシタル時分ニ、之ヲ五年ニ限リテ三分三厘ニ減少スル時分ノ計算ト云フモノガアツテ、十年計畫モ段々ニ減リテ來ル、ソレカラ航海獎勵法杯モ、段々減リテ來ルカラ、五年目ニハ増サナクトモ宜イト

○議長(片岡健吉君) 復異議ナシト呼フ者アリ

○大岡育造君(四十五番) 私ハ許サレテ居リマスカラ、暫ク御聞下サイ

○議長(片岡健吉君) 大岡育造君、チヨット差掛クテ御詰リスルコトガアリマスカラ、少シ御待下サイ、兩院協議會ノ議長鳩山和夫君カラ是ヨリ兩院ノ協議會ヲ開キタイト云フコトデアリマスガ、御異議ハアリマスマイカ——午後二時カラ開ク約束ニナクテ居ルサウデス

○議長(片岡健吉君) 復異議ガナシト呼フ者アリ

○大岡育造君(四十五番) 明治二十五年カラシテ段々ニ遞減ヲシテ行キマス所ノ獎勵金、一体地租ヲ増シマシタル時分ニ、之ヲ五年ニ限リテ三分三厘ニ減少スル時分ノ計算ト云フモノガアツテ、十年計畫モ段々ニ減リテ來ル、ソレカラ航海獎勵法杯モ、段々減リテ來ルカラ、五年目ニハ増サナクトモ宜イト

○議長(片岡健吉君) モウ討論ニ移ラウト思ヒマス

○政府委員(佐藤秀顯君) 唯今ノハ五年先キノ御問デスカ

(政府委員大藏省主計局長阪谷芳郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(阪谷芳郎君) 五年先キハマダ豫算ノ上ニハ餘程餘リガアリマス
カラ、其既定ノ財源ヲ以テ支辨致シマス

○大岡育造君(四十五番) 然ラバ政府デハ何故ニ監獄費ニ限ツテ増税ヲ施行
シナケレバナラヌコトヲ仰シャルト言ハネバナラヌ、監獄費ナラバ増税ノ必要ガアツテ、郵船會社ナラ餘リガアルト云フノデスカ、
其答ハ如何ニ

○政府委員(阪谷芳郎君) 監獄費ノ御尋ハ、三十四年度ノコトデゴザイマス、
三十四年度ノコトニ附イテハ、御答ヲ致シマシタ

○星亨君(二百二十四番) フコトノ動議ヲ提出致シマス

(「賛成タク」聲交々起ル)

○星亨君(二百二十四番) 豫算ニ附イテハ一向構ハナイノデス、先決問題デ
スカラ議場ニ於テ之ヲ容レ、バ仕方ガナイノデアル

○議長(片岡健吉君) 星亨君ノ動議ガ出マシタカラ、賛成ガアレバ、採決致
シマス

○大岡育造君(四十五番) 通告ガアリマス

○議長(片岡健吉君) 通知ガアリマシテモ、緊急動議デアリマスカラ、賛成
者ガアレバ決ヲ採リマス

○井上角五郎君(百八十番) 百八十番ハ縱令緊急動議ト雖モ出ス人ガ既ニソ
レハ間違ッテ居ルノデアツテ此處ニ免ニ角今後ノ財源如何ニ附イテ大岡君ガ
質問セラレタノハ、賛成スル人反対スル人ヲ問ハズシテ、此場合ハ必要ナル
聞クベキ所ノモノデアルト言ハナケレバナラヌ、ソコニ其答ヲシヤウトスル
人、聞カウトスル人が共ニ満足ヲレナインヲ、ワインく騒イデカラニ此所デ
決ヲ採ラウナド、云フ先決ノ動議ヲ出スノハ、寧ロ議權ヲ重ゼザル仕方ト思
フノデアル

○星亨君(二百二十四番) 議論ニナックタ以上ハ、決ヲ御採り下サイ

○議長(片岡健吉君) 決ヲ採リマス、井上角五郎君ノ唯今ノ説ハ、反對論デ
ゴザイマスカラ、何シロ星亨君ニ賛成者ガアル以上ハ、採決ヲ致シマス、星
亨君ノ緊急動議ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○議長(片岡健吉君) 少數ト認メマス、モウ討論シテハドウデス、大岡育造
君

○大岡育造君(四十五番) 本員ノ考ヘマスル所デハ、特定ノ郵便航路ヲ定メ
テ國家ガ之ヲ保護スルト云フコトヲ惡ルトイ思フノデハゴザイマセヌ、ワレ
ハ宜シカラウト思フノデゴザイマス、併ナガラ此特定ノ航路ヲ定メテ此船ヲ
保護スルト云フコトニハ、國家ガ利益ヲ得ナケレバナラヌト思フノデアル、國
家ハ何ノ利益ヲスルコトモナシニ、唯會社ノ利益ヲ圖ルコトハ甚ダ宜クナイン
コト、思フノデアル、何故ニ斯ノ如キコトヲ申スカト申シマスレバ、吾ミガ隨
分シニクイ所ヲ忍ンデカラ、國家ノ財政ヲ整理スルタメニ増税ヲシテ、漸ク財政
ガドウヤラスウヤラ行カウカト云フ此際ニ當リマシテ、活キタ仕事ヲスルナ
ラバ格別デアルケレドモ、無駄ノ仕事ヲスルト云フコトガ、確ニ私ハ分タノメ
デアル、其一ハ何デアルカト言ヒマスレバ、即チ先進國ガ勢力ヲ占メテ居ル此

(「大岡育造君演壇ニ登ル」)

航路等ニ附キマシテ、後進ノ吾々日本國が航海ナリ貿易ナリニ於テ信用ヲ得ル、勝ヲ制シヤウト云フナラバ、良イ船ヲ造リ、速イ船ヲ造ラケレバナラヌノデアル、今ヤ歐羅巴ニ於テハ一時間ニ二十四ノットモ走ル、又二十三ノットモ走ルト云フ船ガアルト云フ其世ノ中ニ、日本人ガ貧乏ノ中カラ金ヲ出シテトモ走ルト云フ船ガアルト云フ其世ノ中ニ、日本人ガ貧乏ノ中カラ金ヲ出シテトモ走ルト云フ船ニ金ヲ遣ルト云フノハ、何ノ譯デアルカ、確ニ十九ノットトモ走ルト云フ論ガゴザイマスガ、亞米利加カラシテ通フ所ノ船ノ廣告ニ依リマスト、十九ノットト云フ船デ、是ハ近頃日本ニ來ル所ノ郵便ヲ積ム船デアル、所ガ此廣告ヲ一割引キマシテモ、十七八ノットト云行クニ違ヒナイノデアルガ、其コトニ附キマシテ、即チシアトル線ト云フモノハ幾ノットカト云フト、十五ノットダト云フ、此十五ノットト云フ船ハ今マデアル船ヲ使フナラバ、マダシモ情實デ、モアラウト思フノデアルガ、有ルノヲ使フノザヤナイ、新シク拵ヘテ遣ラセルト云フ計畫デアル、新シク拵ヘル位ナラ、ナゼ早イルガ、其コトニ附キマシテ、即チシアトル線ト云フモノハ幾ノットカト云フト、十五ノットダト云フ、此十五ノットト云フ船ハ今マデアル船ヲ使フナラバ、マダシモ情實デ、モアラウト思フノデアルガ、有ルノヲ使フノザヤナイ、新シク拵ヘテ遣ラセルト云フ計畫デアル、新シク拵ヘル位ナラ、ナゼ早イルガ、其コトニ附キマシテ、即チシアトル線ト云フモノハ幾ノットカト云フト、十五ノットダト云フ、此十五ノットト云フ船ハ今マデアル船ヲ使フナラバ、マダシモ情實デ、モアラウト思フノデアルガ、有ルノヲ使フノザヤナイ、新シク拵ヘテ遣ラセルト云フ計畫デアル、新シク拵ヘル位ナラ、ナゼ早イ船ヲ造ラズ、大キナ遅イ船ヲ造ルコトハ、會社ノ利益ニナルヤウニシテ其上ニ又金ヲ添ヘテ政府ガヤルト云フヤウナ理窟ハ、私アルマイト思フノデアル、抑々何ノタメニ今日斯ウ云フコトヲスルノデアルカ、航海獎勵ニ依クテカラ、隨分澤山ノ金ヲヤルデハナイカ、郵船會社バカリデモ先刻御聽ニナラ、タ通亘萬ノ金、アレダケノ多クノ錢ヲ貴フノデハナイカ、國家ハ隨分貧乏致シテ居ルヲハアリマセヌカ、國家ハ貧乏ラシテ、ソレガタメニ隨分困ク問題ヲ幾ツモ引受ケテ、ヤット片附ケタ位ナ譯デアルノニ、是マテ既ニ何百万圓ト云フ――四百万圓五百万圓ト云フ金高ヲ掛フ、其中ノ三百万圓四百万圓ヲ郵船會社ハ貴シテ居ルデハナイカ、郵船會社ハ商賣ヲスルタメニシナケレバナルマセヌカ、國家ハ貧乏ラシテ、税モ減スコトガ出來ル、即チ地租ノ如キモ止メルコトガ出來ルト云カナルシテ、税モ減スコトガ出來ル、即チ地租ノ如キモ止メルコトガ出來ルト云トヲスルノハ、抑々何タル實ニ政策デアルカ、私ハ其意ヲ得ヌノデアル、十年ノ計畫所謂十年ノ計畫ナルモノハ段々減シテ往シテ、シマヒニ金ガイラナクナルル、サウ保護バカリデ四百万圓近ク貴シテ、又其錢ノ減ル頃ニ足ラナクテハイカナイ、今ノ中ニモコト十年ノ先キヲ約束シテ置イテ、上ゲテ置カウト云フコトヲスルノハ、段々減シテ往カウト云フ其減ルノヲ止メテ、矢張澤山ニ拂フフ譯デアルノニ、段々減シテ往カウト云フ其減ルノヲ止メテ、矢張澤山ニ拂フヤウニシナケレバ、ナラスト云ヘバ、是ヨツ間接ニ諸君ハ増税ヲ御承知ニナラナケレバ、出來ヌコト、言ハナケレバナルマイト思フ、増税ト云フコトハ、斯ノ如キコトカラ生ズルノデアシテ、決シテ監獄費ノ如キ當然ノ費用ニハセナイト云フコトモ、後來承知シナケレバ、ナラヌ、私ハドウ考ヘマシテモ斯ノ如キノト積ンデタマクタモノデハナイ、歐羅巴カラ來ルノデモ近來早イコトヲ尊ビマスカラ、多クハ亞米利加通ヒト云フヤウニナラテ居ラテ、皆早キヲ競フ、ヨリ這入ラテ契約書ノ義務ヲ受負フ、其義務ヲ負ッテ――何シノ義務ヲ負フト云フト、郵便ヲ積ムト云フコトニ過ギナイノデアルガ、今度ノ遅イ船ニ郵便ヲ積ンデタマクタモノデハナイ、歐羅巴カラ來ルノデモ近來早イコトヲ尊本案ハ、其意ヲ得ヌノデアシテ、又郵船會社ナリ其外ノ會社東洋、汽船會社モ是云フモノハ義務ヲ負フト云フ書附ガゴザイマスルガ、是ガ本當ノ義務ヲ負ウテ役ニ立ツヤウニシマスルナラバ、軍艦ノ御供ガ出來ルヤウナ船ヲ造シテ貰ハ

ナケレバ、役ニ立タヌノデアル、軍艦ハ二十四「ノット」云フヤウナ巡洋艦ガ注文シテアルノニ、政府デ保護ヲシテヤル所ノ船ハ、十四「ノット」十五「ノット」シキヤ出ナイト云ウタラ、甚ダ困ツタ譯デ、臺灣ヲ占領スルトカ、北海道ヲ防禦スルトカ、兵ヲ送ル時分ニ、軍艦バカリ先キニ往ツテ、兵モ荷物モ來ナイト云フナラバ、折角早ク掠ヘタル所ノ二十四「ノット」ノ船ハ、實ハ用ヲ爲スコトハ、甚ダ不十分デアルト云フコトハ免レナイト思フ、サウ云フコトノナイタメニ損ガイツテモ、之ヲ政府ガ保護シテヤツタカラ、若シサウ云フ時分ニ用ヲ足スト云ウケヤウト云フノデ、歐羅巴航路マデ始メタ、歐羅巴航路マデ始メタケレドモ、テコソ、甚ダ名利ノアルコトデアル、ソレニモ役ニ立タナイ、唯御用ヲ——御用ヲ務メルナラバ迷惑ト云フコトハ、私ハ言ハセナイ、戰爭ニ於テ郵船會社ハ始テ活キタノデハナイカ、多ク儲ケタノデハナイカ、此トキニ取レルダケハ諸所ノ國デハ、早イ良イ船ヲ造ラウト云フ今日、遅イ船ヲ造ツテ、此セチ辛イ金ヲ使フト云フ計畫ハ、甚ダ私ハ其意ヲ得ヌノデアル、諸君、コンナコトハ皆諸君ガ御承知デアツテ、演説ヲセヌデモ分ルト云フ御方サヘモゴザイマスルケレドモ、私ハ魯鈍ニシテ今日此世ノ中ニ斯ノ如キ案ガ出テ、ソレガ通過シヤウト云フコトハ、如何ニモ安心ヲスルコトハ出來マセヌノデゴザイマスカラシテ、諸君ノ公平ナル判断ヲ以テ斯ノ如キ案、五年先キハ地租モ減リマス、其減ルモノヲ稅ヲ減サナケレバナラヌ時代ガ來タノニ、減スドコロデナシ、其減ルノヲ段々増スト云フコトニナリマスルガ、是モ増ス、又軍事ノ方デ算用ガ達ツタナラバ、今年増シテ吳レ、宣シイ、討論ヲ須ヒズ、委員ヲ設ケズ、一ツ卽決ニシロ、宜シトイヤツタ所ノ結果、諸君ノ協贊ノ上斯ノ如キモノガ出タカラシテ、是コツ御贊成ト云フコトハ、必ず來ルデアラウト私ハ思フ、諸君今後諸君ノ協贊後色々胸算用モアルコトデゴザイマセウガ、本員ノ此案ヲ見ル所ハ、斯ノ如クデゴザイマスカラシテ、諸君ガ公平ナ御判断アランコトヲ希望致シマス

○議長(片岡健吉君) 箕浦勝人君

○星松三郎君(二百四十二番) 唯今ノ大岡君島田君ノ御演説ニ附イテ、聊カ政府委員ニ御尋シタイコトガアル

○議長(片岡健吉君) 今發言ヲ許シマシタカラ……

(箕浦勝人君演壇ニ登ル)

○箕浦勝人君(二百六十六番) 本員ハ政府提出案ニ贊成デアリマス、島田君大岡君等カラ、質問並ニ反対ノ御演説ガアリマシタ、就キマシテハ大分事情ノマダ通ジナイコトガアルヤウデアリマス、事實ノ間違モアル、事情ノ明ニナッテ居ナイコトガアルヤウデアリマスカラ、二三ノ要點ヲ——長イコトハ申シマセヌ、二三ノ要點ヲ擧ゲテ、贊成ノ意ヲ表シヤウト思ヒマス、今ノ一般獎勵法ト云フモノハ、實ハ最モ不經濟ナ法デアリマス、所謂國家ノ利益ト云フコトヲ標準ニ致シテ、甚ダ不經濟ナ法デアリマス、ドウシテモ是ハ特別助成ニ致シテ、定期航路ヲ保ツト云フコトデナケレバナラヌノデアル、唯船ヲ澤山持ヘルト云フバカリガ、此日本ノ航海事業ヲ進メルト云フ目的デハナイ、航路ヲ維持スルト云フコトガ、最モ必要ナモノデアル、航路ヲ維持シヤウト

外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲナスヲ要スル件
七一四
云フタメニハ、是非共定期ニシナケレバ、航路ヲ保ツコトガ出來ナイノデア
ル、定期航海ヲスルト云フ必要ガ分ラスト云フ御說ガアリマスガ、是ハ驚イ
タ話デ、實ニ此位必要ナコトハナイ、其必要ガナイト云フコトノ御話ノ中ニ
ハ、餘程根本的ニ音ミト考ノ違ウテ居ル御說ガアリマシタカラ、是ハ已ムヲ
得ナイデアリマスガ、凡ソ貿易ノ進ム順序ヲ言ヒマスルト、先ゾ航海ガ先キ
ニ發達シテ、先キニ旗ヲ立テ、ソレカラ商賣ガ後カラ開ケテ行クノガ、是
ガ自然ノ順序デアル、今商賣モナイノニ船ヲヤルノハ、何事デアルカト云フ
コトハ、是ハ順序ヲ轉倒シタ御說デアルト思フ、先ゾ航海ト云フモノガ、旗
ヲ立テ、進ンデ往クテ、ソレカラ商賣ガ開ケテ往クコトハ、順序デアリマ
スカラ、茲ニ商賣上國ノ海外貿易ヲ發達サセヤウト云フタメニハ、先ゾ以テ
日本ノ國旗ヲ翻シテ、先キニ進ンデ往カナケレバ、ナラヌノデアル、又適當ナ
ル船モ何時モ維持シテ往カウト云フニハ、相應ナル長イ航路ヲ持ツテ居ル定
期航路ヲ保ツテ居ラナケレバ、船ヲ維持スルコトガ出來ナイノデアル、又船
ニ乗ル海員ノ技術ヲ養成シテ、始終技術ヲ保ツテ居ラウト云フノニモ、相當ナ
ナ長イ定期航海ヲ保ツテ居ラナケレバ、出來ナイノデアル、況ヤ郵便ノ如キ
ハ、尙更ノコトデアリマシテ、決シテ不定期航海ニ郵便ヲ託スルコトハ出來
ナイ、併ナガラ或方向ヲ定メテ出發スルトキニ、郵便ヲ託スルコトヲ得ルナ
ラバ、託シモシマセウガ、是ハ永久ノコトニナリマセヌカラ、郵便ヲ託スル
ト云フ上カラ云ヘバ、無論定期航海ニシナケレバナラヌ、然ルニ(大岡育造
山デアリマスガ、是ニハ中ミ金モ掛リマス、サウ澤山ナ金ヲ掛ケテ、非常ナ
君「ナゼ早クシナイ」ト呼フ)是カラ今ノ御尋ニ御答ヲ致サウト思フノデア
ル、先刻カラ頻ニ速力ト云フコトガ、御氣ニ掛ルヤウデアルガ、是ハサウ御
心配ニハ及バヌノデアル、成ルベク速力ノ早イ船ヲ指ヘタイト云フコトハ山
大岡君ノ御演説ニ依リマスルト、マルテ場處ヲ混ジテシマッテ居ル、太西洋
ト東洋トヲマルテ混淆シテシマッテ居ル、歐羅巴ト亞米利加ノ間ノ航路ハ、
非常ニ競争ガアル、其競争ハ種々ナル手段ヲ盡シテ、速力ノ競争モ非常ニア
ル、其競争ノ極、非常ニ速力ノ早イ船ヲ指ヘルト云フコトニナツテ居リマス
ガ、是ハ其方面ニ限ルコトデアッテ、決シテ東洋デ左様ノコトハナイノデア
ル、如何トナレバ他ノ船ガサウ速力ガ早クト云フ船バカリデハナイ、先ゾ十
役ニ立タヌカト云フト、決シテ左様デナイ、十四「ノット」テ、澤山デアル、
君「ナゼ早クシナイ」ト呼フ)是カラ今ノ御尋ニ御答ヲ致サウト思フノデア
ル、抵好イ加減ナ所ニ極メルヨリ外仕方ガナイ、然ルニ速力ノ遅イモノナラバ、
ト云フ上カラ云ヘバ、無論定期航海ニシナケレバナラヌ、然ルニ(大岡育造
山デアリマスガ、是ニハ中ミ金モ掛リマス、サウ澤山ナ金ヲ掛ケテ、非常ナ
不經濟ナコトヲスルコトハ、中ミ今日ノ場合出來ナイノデアル、ソレ故ニ大
岡君ノ御演説ニ依リマスルト、マルテ場處ヲ混ジテシマッテ居ル、太西洋
ト東洋トヲマルテ混淆シテシマッテ居ル、歐羅巴ト亞米利加ノ間ノ航路ハ、
非常ニ競争ガアル、其競争ハ種々ナル手段ヲ盡シテ、速力ノ競争モ非常ニア
ル、其競争ノ極、非常ニ速力ノ早イ船ヲ指ヘルト云フコトニナツテ居リマス
ガ、是ハ其方面ニ限ルコトデアッテ、決シテ東洋デ左様ノコトハナイノデア
ル、如何トナレバ他ノ船ガサウ速力ガ早クト云フ船バカリデハナイ、先ゾ十
役ニ立タヌカト云フト、決シテ左様デナイ、十四「ノット」ノ船デアッテモ、何時デモ十
四「ノット」デ走ルカト云フト、決シテサウデハナイ、平生十二「ノット」位デ
ト云フ船バカリデハナイ、期限ト云フモノガ大切デアル、何日間ニ何處
へ行ク、何時間ニ此處カラ此處マデ到著スルト云フ、定期期限ト云フコト
ガ大切デアル、遲クモ其期限ヲ保テバ、世界ノ人ハ信用スルノデアル、
此郵便物ヲ托スルコトガ出來ルノデアル、然ルニ若シ此郵便物ヲ運ブナラ
ヌケレドモ、今日此歐洲航路ノ方面ニ當シテ、決シテ郵便ヲ運ンデ居
ル船ト比較シテ見マシタナラバ、決シテ十四「ノット」ノ船ハ遲クナイ、
十分ニ托シテモ差支ナイ理ノモノデアル、然ルニ若シ此郵便物ヲ運ブナラ
バ、ドウ云フ風ナコトニスルカト云フト、今日デハ先刻政府委員カラ述ベラ

レタ通、互ニ相無貨デ、外國ノ船デハ、苟モ條約ノアル所ノ船デアレバ、日本カラモ無貨デ郵便物ヲ送リ、又日本ノ船デアラテモ、他ノ條約國カラ無貨デ積ムト云フコトハ、條約上左様ニナツテ居リマス、其條約ノ注文ニ應ズルニハ、十四「ノット」ト云フ船デアレバ十分デアル、決シテ速力ガ少イト云フ理窟ハナイノデアル、又今日若シ日本カラ直接ニ此定期航海デ、郵便物ヲ託スルコトガ出來タナラバ、ドウ云フ利益ガアルカト云フト、今日テハ歐羅巴ヘ行クニハ、我ハ上海デ繼ギ香港デ繼グノデアル、ソレヲ日本カラ一直線ニ往キマスレバ、ソレダケノ儉約モ出來、ソレダケノ手間モ省ケルト云フコトデアリマスカラ、此點ハ無論速力モ十分ナリ、其上ニ直接ニ此郵便線路ヲ開クト云フ利益ガアルノデアル、要スルニ無論此定期航海ヲ保ツト云フコトガ必要デ、唯今ノヤウニ一般獎勵デ隨意ニナリマスルト、利益ノアル處ニハ船ヲ寄セ、利益ノナイ處ニハ船ヲ寄セナイト云フコトニナリマスカラ、此航海事業ヲ妨ゲルト云フコトニナル、其結果遂ニ日本ノ貿易ヲ定ムルコトガ出来ヌ、又日本ノ船ヲ保チ船員ヲ保ツト云フコトノ目的ヲ貫クコトガ出来ヌ、ケノ國ガ、ソレダケノ利益ヲ得ヤウトスレバ、ソレダケノ金ヲ投ジナケレバナラヌ、併ナガラ同ジク金ヲ投ズルナラバ、成ルベク其投ジタマケノ金ヲ活カシテ使ハナケレバナラヌ、今ノ一般獎勵法ノ金ノ使方ハ、誠ニ不經濟デアル、死金ヲ使フト同ジコトデアル、之ヲ活カシテ使フト云フタメニハ、之ヲ同ジ金高ヲ使フニシテモ、其形ヲ變ジテ活シテ使フト云フノガ、是ハ經濟法ノ原則デアリマス、ソレデ此特定航路ヲ開クニ附イテ、六百万圓バカリ其金ガ増スト云フ何ガアリマスカラ、成ル程増スト云フコトハ、今日ドウ云フ勘定カラ増スカト言ヘバ、一般獎勵法ノ計算方ニシテ行キマスレバ、五年以後ハ百分ノ五減ツテ行クベキモノガ、更ニ餘計増スト云フノデハナイ、一般獎勵デヤレバ、五年以後ニ百分ノ五減ツテ行クノガ、減ラヌノデアラテ、ソレデ更ニ増ス譯デハナイ、段々ト減ル筈ノガ減ラヌノデ、更ニ増スト云フ譯デハナイ、併ナガラ唯錢ヲ出スノガ惜シタメニ、國家ノ利益ト云フコトヲ考ヘズシテ、唯錢ヲ出スコトガ惜シト云フコトデアレバ、ソレマデヤアルガ、併シ日本ノ航海業ヲ進メ、海國タル我國ノ目的ヲ貫キ、我國ノ利益ヲ進メヤウト云フニハ、ソレダケノ資本ヲ入レナケレバナラスト思ヒマス、然ルニ大岡君抔ノ御演説ヲ伺ヒマスト云フト、國家ノ利益上カラ說カナケレバナラヌ問題デアルノニ、動モスレバ一人或ハ一會社ノ利益ト云フコトヲ目的ニサレテ、御立論ヲサレルコトハ、殆ド本員等ノ遺憾ニ存ズルコトデアリマス

○恵松隆慶君(九十七番) 私ハ討論終結ノ動議ヲ提出シマス

(賛成タク)ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 討論終結ノ動議ガ出マシタガ、御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシ)「異議アリ異議アリ」ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガアリマスレバ、採決ヲ致シマス、討論終結ニ同意ノ諸君ハ、起立ヲ請ヒマス

○議長(片岡健吉君) 大多數ト認メマス、討論ハ終結サレマシタ、此採決ハ、起立者多數

無記名投票ヲ用フルコトニ致シマス

○星亨君(二百二十四番) チヨツト御相談ガアリマスガ、是ハ反對者ガ五十ニハ、十四「ノット」ト云フ船デアレバ十分デアル、決シテ速力ガ少イト云フ理窟ハナイノデアル、又今日若シ日本カラ直接ニ此定期航海デ、郵便物ヲ託スルコトガ出來タナラバ、ドウ云フ利益ガアルカト云フト、今日テハ歐羅巴ヘ行クニハ、我ハ上海デ繼ギ香港デ繼グノデアル、ソレヲ日本カラ一直線ニ往キマスレバ、ソレダケノ儉約モ出來、ソレダケノ手間モ省ケルト云フコトデアリマスカラ、此點ハ無論速力モ十分ナリ、其上ニ直接ニ此郵便線路ヲ開クト云フ利益ガアルノデアル、要スルニ無論此定期航海ヲ保ツト云フコトガ必要デ、唯今ノヤウニ一般獎勵デ隨意ニナリマスルト、利益ノアル處ニハ船ヲ寄セ、利益ノナイ處ニハ船ヲ寄セナイト云フコトニナリマスカラ、此航海事業ヲ妨ゲルト云フコトニナル、其結果遂ニ日本ノ貿易ヲ定ムルコトガ出来ヌ、又日本ノ船ヲ保チ船員ヲ保ツト云フコトノ目的ヲ貫クコトガ出来ヌ、ケノ國ガ、ソレダケノ利益ヲ得ヤウトスレバ、ソレダケノ金ヲ投ジナケレバナラヌ、併ナガラ同ジク金ヲ投ズルナラバ、成ルベク其投ジタマケノ金ヲ活カシテ使ハナケレバナラヌ、今ノ一般獎勵法ノ金ノ使方ハ、誠ニ不經濟デアル、死金ヲ使フト同ジコトデアル、之ヲ活カシテ使フト云フタメニハ、之ヲ同ジ金高ヲ使フニシテモ、其形ヲ變ジテ活シテ使フト云フノガ、是ハ經濟法ノ原則デアリマス、ソレデ此特定航路ヲ開クニ附イテ、六百万圓バカリ其金ガ増スト云フ何ガアリマスカラ、成ル程増スト云フコトハ、今日ドウ云フ勘定カラ増スカト言ヘバ、一般獎勵法ノ計算方ニシテ行キマスレバ、五年以後ハ百分ノ五減ツテ行クベキモノガ、更ニ餘計増スト云フノデハナイ、一般獎勵デヤレバ、五年以後ニ百分ノ五減ツテ行クノガ、減ラヌノデアラテ、ソレデ更ニ増ス譯デハナイ、段々ト減ル筈ノガ減ラヌノデ、更ニ増スト云フ譯デハナイ、併ナガラ唯錢ヲ出スノガ惜シタメニ、國家ノ利益ト云フコトヲ考ヘズシテ、唯錢ヲ出スコトガ惜シト云フコトデアレバ、ソレマデヤアルガ、併シ日本ノ航海業ヲ進メ、海國タル我國ノ目的ヲ貫キ、我國ノ利益ヲ進メヤウト云フニハ、ソレダケノ資本ヲ入レナケレバナラスト思ヒマス、然ルニ大岡君抔ノ御演説ヲ伺ヒマスト云フト、國家ノ利益上カラ說カナケレバナラヌ問題デアルノニ、動モスレバ一人或ハ一會社ノ利益ト云フコトヲ目的ニサレテ、御立論ヲサレルコトハ、殆ド本員等ノ遺憾ニ存ズルコトデアリマス

○議長(片岡健吉君) 唯今指名致シマシタ協議會ノ委員諸君ハ、會期モ餘程切迫ニナリマシタカラ、直チニ議長副議長ヲ互選アランコトヲ希望致シマス、昨日指名致シマシタ明治二十三年法律第九十號中改正法律案外二件此委員諸君モ、早ク委員長理事ヲ互選セラレテ、議長ノ手許マテ御通知アランコトヲ望ミマス、昨日指名致シマシタ領事館職務ニ特別委員諸君モ、委員長理事ヲ早ク互選セラレテ、是モ議長ニ報告ニナランコトヲ望ミマス

○小田爲綱君(百二十四番) 唯今ノ委員會ノコトヲ御詰リヲ願ヒタ

○議長(片岡健吉君) 小田爲綱君カラ、是ヨリ移民保護法改正案ノ委員會ヲ開キタメ、昨日指名致シマシタ領事館職務ニ特別委員諸君モ、

(異議ナシ異議ナシ)「異議アリ」ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、許スコトニ致シマス——權利收用ニ關スル法律案ノ委員會モ唯今ヨリ開キタメ、昨日指名致シマシタ領事館職務ニ特別委員諸君モ、

出席總員二百四十二
白球

(本山書記官朗讀)

出席總員二百六十五
黑球

七十八

○議長(片岡健吉君) 本案ハ可決セラレマシタ……此際ニ報告ガアリマス

(寺田書記官朗讀)

貴族院ヨリ本院ノ送付ニ係ル耕地整理法案ヲ可決シタル旨通牒アリ
貴族院ヨリ本院ノ提出ニ係ル東京市ニ關スル法律案ハ第二讀會ヲ開カサル
コトヲ議決シタル旨通牒アリ
下飯坂權三郎君小倉信近君菊池九郎君武石敬治君小田爲綱君門馬尙經君名
須川良平君ヨリ大船渡灣ヲ商港トナスノ建議案ヲ提出セラレタリ

國有土地森林原野下戻法案協議委員左ノ通指名セリ

藤澤幾之輔君

佐々木正藏君

西谷金藏君

津野常君

重野謙次郎君

有村連君

中村榮助君

西村眞太郎君

工藤行幹君

關信之介君

藤澤幾之輔君

佐々木正藏君

西谷金藏君

津野常君

重野謙次郎君

有村連君

中村榮助君

西村眞太郎君

工藤行幹君

關信之介君

藤澤幾之輔君

佐々木正藏君

西谷金藏君

津野常君

重野謙次郎君

有村連君

中村榮助君

西村眞太郎君

工藤行幹君

關信之介君

藤澤幾之輔君

佐々木正藏君

西谷金藏君

津野常君

重野謙次郎君

有村連君

中村榮助君

西村眞太郎君

工藤行幹君

關信之介君

藤澤幾之輔君

佐々木正藏君

西谷金藏君

津野常君

重野謙次郎君

有村連君

中村榮助君

西村眞太郎君

工藤行幹君

關信之介君

藤澤幾之輔君

佐々木正藏君

西谷金藏君

津野常君

重野謙次郎君

有村連君

中村榮助君

西村眞太郎君

工藤行幹君

關信之介君

藤澤幾之輔君

佐々木正藏君

西谷金藏君

津野常君

重野謙次郎君

有村連君

中村榮助君

西村眞太郎君

工藤行幹君

關信之介君

藤澤幾之輔君

佐々木正藏君

西谷金藏君

津野常君

重野謙次郎君

有村連君

中村榮助君

西村眞太郎君

工藤行幹君

關信之介君

藤澤幾之輔君

佐々木正藏君

西谷金藏君

津野常君

重野謙次郎君

有村連君

中村榮助君

西村眞太郎君

工藤行幹君

關信之介君

藤澤幾之輔君

佐々木正藏君

西谷金藏君

津野常君

重野謙次郎君

有村連君

中村榮助君

西村眞太郎君

工藤行幹君

關信之介君

藤澤幾之輔君

佐々木正藏君

西谷金藏君

津野常君

重野謙次郎君

有村連君

中村榮助君

西村眞太郎君

工藤行幹君

關信之介君

藤澤幾之輔君

佐々木正藏君

西谷金藏君

津野常君

重野謙次郎君

有村連君

中村榮助君

西村眞太郎君

工藤行幹君

關信之介君

藤澤幾之輔君

佐々木正藏君

西谷金藏君

津野常君

重野謙次郎君

有村連君

中村榮助君

西村眞太郎君

工藤行幹君

關信之介君

藤澤幾之輔君

佐々木正藏君

西谷金藏君

津野常君

重野謙次郎君

有村連君

中村榮助君

西村眞太郎君

工藤行幹君

關信之介君

藤澤幾之輔君

佐々木正藏君

西谷金藏君

津野常君

重野謙次郎君

有村連君

中村榮助君

西村眞太郎君

工藤行幹君

關信之介君

藤澤幾之輔君

佐々木正藏君

西谷金藏君

津野常君

重野謙次郎君

有村連君

中村榮助君

西村眞太郎君

工藤行幹君

關信之介君

藤澤幾之輔君

佐々木正藏君

西谷金藏君

津野常君

重野謙次郎君

有村連君

中村榮助君

西村眞太郎君

工藤行幹君

關信之介君

藤澤幾之輔君

佐々木正藏君

西谷金藏君

津野常君

重野謙次郎君

有村連君

中村榮助君

西村眞太郎君

工藤行幹君

關信之介君

藤澤幾之輔君

佐々木正藏君

西谷金藏君

津野常君

重野謙次郎君

有村連君

中村榮助君

西村眞太郎君

工藤行幹君

關信之介君

藤澤幾之輔君

佐々木正藏君

西谷金藏君

津野常君

重野謙次郎君

有村連君

中村榮助君

西村眞太郎君

工藤行幹君

關信之介君

藤澤幾之輔君

佐々木正藏君

西谷金藏君

津野常君</p

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、許スコトニ致シマス

○草刈武八郎君(二百十九番) 是カラ漁業法案ノ委員會ヲ開キタウゴザイマス

○議長(片岡健吉君) 草刈武八郎君ハ是ヨリ漁業法案ノ委員會ヲ開キタイト

云フコトデアリマスガ、御異議ガナケレバ、許スコトニ致シマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 日程第十一、第十號明治三十二年度歲入歲出總豫算追加案、全部ヲ議題ニ供シマス

第十一 (第十號) 明治三十二年度歲入歲出總豫算追加案

○恵松隆慶君(九十七番) 是ハ總テ多ク建議カラ成立コト居ル所ノ航海補助神社其他ノ費用デゴザイマスガ、全部委員長ノ報告通異議ハゴザイマセヌ、ドウカ直チニ決セラレンコトヲ望ミマス

〔賛成〕ト呼フ者多シ

○議長(片岡健吉君) 原案デ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ナケレバ、原案ノ通決シマス、次ハ議事日程第十二、追第六號豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲナスマ要スル件、全部ヲ議題ニ供シマス

第十二 (追第六號)豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契

○恵松隆慶君(九十七番) 是ハ法律ノ結果デ、多ク斯ウナリマシタノデゴザイマス、無論直チニ可決セラレンコトヲ望ミマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者多シ

○議長(片岡健吉君) 原案ニ御異議ナケレバ、原案ノ通決シマス、議事日程第十三、第十一號明治三十二年度歲入歲出總豫算追加案、全部ヲ議題ニ供シマス

第十三 (第十一號) 明治三十二年度歲入歲出總豫算追加案

○恵松隆慶君(九十七番) 是モ異議ゴザイマセヌ、ドウカ直チニ決セラレンコトヲ望ミマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、原案ノ通決シマス

○中村榮次君(二百七十番) 此場合ニ日程ヲ變更セラレテ

○恵松隆慶君(九十七番) マダ早イ、豫算ヲ終コトニテカラキ契約ヲナスマ要スル件、全部ヲ議題ニ供シマス

○恵松隆慶君(九十七番) (追第七號)豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲナスマ要スル件

第十四 (追第七號)豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲナスマ要スル件

○恵松隆慶君(九十七番) 是モ異議ゴザイマセヌ

○議長(片岡健吉君) 原案デ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ナケレバ、原案ノ通決シマス、此處ニ御諮リスルコトガアリマス、豫算委員長カラ先刻報告ニナリマシタ特追五號、特追七號、三十二年度追加豫算第七號第十二號第十三號第十四號、之ヲ議事日程ヲ變更シテ、是ヨリ順次議スルコトニ致シテ如何デゴザイマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者多シ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ナケレバ、其通致シマス、此次ハ特追第五號、全部ヲ議題ニ供シマス

○議長(片岡健吉君) (特追第七號) 明治三十二年度各特別會計議入議出豫算追加案

○栗原亮一君(八十七番) 下戻法案ガ可決スルマデ延期シタイト云フ

○栗原亮一君(八十七番) 是ハ延期スルノデアリマスカ

○議長(片岡健吉君) (特追第七號)此場合ニテ此場合

○栗原亮一君(八十七番) (特追第七號)此特追第五號ハ國有森林原野下戻法案、此法案ガ確定シナケレバ、豫算ヲ議ス譯ニ往カヌノデアリマスカラシテ、此法律案確定ノ場合ニ於テ議シテ、今ノ場合ハ延期シタイト云フコトデゴザイマス

○栗原亮一君(八十七番) (特追第七號)此特追第五號ハ國有森林原野下戻法案、此法案ガ確定シナケレバ、豫算ヲ議ス譯ニ往カヌノデアリマスカラシテ、此法律案確定ノ場合ニ於テ議シテ、今ノ場合ハ延期シタイト云フコトデゴザイマス

○議長(片岡健吉君) (特追第七號)此特追第五號ハ國有森林原野下戻法案、此法案ガ確定シナケレバ、豫算ヲ議ス譯ニ往カヌノデアリマスカラシテ、此法律案確定ノ場合ニ於テ議シテ、今ノ場合ハ延期シタイト云フコトデゴザイマス

○工藤行幹君(百二十五番) 議事日程ハ皆濟ンダンデスカ

○議長(片岡健吉君) 議事日程ノ豫算ハ皆済ンダ
○○恵松隆慶君(九十七番) 第七號ハ、全部異議ゴザイマセヌ
○議長(片岡健吉君) 全部原案ニ御異議アリマスマイカ
○恵松隆慶君(九十七番) 全部異議ナシ
○議長(片岡健吉君) 全部議題ニ供シマス
(第七號)明治三十二年度歲入歲出總豫算追加案
○議長(片岡健吉君) 御異議アリマスマイカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(片岡健吉君) 全部議題ニ供シマス
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(片岡健吉君) 御異議ナケレバ、原案通決シマス、ソレカラ明治三
〔根本正君演壇ニ登ル〕
○根本正君(三百番) 諸君、追加豫算トシテ學校ノタメニ殆ド十一萬圓ノ豫
算ガ出マシテアリマスルガ、此コトハ我帝國ノ教育ノ方針ヲ定ムルコトニ
附キマシテ、我政府ハ如何ナル方針ヲ執ッテ居ルカト云フコトヲ質シ、又諸君
ガ之ヲ御決シニナル前ニ、少シク御靜聽ヲ煩シタトイ思ヒマス〔無用々々〕
〔簡短簡短ト呼フ者アリ〕政府ニ於テ、殊更ニ大藏大臣ハ、普通教育ノタメニ
金ガナイ、能ク出シタ所ガ八十萬圓位アル、ソレモムヅカシイ、即チ反對
ノ意見ヲ此議會ニ於テ申述ベラレマシタ譯デアリマス、然ルニ普通教育ニ於
テ、日本ノ大基礎トナル所ノタメニハ、金ヲ出サズシテ、是ガタメニ更ニ追
加豫算トシテ十萬圓以上ノモノヲ出サレマシタト云フコトハ、實ニ我國ノ
方針ト云フモノヲ誤ツテ居ルコト、思ヒマスル譯デアリマス、普通教育ハ
即チ残ラズノ人ニスルコトアツテ、此高等ト云フモノハ、僅ノ人民ニ關係ヲ
有シテ居ルモノニアリマス、故ニ此大藏省ノ役人ト云フモノハ、運動ヲサレタ
タメニハ金ヲドンドモ出シテ、即チ第一ノ普通教育ノタメニハ、拒ムト云フ
モノハ、如何ノ根源デアルカト云ココトヲ、此議論ヲ述べテ諸君ノ御決心ヲ
願ヒタインデアリマス、實ニ此教育ト云フモノハ、大切ナモノデアツテ、普
通教育ト云フモノハ丁度富士ノ山ノ如ク下ガ澤山ニ金ヲ出サナケレバナラヌ、
此普通教育ノタメニハ、富士ノ山ノ如ク下ガ澤山ニ金ヲ出サナケレバナラヌ、
所ガ、日本デハ高等教育ニ金ヲ澤山ニ出シテ、普通教育ニハ出サナイ、其證
據ト云フモノハ、高等學校ニハ而モ百七十萬圓出シテ居リマス、其人數ハ如
何デアルカト云フト、僅ニ一万二百六十人デアツテ、高等學生ハ一人ニ附イ
テ百六十五圓七十九錢ト云フモノヲ諸君ノ懷ヨリ費シテ居ル譯デアル、然ル
ニ普通教育ハ、國家人民が負擔ヲスベキ此義務アル所ノ小學ノタメニハ、僅
ニ五十萬圓ト云フ此特別加俸ヲ出シテ、即チ普通教育國民教育ヲシナケレバ
ナラヌ所ノ國民ノタメニハ、僅ニ一人ニ附イテ十二錢三厘外出サナイ、丁度

日本教育ノ方針ト云フモノヲ、富士ノ山ニスペキモノヲ富士ノ山ヲ倒サニシ
テ置クズット上ヘ高等ノ方ヘ出シテ、下ヘハ出サナイ譯デアル、故ニ斯ノ如キ
譯デアリマスカラシテ、此文部大臣始メ大藏大臣ハ、如何ノ譯ヲ以テ殊更ニ追
加豫算トシテ、其必要ヲ認メルコトハ如何デアルカ、是ハ諸君ノ御決心ニナル
過シタノデ、若シモ地方ニ依シテ、十万圓寄附スルナラバ、或ハ四國デモ十
万圓寄附スルダラウト思ヒマス、ソレ等ノ事情ハ、質シタカ知ラヌケレドモ、
此學校ト云フモノハ、第一ニ人口地形通運ノ便ニ依シテ成立ツベキモノニア
ル、故ニ我日本ノ地形ニ依リマスレバ、所謂海ヲ隔テ、居ル所ノ四國ノ如キ、
ソレヨリ九州、段々ニ便利ヲ圖ラナケレバナラヌケレドモ、第一政府ハ教育ノ
方針ガ定マラナイ、即チ運動ノ結果ニ國費ヲ費スト云フコトハ、吾々代議士ガ
決シテ許スベカラザルコトデ、此問題ニ附イテ言フノゾハナイケレドモ、政
府ノ方針ガ分ラナイ、斯ノ如キ方針ニナツテ來マスレバ、此雜居ニナリマシタ
トキニ、如何ナル結果ヲ見マスルカ、實ニ非常ナル結果ヲ見ルト思ヒマス、
故ニ斯ノ如キコトハ、餘程御研究ニナラナケレバナラヌト思ヒマス、地方デ成
程十万圓ハヤル、土地ヲ十万圓上ゲル、至極御目出度イヤウニ思ヒマスガ、
其十万圓ハ必ズ何ミカ、十万圓ハ獻納スルト言ヘバ、訴訟ニシテ見レバ、司法
大臣ガ之ヲ取ル權利ガアルカ、斯ノ如ク實ニ砂ノ上ニ家ヲ建テルヤウナコト
ヲ以テ來タモノガ、此國政ヲ料理スル人ガ之ヲ許シテスルト云フコトハ、日本
ノ大體ヲ崩シテ、而モ教育ノ主義ニ反対シテ居ル譯ト私ハ信ジマス、故ニド
ウカ諸君、此教育問題ハ第一ニ普通教育ニ金ヲ使ハナケレバナラヌ、其次ニ
段々ニ上ニ上ツテ來テ、盡スベキモノハ師範學校尋常中學、中學校ト云フ
モノニハ、金ヲ費サナケレバナラヌ、此高等學校ノタメニ、一人ニ百六十五
圓七十九錢ヲ費シテ、國民ノタメニハ、十二錢三厘外使ハナイト云フノハ、
至極不埒デアリマスカラ、宣シク御決心ヲ願ヒマス
○井上角五郎君(百八十番) 百八十番
〔討論終結又ハ議論ダケハヤルベシト呼フ者アリ〕
○山内吉郎兵衛君(二百四十番) 私ハ質問ヲ致シタイト思ヒマス
○議長(片岡健吉君) 何所ヘ質問致シマスカ
○山内吉郎兵衛君(二百四十番) 政府ニ質問ヲ致シマス
(市島謙吉君演壇ニ登ル)
○市島謙吉君(百七十五番) 反對ノ通告ガ三人アリマシテ、贊成ハ一人モナ
シト云フコトデゴザイマスルガ故ニ、私ハ贊成ナシシテ、唯之ヲ反対者ノ言フ
ニ任スト云フコトハ、甚ダ遺憾ニ考ヘマスカラ、コニ参シタ譯デアリマス
ガ、唯今根本君ノ御説ニハ、私ハ全部贊成デアリマスガ、但シ普通教育ダケ
ニ、根本君ハ御熱心ノヤウデアリマスルガ、普通教育ニモドウゾ御熱心デア
ルト同時ニ、高等ノ教育ニ附イテモ御熱心デアランコトヲ私ハ根本君ニ第一
ニ御望スルノデ、今日ノ事情ハドウデアルカト云ヒマスト、長クハ言ヒマ
セヌガ、段々中學ガ澤山殖エテアルガ、其中學ヲ卒ツタ所ノモノハ、ドウナ
ルカト申シマスルト、殆ド三分ノ一ハ行場ガナイ、高等學校デ以テ試験ヲ致
シテ、三分ノ二近クト云フモノハ及弟致シ、後ト三分ノ一ハ及弟ヲセヌガ、

是ハ何デアルカト云フト、ソレハ這入ルベキ資格デナイト云フノデハナクシテ、入レル場處ガナイノデ、故ニ段々手ヲ逐ヒマシテ、尋常中學ト云フモノガ殖ニ附キマシテハ、其以上ノ學校ノ設備ヲ要スルト云フコトハ、今日論ヲマタヌ、ソレデドノ方面ニ向テ高等学校ヲ設クベキヤト云フ、此地形上ノ問題ニ附キマシテハ、今日彼此長ク論ズルマデモゴザイマセヌガ、私ハ確ニ四國ノ如キ若クハ中國ノ如キト云フヤウナ場處モ、必ズ高等學校ヲ置クベキ地形デアラウト思ヒマス、然ルニ今度幸ニ致シテ斯様ナ案ガ出マシタト云フコトニ附イテハ、其土地ノ何レデアルカト云フコトハ、暫ク私ハ論シマセヌガ、コニ出テ居リマス所ノ案ハ、私ハ日本全國ノ區畫ノ中デ、是非共ナケレバナラヌ所ノ中國ニ置カレルト云フコトニ附イテ、私ハ第一ニ贊成ヲ表スルノデアル、然ルニ通知セラレタ所ノ反對ノ諸君ヲ見マスルト云フト、是モ矢張中國ノ諸君デアルノデ、均シク中國ニ置カル、所ノモノデアルナラバ、反對サルベキ咎ハゴザイマセヌ、然ルニ續々反對者ガコニ記名シテ居ルト云フノハ、何テアルカト申シマスルト、私共ノヤウナ岡目カラ見マスルト、私ハ地方争デハナイカト思フノデアリマス、併シソレラノコトハ別問題デアリマスカラ、コニ言ヒマセヌガ、私ハ何故ニ唯今是ニ贊成ヲスルカト云ヒマスト、政府ガ多クノ金ヲ使ハズシテ、容易ニ立テルコトノ出來ル機會ガゴザリマスルナラバ、是ハ既ニ高等學校ノ必要ヲ認メタ以上ハ、必ズイツ何時デモ贊成シテ宜シトイ思フノデ、此案ノ如クデアリマスルト云フト、三十万圓ノ金ガナケレバ、高等學校ガ立タナイ、然ルニ其三十五圓ノ三分ノ二ハ地方ガ負擔ヲスル、僅ニ三分ノ一、十萬圓少シ餘ノ金ガアレバ、一ツノ現在非常ニ不自由ヲ感ジテ居ル所ノ、一ツノ高等學校が出來ルト云フ以上ハ、是ハ國トシテ贊成スベキ所デアル、喜ブベキ所デアルト、私ハ斯様ニ思フ、或ハ諸君ノ中ニ色ニ地形上ノ議論ガアリマセウガ、假ニ地形カラ論ジマシテモ、私ハ岡山アタリニ設ケラレルコトガ相當ト思フ、何故カト申シマスレバ、此廣島ト云フ處モ無論必要ハアリマセウカラ、置クベキガ出テ高等學校ヲ置ク仕組ニナリマスレバ、ソレモ宜イ、併シ四國ト岡山ト、ドウ云フ關係ニナルカト云ヘバ、岡山ノ方ノ者ハ、四國ニ往クテモ宜シイデアリマセウガ、山陰道ノ者ハ、ドウシテモ四國トノ間ニ於テ、一ノ高等學校ヲ置ク必要ガアルノデアリマス、斯様ナ譯デ(「分テ居ル」「モウ宜シイ」)ト呼フ者アリモウ直キニ濟ミマス、岡山ノ今日ノ有様ハ、ドウデアルカト云ヘバ、既ニ三ツバカリノ尋常中學ガ成立ツテ居リマス、其一ツハ高等學校ノ附屬ニナツテ居ル高等醫學校ガアツテ、是ガ五百バカリノ生徒ヲ持ツテ居ル、他ノ關西學校ト云フモノガ、五百ノ數ヲ保ツテ居ルト云フ譯デ、凡ソ中學ノ全數ヲ計算スレバ、三四百ノ數ヲ保ツト云フ有様デ、ソレ等ハ孰モ卒業シタ生徒ガ、往キ場所ニ困ツテ居ルノデアル、幸ニ地方ノ人ガ奮發シテ、三分ノ二ノ金ヲ出スト云フコトデアリマスカラ、國家トシテハ之ニ反對ヲスル理由ハナイト思ヒマス、地方ノ孰レヲ問ハズ、孰レノ方面デモ、學校ハドシ立テル方ガ宜シイ、高等教育ノタメニ大ニニ學校ヲ立テルガ宜シトイ思ヒマスカラ、地形ノ如キ區々タル議論ナドハ御廢シニナリマシテ、此案ヲ御贊成

アランコトヲ願ヒマス
〔討論終結〕採決々々「ト呼フ者アリ」

○議長(片岡健吉君) 討論終結ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○議長(片岡健吉君) 多數ト認メマス、本案ニ附イテ採決ヲ致シマス、本案

○議長(片岡健吉君) 多數ト認メマスカ

○星亨君(二百三十四番) 這入ツテ居ルノデアリマス

○星亨君(二百三十四番) 多數ナラ宣イ

○恵松隆慶君(九十七番) 第十三第十四ハ、一括シテ議事ニ附セラレンコトヲ望ミマス

○議長(片岡健吉君) 恵松君ノ發議ノ通り、第十三ト第十四ノ日程ハ、併テ

○議長(片岡健吉君) 原案ニ異議ハアリマセヌカ

○議長(片岡健吉君) 「贊成々々」ノ聲起ル

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、原案ノ通決シマス――次ハ日程ノ第十五、臺灣事業公債法案第一讀會ノ續、委員長報告、佐藤里治君

(第十三號)明治三十二年度歲入歲出總算追加案
(第十四號)明治三十二年度歲入歲出總算追加案

○議長(片岡健吉君) 「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル

○議長(片岡健吉君) 「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、原案ノ通決シマス――次ハ日程ノ第十五、臺灣事業公債法案第一讀會ノ續、委員長報告、佐藤里治君

○議長(片岡健吉君) 「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル

(第十三號)明治三十二年度歲入歲出總算追加案
(第十四號)明治三十二年度歲入歲出總算追加案

○議長(片岡健吉君) 「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル

結果トシテ、多少是ハ本案ニ修正ノ必要ガ起ルノデゴザイマスガ、是ニ反対ヲスルト云フ論者ノ中ニ於キマシテモ、絶對的ノ反対ハ、殆ドナイノデアリマシテ、唯調査ガ完全シナイ、時機ヲ俟シタメニ、暫ク延期スルト云フ論旨デゴザイマシタガ、此鐵道敷設ノコトハ、既ニ是ハ前々議會ニ於キマシテ、國庫ガ六朱ノ保證ヲスルト云フコトマデニ、承諾ヲ與ヘマシタコトデゴザイマスカラシテ、無論今日何ノコトモナインデゴザイマス、既ニ是ハ豫算デ決議ヲ致シマシタカラ、別ニ述ベル必要モナイト思ヒマス、デ、是ダケヲ御報告申シテ置キマス

○○野間五造君(百九十八番) 議長
○○議長(片岡健吉君) 野間五造君ハ、少數意見ノ報告デスカ

○○野間五造君(百九十八番) サウデゴザイマス

〔野間五造君演壇ニ登ル〕

〔簡短々々ト呼フ者アリ〕

○野間五造君(百九十八番) 簡單ニヤリマスカラ、御注文ニハ及ビマセヌ、勿論豫算デ通過ニナツクコトデアリマスカラ、此議案ハ殆ド議スル必要ハナイト云フ御論デアリマシタガ、委員長ノ頭デハ、サウ云フ議論ガ出ルダラウト思ッテ居ツタノデアリマス、先刻委員ノ國民協會ノ御方ノ御説モアリマシタガ、豫算ハ豫算、法案ハ法案トシテノ意見ハ、十分成立ツダラウト云フ意見デアリマスカラ、簡短デハアリマスガ、一言述ベテ置キタイト思ヒマス(男ラシクモウ止メ給ヘ)ト呼フ者アリ少數意見ト云フモノハ、ドウ云フ譯デアツカト云フト、少數トハ言ヒナガラ議場ニ於キマシテハ、委員會ハ正半數デアルノデ、委員長タル佐藤君ガ、政府案ノ方ニ御贊成ニナリマシタ、メニ、一人ノタメニ多數ト云フ名ヲ附ケラレマシクノデアリマス、ダカラ吾ミモ少數トハ言ロナガラ、委員會デハ正半數デアツカト云フコトヲ申上ゲタイ、ソレハ正半數デアツカト云フコトハ、議場ノ體裁トシテモ、一應申ス必要ハアル、即チ私ノ意見デハナイ、委員會ノ半分ノ意見ト云フコトヲ思召シ下サレントヲ願ヒマス、臺灣ニ於テノ四千万ノ事業公債ト云フモノハ、第一番ニ出タノハ、御承知ノ通六千万圓ト云フ事業公債が出タノデアル、ソレガ一夜ニ二千万圓ト云フモノガヘヅラレテ、四千万圓ト云フモノガ出タノデアル、最初產マレルトキカラ、難產デアツカト質問シタ如ク臺灣總督府ノ幕僚ノ答デアツカ、所謂先刻質問シタ如ク臺灣總督府ノ幕僚ノ答デアツカ、所ガ、後刻ニ於テ大藏省ノ說ニ依ルト、此大租權ト云フモノヲ買收スルコトハナイト云フ御答デアツカ、ソレガタメニ四千万圓ノ詰リ公債ヲ拂フ途ハ分ラヌノデ、通過シタノガ豫算會ノ有様デアル、ソコデ第一ニ鐵道敷設ト云フコトニハ、ドウ云フコトデアルカト質問シタキニ、政府ハ地圖ヲ持ツテ居ルカ、鐵道ヲ敷クナラバ、地圖ガナクテハナラムト云ウテ尋ねタ所ガ、其答メト云フ答デアツカカラ、政府委員ガ地圖ヲ持タヌデハ、鐵道ノ議論ガ出來ヌト云フコトヲ言ウタノデアル、第一ニハ三千万圓デモ一億万圓デモ宜イガ、政府ガ豫算ヲ立テ原價ナルベキモノヲ伺ヒタイ、例ヘバ人夫ハ一人一日幾ラデアル、枕木石其他總テノ材料ハ、元價幾ラデアルカト云フコトヲ尋ねタ所ガ、政府委員ハ電報デ問合セタ上デナケレバ、即答ハ出來マセスト云フ

コトデ、其儘ニ過去ツタト云フ委員會ノ始末デ、斯ノ如キモノガ鐵道敷設ニ對スル政府ノ二十年計畫ノ概略デアル、ソレカラ鐵道ニ附イテ大體私ナリ其他質問ニナツタノハ、政府ハ三千十圓ノ豫算ヲ以テ、雨サヘ降レバ千哩カラノ地所ガ洪水ニ化シ去ルト云フ臺灣ニ於テ、三千万圓ノ豫算ヲ以テ爲シ得ラルデアラウカ、トウデアラウカト云フコトヲ問ウタキニハ、責任ヲ以テ三千万圓デヤリ遂ゲルト云フ話デアツタ、茲ニ於テ吾ミ少數者ハ尋ねタノニ政府委員ハ責任ヲ以テヤルト云フコトデアルガ、今ノ政府委員ガ明日ニモ辭職シタ場合ニハ、何ヲ以テ其責任ヲ盡スコトガ出來ヤウカ、責任ト云フ言葉ハ、耳障リデアルカラ、取消ヲ言ウタヤウナ次第デアル、責任ト云フコトハ、日ニ出ルダケデ、之ヲ完成セシムルタメ、臺灣ノ當局者ガ面倒ヲ見テヤル熱心ハナイト云フコトヲ證明シ得タリト信ジテ居ル、ツレカラ第二ニ附イテ質問シタノハ、大租權ノ買收ノコト、土地ヲ調査スルコトニ附イテ、大租權ノ買收ハ、大藏省デハマダ認メナイト云ヒ、總督府ハ五年先キニ買フト云ヒ、此衝突ヲ來タシタカラ、委員ハ五里霧中ニ彷徨シタ始末デ、要スルニ大租權ヲ買收シナケレバ、此公債案全部ヲ成立シナイト云フ譯ニナツテ來ルカラ、イヤトモ總督府ノ意見ハ、政府ノ意見トシテ信用シナケレバナラヌガ、所デ、大租權ト云フモノハ、ドウ云フモノカト尋ねタ所ガ、政府ノ答ニ、大租權ハ所有權デハナイケレドモ、所有權ノ一部分ヲ以テ居ルモノデアルカラ、之ヲ買フナラバ人民ニ強制シテモ、大租權ヲ取上げルコトガ出來ルト云フコトデアツタ、所ガ、大租權ノ性質ヲ明瞭ニスルニハ、一ノ科學トシテ大學ナリ專門ノ學校ニ於テ、研究スルダケノ一ノ問題デアツテ、一朝一夕ニ簡單ノ言葉ヲ以テ、年先キノコトト此席ニ御出ニナル方ミノ後繼ギノ著ハレテ來ル五年先キノ答ヘラル、簡便ナモノデハナイ、吾等ハ長ク云フナラバ、委員會ノ如キ十日モ越ツテ、御尋ヲシナケレバナラヌノデアリマス、ソコデ其際ニ私ガ斷案ヲ下シテ置キマシタカラ、今日申上ゲテ置キタイト思ヒマスガ、全體大租權ハ五年先キノコトト此席ニ御出ニナル方ミノ後繼ギノ著ハレテ來ル五年先キノ大租權ノ問題ヲ吾ミガ斷案シテ置クコトガ出來ル、ソレハ今日總督府ハ所有權ノ一部デアルト云フ明言デアルガ、吾ミハ所有權所謂對世ノ一世ニ對スル物上權ノ一デナイト云フコトヲ明言シテ憚ラヌ、政府委員ノ答ニ據レバ、大租權ハ所有權ノ一部シカ持ツテ居ナイカラ、土地整理ニ附イテ、アツチトコツチト區別ガ附イテ、其土地ノ所有者ハ誰ト云フコトヲ認メラル、カト云フコトヲ尋ねタ所ガ、ソレハ小租者ノ持物ニスル、大租者ノ所有權デナイト云フコトデ、是カラ追徵スル場合ハ、總督府ハ大租ヲ持ツテ居ルモノトノ一年ノ私契約ニ止シテ、若シ之ヲ拂ヘナイト云ウタトキニハ、其上ニ物上權ヲ主張シテ、差押ヲスルト云フコトハ、到底出來ナイノデ、唯一ノ訴訟ヲ法廷ニ持出スコトガ出來ルノミテ、一個ハ一箇デ、二箇受取ルコトハ出來ヌ、是非タ次第デアリマス、ソレデ土地調査ト云フモノハ、今日ノ豫算會ニ於テハ、此臺北縣ヲ許スト云フコトニナツテ居ツタヤウニ考ヘマスガ、此臺北縣ダケヲ然ルニ政府委員ガ速記録ニ於テモ明瞭デアルガ、私ハ土地整理ヲヤツタ結果ガ、大租權買收ト云フコトニハ、最モ不適當ナ話デアルト云フコトヲ申立テ云フコトデ、是カラ追徵スル場合ハ、總督府ハ大租ヲ持ツテ居ルモノトノ一年ノ私契約ニ止シテ、若シ之ヲ拂ヘナイト云ウタトキニハ、其上ニ物上權ヲ主張シテ、差押ヲスルト云フコトハ、到底出來ナイノデ、唯一ノ訴訟ヲ法廷ニ持出スコトガ出來ルノミテ、一個ハ一箇デ、二箇受取ルコトハ出來ヌ、是非タ次第デアリマス、ソレデ土地調査ト云フモノハ、今日ノ豫算會ニ於テハ、此臺北縣ヲ許スト云フコトニナツテ居ツタヤウニ考ヘマスガ、此臺北縣ダケヲ

人ノ人夫ヲ使ッテ三人ノ文官ガ附クガ、兵隊憲兵巡查ト云フヤウナモノハ倍ノ數ガ附イテ往カナケレバ、途中デ土匪ニ襲ハレルト云フノガ、今日ノ現況デアル、然ルニ土地調査ヲ豫算案ニ只調べル人ノ豫算ガ附イテ居ルノデ、保護スル人ノ數及價格ト云フモノハ認メテナイカラ、折角皆サンガ御協賛ニシタコトハ、只調べル人數調べ費用デ、保護シテ往カナケレバナラヌ費用用ハナインデ、明年ノ豫算ニハ必ズ之ガ倍増ニ掛クテ來ナケレバナラヌノデ、苟モ一厘ト雖モ認メテ置イタ以上ハ、明年ニ至リテ政府ハ既定歲出ニ屬スル繼續費用トシテ、吾々ハ盲從シナケレバナラヌト云フ義務ガ生ジテ來ル、第三築港デ、元ト總督府カラ出シタ案ニ依ルト、千万圓デアツタノガ、一夜漬ケニ二百万圓ニ直シタ奇怪ナモノデアルガ、二百万圓ノモノヲ以テ能ク我艦隊ヲ入レルコトガ出來ルカ、二艘カ三艘ノ商船ヲ入レルコトガ出來ヌガタニ、基隆ノ築港、臺灣ノ築港ハ、吾人ガ希望スルノデハナイ、吾人ガ希望スルノハ、南洋ニ於テ吾々國民ガ信用シタ所ノ軍隊ガ、十分ニ霸ヲ生ズルニ足ルダケノコトヲシテ貴ヒタイト思フノデアル以上ハ、此臺灣ト云フ日本ノ領土ニ於テ一艦隊ヲ入レルダケノ築港ガ出來ナケレバ、吾々ハ安心シテ我領土トンテ臺灣ヲ見ルコトガ出來ヌノデアル、所ガ此築港ハ二艘三艘位ノ二十咫以内ノ吃水ノ船ガ這入ルシカ、其以上ヲ入レルコトガ出來ヌノデアル、縱シ二十咫ノ船ガ這入レルモ、臺灣ト云フ九州程ノ島ニ長崎ト云フヤウナ一ツノ港ニシカ這入レナインデアル、後トノ熊本ニモ鹿兒島ニモ這入ルコトガ出来ナイノデアル、故ニ其御尋ンシタ所ガ、二十年ノ間ニ金ガ餘ツタナラバ、スルケレドモ、餘ラナケレバ打ヤクテ置クト云フ御答ニアツタ、ソレカラ廳舍建築ト云フコトガ其次ニアル、所ガ之ガ若シ兵隊ノ廳舍建築ニアルナラバ、吾吾ハ喜デ協賛ヲスルト云フコトヲ吾々ハ申シタノデアル、ト云フモノハ臺灣ハ物價ノ高イ所デ、兵ト云フモノハ、唯日曜一日遊ビニ出ルダケデ、二年ナリ三年ナリ閉籠メラレテ、藁ヲ敷キ石ノ上ニ寝テ居ルト云フノガ、今日ノ兵隊ノ有様デアル、デ今日大キナ宮トカ社トカ云フモノニ是マデ軍隊ガ居ルノデアル、是ハ事情上已ムヲ得ナイト察スルノデアル、所ガ政府ノ御答辯デハ、必ズ近日ノ中ニ都合ヲスルト云フ御答辯ニアル、所ガ此廳舍建築ハ、文官ノ廳舍ニアツテ、之ヲ兵隊ノ廳舍ニ向ケルナラバ、吾々ハ喜デ賛成ヲスルノデアルガ、文官ノ廳舍ニアルト云フノデアルカラ、吾々ハ反對ヲシタノデ、即チ少數者ノ意見ハサウデアルノデアル、臺灣デ文官ガドンナ生活ヲシテ居ト云フナラバ、普通ノ民間ノ紳士ノ先づ江戸デ云フナラバ、中流以上ノ人ノ住ムベキ家ニ小使ガ住シテ居ルト云フノガ、今日ノ始末ニアル、官吏ト云フ名ノ附ク者ハ、小使ニ至ルマデ煉瓦ノ高臺ノ家ニ住シテ居ルト云フノガ、今日臺北ノ有様デアル、是ハ新聞デ諸君モ御承知ノ通ニアル、兵隊ハ幾ラ宜其所ノ地位ヲ保クテ居ル所ノ兵モ、上等ノ兵以下ハ總テ兵舎ノ中ニ押籠メラレチ是ハ給水工事ニアル、此給水工事ト云フモノハ、臺北ノ市中ダケニ敷クト云フノデアル、私ハ政府委員ニ向クテ、此コトヲ質問致シマシタガ、政府委員ノ御答ハ臺灣全部ニ對シテ給水工事ヲ敷クノデハナイ、唯臺北ダケデアルト

云フ御答ニアル（「無用（く）ト呼フ者アリ」）アタナ方ガヤカマシク言ツテモ、ノ数が附イテ往カナケレバ、途中デ土匪ニ襲ハレルト云フノガ、今日ノ現況デアル、然ルニ土地調査ヲ豫算案ニ只調べル人ノ豫算ガ附イテ居ルノデ、保護スル人ノ数及價格ト云フモノハ認メテナイカラ、折角皆サンガ御協賛ニシタコトハ、只調べル人數調べ費用デ、保護シテ往カナケレバナラヌ費用用ハナインデ、明年ノ豫算ニハ必ズ之ガ倍増ニ掛クテ來ナケレバナラヌノデ、苟モ一厘ト雖モ認メテ置イタ以上ハ、明年ニ至リテ政府ハ既定歲出ニ屬スル繼續費用トシテ、吾々ハ盲從シナケレバナラヌト云フ義務ガ生ジテ來ル、第三築港デ、元ト總督府カラ出シタ案ニ依ルト、千万圓デアツタノガ、一夜漬ケニ二百万圓ニ直シタ奇怪ナモノデアルガ、二百万圓ノモノヲ以テ能ク我艦隊ヲ入レルコトガ出來ルカ、二艘カ三艘ノ商船ヲ入レルコトガ出來ヌガタニ、基隆ノ築港、臺灣ノ築港ハ、吾人ガ希望スルノデハナイ、吾人ガ希望スルノハ、南洋ニ於テ吾々國民ガ信用シタ所ノ軍隊ガ、十分ニ霸ヲ生ズルニ足ルダケノコトヲシテ貴ヒタイト思フノデアル以上ハ、此臺灣ト云フ日本ノ領土ニ於テ一艦隊ヲ入レルダケノ築港ガ出來ナケレバ、吾々ハ安心シテ我領土トンテ臺灣ヲ見ルコトガ出來ヌノデアル、所ガ此築港ハ二艘三艘位ノ二十咫以内ノ吃水ノ船ガ這入ルシカ、其以上ヲ入レルコトガ出來ヌノデアル、縱シ二十咫ノ船ガ這入レルモ、臺灣ト云フ九州程ノ島ニ長崎ト云フヤウナ一ツノ港ニシカ這入レナインデアル、後トノ熊本ニモ鹿兒島ニモ這入ルコトガ出来ナイノデアル、故ニ其御尋ンシタ所ガ、二十年ノ間ニ金ガ餘ツタナラバ、スルケレドモ、餘ラナケレバ打ヤクテ置クト云フ御答ニアツタ、ソレカラ廳舍建築ト云フコトガ其次ニアル、所ガ之ガ若シ兵隊ノ廳舍建築ニアルナラバ、吾吾ハ喜デ協賛ヲスルト云フコトヲ吾々ハ申シタノデアル、ト云フモノハ臺灣ハ物價ノ高イ所デ、兵ト云フモノハ、唯日曜一日遊ビニ出ルダケデ、二年ナリ三年ナリ閉籠メラレテ、藁ヲ敷キ石ノ上ニ寝テ居ルト云フノガ、今日ノ兵隊ノ有様デアル、デ今日大キナ宮トカ社トカ云フモノニ是マデ軍隊ガ居ルノデアル、是ハ事情上已ムヲ得ナイト察スルノデアル、所ガ政府ノ御答辯ニアル、必ズ近日ノ中ニ都合ヲスルト云フ御答辯ニアル、所ガ此廳舍建築ハ、文官ノ廳舍ニアツテ、之ヲ兵隊ノ廳舍ニ向ケルナラバ、吾々ハ喜デ賛成ヲスルノデアルガ、文官ノ廳舍ニアルト云フノデアルカラ、吾々ハ反對ヲシタノデ、即チ少數者ノ意見ハサウデアルノデアル、臺灣デ文官ガドンナ生活ヲシテ居ト云フナラバ、普通ノ民間ノ紳士ノ先づ江戸デ云フナラバ、中流以上ノ人ノ住ムベキ家ニ小使ガ住シテ居ルト云フノガ、今日ノ始末ニアル、官吏ト云フ名ノ附ク者ハ、小使ニ至ルマデ煉瓦ノ高臺ノ家ニ住シテ居ルト云フノガ、今日臺北ノ有様デアル、是ハ新聞デ諸君モ御承知ノ通ニアル、兵隊ハ幾ラ宜其所ノ地位ヲ保クテ居ル所ノ兵モ、上等ノ兵以下ハ總テ兵舎ノ中ニ押籠メラレチ是ハ給水工事ニアル、此給水工事ト云フモノハ、臺北ノ市中ダケニ敷クト云フノデアル、私ハ政府委員ニ向クテ、此コトヲ質問致シマシタガ、政府委員ノ御答ハ臺灣全部ニ對シテ給水工事ヲ敷クノデハナイ、唯臺北ダケデアルト

云フ御答ニアル（「無用（く）ト呼フ者アリ」）アタナ方ガヤカマシク言ツテモ、其中ニ重立ツタ人ガ聽イテ吳レバ宜イノデアル、所ガ此臺北位日本中ニ於テ水ノ供給ノ澤山ナ所ハナインデアル、江戸ニ水道ノ工事が起シタカラト云フモ、臺北程水ハ澤山ナシ、一軒々々ノ間ニ皆噴水デヤクテ居ル、吾々内地人カラ見ルト、殆ド夢ニダモ見ナイ程水ノ供給ガ盛ニアリマスカラ、是ハ自由黨ノ方ガ御存シナインラバ、教ヘテ上ゲマス、私ハ一カラ十マデハ臺灣ノ工事ニ對シテ、反對ニアルト云フコトヲ申シマス、併ナガラ終リニ一言申述ベテ置キタイノハ、委員會ノ始末ニアル、委員會ノ反對シタ所ノ理由ト云フモノハ、何ニアルカト云フト、二十年計畫ト云フコトノタメニアル、二十年計畫ノタメニアルケレドモ、臺灣ト云フ所ハ母國カラ保護シナケレバナラナイ必要ガアルト云フノデ、ソレガ委員會ノ贊成シタ理由ニアリマスカラ、是ハ消スコトガ出來ナイノデアリマス、御注意ノタメニ此コトヲ申上ゲテ置キタイ

○議長（片岡健吉君）新井章吾君

〔新井章吾君演壇ニ登ル〕

○新井章吾君（百七十二番）諸君、私ハ此問題ニ附イテハ既ニ豫算ニ於テ決

定致シテ居ルコトニアルカラ、敢テ論ズル必要ハナイト心得テ居リシタガ

唯今野間君が途方モナイトヲ言ハレタカラ、私ハ一言諸君ノ前ニ於テ言ハ

ナケレバナラヌコトガ生ジタノニアリマス、私ハ固ヨリ大體ニ於テ原案ヲ贊

成スル者デゴザイマスガ、唯今野間君カラ小數意見トシテ報道セラレタノ

ハ、是ハ私カラ見マスト、少數意見ノ報告ニアラズシテ、野間君ガ一個ノ意

見トシテ、政府委員トノ問答ノ御披露ヲ致シタト云フニ過ギナインデアル、吾

吾ガ原案ヲ贊成スルト云フ趣意ハ、臺灣ノ經營ト云フモノヲ完ウセシムル

タメニ贊成シタノデアル、折角臺灣ト云フモノヲ我國ノ領土ニ致シマシテモ、

苟モ此臺灣ハ東洋ノ形勢上日本ニ取シテ最モ必要ナリト云フ考ヲ持ツ以上ハ

ドウシテモ此臺灣ト云フモノヲ發達セシメナケレバナラヌノデゴザイマス、吾

臺灣ヲ發達セシメントスルナラバ、今日マデノ如ク之ヲ打捨テ、置イテ

ハ、到底發達ノシヤウガナインデアル、テ中島君ハ是マデ治績ノ見ルベキモ

ノガナイト云フコトヲ言ハレタノデアル、是ハ或ハ其非難ガアルカモ知レナ

イ、併ナガラ臺灣ヲ占領シテ以來、年月ガ浅イノデゴザイマスカラ、ドンナエ

ライ人ガヤク所ガ、早速治績ノ見ルベキモノガアル筈ハナインデアル、中島

君ガ行ニテ、自ラ民政局長トナツテモ、臺灣總督トナツテモ、私ハ覺束ナイト

思フノデアル、故ニ臺灣ノ治績ト云フモノハ、漸ヲ以テ行カナケレバナラ

イ、併ナガラ之ヲ棄テ、置イテハ、幾ラ漸ヲ以テ之ヲ進メヤウトシテモ、發

達ノシヤウガナインデアル、是ニ於テ乎、今回政府ヨリ提出セラレタル所ノ

此事業公債ヲ起シテ、此必要ナル事業ニ充テナケレバ、將來臺灣ノ發達ハ期シ

テ俟ツコトガ出來ヌト私ハ信ズルノデゴザイマス（恵松隆慶君）是ハ政府委員

ヨリ尙ホ詳シイト呼フ恵松君ハ聽タマヘ、何ボ進行委員デモ、サウ進行バ

カリシテ、反對論バカリ言ハシテ贊成論ヲ言ハセヌト云フ話ハナ（謹聽）ト

呼フ者アリソコニ委員會ニ於テ、私ハ多言ハ費サヌ、委員會ニ於テ反對論

者ト雖モ、絶対ノ反對ニハナインデアル、其反對論者ノ理由トスル所ハ、此野

間君ノ言ハレルノトハ大變違シ居ル、反對ノ理由ト云フモノハ、成ル程臺灣ノ事業ト云フモノハ、必要ト認ム、併ナガラ此公債ヲ募集致シテ之ヲ償還

スル所ノ調ト云フモノハ、マダ不確實ニアル、若シモ此二十年計畫ト云フモ

ノガ間違^タタ日ニハ、又本國カラ金ヲ出サナケレバナデヌヤウナ不幸ニナルカラ、容易ニ贊成ハ出來ヌト云フ理由ト、ソレカラ又此臺灣ノ事業ト云フモノハ、實ニ非常ナル大事業デアル、然ルニ政府ガ突然之ヲ出シタト云フコトハ、誠ニ吾ミノ容易ニ贊成ヲスルコトノ出來ナイ問題デアルカラ、吾ミハ突然ニ斯様ナ問題ニ出逢^タテハ決スルコトガ出來スカラ、暫ク宿題ト致シテ之ヲ研究スルマデ先ツ延シテ置カウト云フ、是ダケノ二ツノ理由ヨリ外ハナイト、私ハ信ズルノデアル、然ルニ委員會ニ於テハ一イヤ、委員會デハナイ、私ノ說ハ一イヤ、此二十年計畫ト云フモノハ、固ヨリ是ハ參考ニ出シタモノデアル、政府當局者ハ間違ナイト自ラ信ジテ居ルカラモ知レマセヌケレドモ、私共ハ縱シヤ將來ノコトテ、二十年マデ懸ル後ノコトデアリマスカラ、縱シヤ間違^タテモ宜シイ、間違^タラバ間違^タトキノ、其トキノ臨機ノ所置ヲスルヨリ仕方ガナイガ、此事業ト云フモノハ、一日モ忽ニスベカラザルモノデアル、縱令臺灣ノ經濟ノ獨立ガ出來ナイニシタ所ガ、母國ニ於テモ臺灣ヲ維持シヤウト云フナラバ、是ダケノ事業ハシナケレバナラヌ程ノ必要ナル問題デアルカラシテ、縱シヤ二十年計畫ガ不完全ナ點アリトスルモ、將來ニ於テ多少ノ變更アリトスルモ、此事業ト云フモノガ、一日モ忽ニスベカラザルモノデアルカラ、本年ニ於テ之ヲ贊成セザルヲ得ヌト云フノデアル、是ガ私ノ論デアル、ソレ故ニ私ノ論デ決定致シタト云フ譯デハアリマセヌケレドモ、先ヅサウ云フ論デ、此委員會ト云フモノハ、決定致シタノデゴザイスル、デ此鐵道ト云フモノハ、野間君ハ彼此妙ナコトヲ言ハレタケレドモ鐵道ノ敷設ノ一日モ忽ニスベカラザル形勢ニナシテ參リマシタガ故ニ、ドウシ道ト云フモノハ既ニ衆議院ニ於テモ必要ヲ認メテ、私立會社ニ保護金マデモテモ民設ニ於テ爲スコトガ出來ヌカッタナラバ、之ヲ官設ヲ以テ敷設シナケレバナラヌト云フ有様ニナツタノデアル、然ルニ此野間君ノ言ハル、ガ如クニ、イヤ、其賃錢ガ幾ラ、何ガ幾ラト云フコトガ分ラヌカラ、贊成ヲスルコトガ出來ヌト云フコトハ、唯是ハ政府委員ヲ困ラセル所ノ一ノ手段デアル、反對スル所ノ一ノ狡猾手段ト言ハナケレバナラヌト思フノデゴザイマヌタメニ此鐵道敷設ニ反對セラル、カ、野間君ノ論旨頗ル私ハ怪シデ居ルノデアル(拍手スル者アリ)野間君自ラ臺灣ニ御出ニナツタ經驗ガアルコトデアルカラ、彼地ノ狀況ヲ熟察致シテ居ラル、デアラウガ、果シテ然ラバ野間君ノ胸中鐵道敷設ノ必要ト云フコトハ十分御承知ナ苦デアル、然ルニ何ガアル^(ヒヤ)ト呼フ者アリ「君ノ論旨モ疑フ」ト呼フ者アリ)私ノ論旨ヲ疑フ、疑フナラバモウ少シ言ツテ聞カセル、ソレカラ土地調查ノコトデアル、土地調查ノコトニ於テ、其大租權買收ト云フコトガ出來ナイト云フコトヲ反對論者ハ言ハレル、是ハ出來ルカ出來ナイカ、ヤツテ見ナケレバ分ラヌノデアル、併ナガラ私ハ出來ヤウト思フ、大租權ト云フモノヲ買收シ、土地ト云フモノヲ整理シテ往カナカツタナラバ、臺灣ノ此歲入ト云フモノハ増シテ來ナイノデアル、諸君ハ臺灣ノ經濟ノ紊亂トカ、臺灣ノ經濟ノ獨立トカ云フコトヲ頻ニ言ハレルガ、臺灣ノ經濟ノ獨立ヲ期シ、臺灣ノ財政ノ完全ヲ期スルト云フコトナラバ、此土地整理ヲ一日モ早クサセテ、サウシテ財政ノ豐ナルヲ望マナケレバナラヌ、此土地整理ノ結果、大租權買收ノ結果ト云フモノハ、將來大ニ

臺灣ノ地租ト云フモノガ增加スルノ望ガアルノデアル、然ルニ土地整理モセズ、大租權買收ヲモセヌト云フコトデアツタナラバ、臺灣ノ此土地カラ上ル稅源ト云フモノハ、殆ド發達シヤウガナイト思フノデゴザイマスカラ、此財政ノ點經濟ノ點ヨリ論ジマシテモ、此土地整理ト云フハ必要ナノデゴザイマス、ソレカラマダ有ツタッケ（「大抵デ宜シイ」ト呼フ者アリ）ソレカラ築港ノコトハ、論ズルマデモナイ、野間君ハ政府ノ計畫通ニスレバ、計畫ガ小サイ、軍艦ハ這入ラヌ、僅ニ商船シキヤ這入ラヌト云フコトヲ言ハレタ、是ハ或ハ多少尤ナ所ガアルカモ知レマセヌ、併ナガラ此築港ヲ完全ニスルト云フナラバ、尙ホ八百万圓ヲ要スルノデアル、然ルニサウ一度ニ出來ヌカラ、先ヅ以テ商船ダケデモ入レルダケノ計畫ヲ立ツテ、ソレヲ今日實行シャウト云フノデアル、然ルニ野間君ハ完全ニ出來ナケレバセヌ方ガ宜イト云フコトハ、私ハ同意スルコトハ出來ヌノデアル縱令完全ニ至ラズトモ、先ヅ商船ダケデモ這入ルダケノ築港ニシテ置イテ、他日財政ノ豐ナルヲ俟ツテ更ニ完全ナル築港ヲ企テルコトハ私ハ順序ニ於テ相當ナモノデアルト思フノデゴザイマス、其他此廳舍建築ノコトニ於キマシテハ、既ニ條約實施ノ日モ近コトハ、其トハ同意スルコトハ出來ヌノデアル縱令完全ニ至ラズトモ、先ヅ商寄ツテ居リマスガ、故ニ監獄ノ改築ヲシナケレバナラヌ必要ガ生ジテ居ルノデアル、今日ノ如キ臺灣ノ不完全ナ監獄デハ、到底之ヲ我慢スルコトガ出來ナインデゴザイマスカラ、是非トモ此監獄ハ改築シナケレバナラヌ、又官吏ノ此官舍ト云フモノモ、今日ハ誠ニ不完全極マル、實ニ健康ヲ害スルノ恐アル所ノ官舍ニ皆住ツテ居ルノデアル、是等ノ人ト云フモノハ、皆母國ヲ離レテ遠ク臺灣ノ土地ニ參ツテ居ルモノデゴザイマスカラ、責メテ此家族デモ連レテ安樂ニ住ハレルト云フヤウナモノニシテヤラナケレバ、實ニ此安心シテ臺灣ノ土地ニ奉職致シテ居ル者ガナインデアル、或ハ破落戸漢ミタヤウナ者ガチヨツト往ツテ見テ來ヤウ位ナ者ハ、往クカモ知レマセヌケレドモ、苟モ臺灣ノタメニ國家ノタメニ盡サウト云フ官吏ハ、斯ウ云フ其誠ニ土地ノ惡ルイ、季候ノ惡ルイ、取扱ノ惡ルイ所デハ、安心シテ務メル者ハナインデゴザイマス、ソレ故ニ是等ノ者ヲシテ安心シテ、其職ヲ奉ゼシムルト云フニ附イテハ、ドウシテモ此官舍ト云フモノヲ捨ヘテ與ヘルト云フコトハ、最モ必要ナルモノデアラウト思フ、然ルニ反對論者ハ官舍ハ今日ノ儘デ間ニ合フ、ソレヨリモ兵隊ノ方ノ舍營ノ方ニ其費用ヲ充テタガ宜シイト云フヤウナ口氣ヲ以テ述ベラレタヤウデゴザイマスクレドモ、是モ或ハ必要カモ知レマセヌケレドモ、兎ニ角之ハ問題外デアル、其方ハ宜シク陸軍省ニ於テ要求シテ來タルバ、其トキニ於テ又可否ノ意見ヲ定ムルデゴザイマセウガ、野間君ガ此トハ別ニ論ジマセヌガ、以上述ベマシタル如ク、臺灣ノ經營ト云フモノヲ完場合ニ於テ、ソレヲ論ズルト云フコトハ、少シク方角違ノコトデアラウト私ハ思フノデアル、給水工事ノコトニ於キマシテハ、是ハ敢テ私ハ論ジマセヌ、何トナレバ豫算ニ於テ既ニ確定致シテ居ルコトデゴザイマスカラ、此コトハ別ニ論ジマセヌガ、以上述ベマシタル如ク、臺灣ノ經營ト云フモノヲ完港、廳舍建築ト云フコトハ、ドウシテモ今年議會ニ於テ之ニ協賛ヲ與ヘ、此ニ著手セシメナケレバ、國家ノタメニ大イナル不利益ト信ズルガ故ニ、吾ハ之ニ贊成スルノデゴザイマス

○讀長（片岡健吉君）「討論終結、直チニ第二讀會ヲ開カレタシ」ト呼フ者アリ
採決致シマス、本案二附イテ一讀會ヲ開カ

「討論終結、直チニ第一讀會ヲ開カレタシ」ト呼フ者アリ
片岡健吉君 採決致シマス、本案ニ附イテ一讀會ヲ開カ

君ノ起立ヲ請ヒマス
起立者 多數

○議長(片岡健吉君) 多數ト認メマス

○工藤行幹君(百二十五番) 此事業公債ノ委員會ヲ開キタウゴザイマスカ

テ……

○議長(片岡健吉君) 工藤行幹君カラ、事業公債ノ委員會ヲ開キタウゴザイマスカ

云フコトデゴザイマスガ、御異議ガナケレバ、許スコトニ致シマス

○議長(片岡健吉君) 降旗元太郎君モ、是ヨリ鐵道敷設法ノ委員會ヲ開キタウゴザイマスカラ、退席ヲ請ヒマス

○議長(片岡健吉君) 降旗元太郎君モ、是ヨリ委員會ヲ開キタウゴザイマスマイカ

デゴザイマスガ、御異議ハゴザイマスマイカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、許スコトニ致シマス

○降旗元太郎君(一百四十五番) 是ヨリ鐵道敷設法ノ委員會ヲ開キタウゴザイマスカラ、退席ヲ請ヒマス

○議長(片岡健吉君) 降旗元太郎君モ、是ヨリ委員會ヲ開キタウゴザイマス

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、許スコトニ致シマス

○脇坂行三君(八十一番) 製藥事業ニ關スル建議案ノ委員會ヲ開キタウゴザイマスカラ、是ヨリ退席ヲ請ヒマス

○議長(片岡健吉君) 脇坂行三君モ、製藥事業ニ關スル建議案ノ委員會ヲ開キタウゴザイマスカラ、是ヨリ退席ヲ請ヒマス

○議長(片岡健吉君) 脇坂行三君モ、製藥事業ニ關スル建議案ノ委員會ヲ開キタウゴザイマスカラ、是ヨリ退席ヲ請ヒマス

○議長(片岡健吉君) 〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、許スコトニ致シマス

○恵松隆慶君(九十七番) 全部議題ト爲サレタイ

○議長(片岡健吉君) マダ二讀會ヲ開クノ動議ガ出マセヌ

○星亨君(二百三十四番) 直チニ二讀會ヲ開クノ動議ヲ提出致シマス

○議長(片岡健吉君) 星亨君カラ、本案ハ直チニ二讀會ヲ開キタウゴトコ

トデアリマスガ、御異議ハゴザイマスマイカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、直チニ二讀會ヲ開クコトニ致シマス

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、直チニ二讀會ヲ開クコトニ致シマス

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、直チニ二讀會ヲ開クコトニ致シマス

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、直チニ二讀會ヲ開クコトニ致シマス

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、直チニ二讀會ヲ開クコトニ致シマス

〔贊成々々ト呼フ者アリ〕

○議長(片岡健吉君) 此採決ヲ斯ウシヤウト思ヒマス、今星亨君ノ修正説ノアル所ハ星君ノ修正通、委員會ノ修正説ノアル所ハ委員會ノ修正通、其他ニ

修正ノナイ所ハ、原案ノ通テ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、其通決シマス

○早川龍介君(二十七番) 直チニ三讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス

〔贊成々々ト呼フ者アリ〕

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、直チニ三讀會ヲ開キマス

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(片岡健吉君) 本案ニ附イテ御異議ハゴザイマスマイカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、本案ノ通決シマス、議事日程ノ第十六、航海獎勵法中改正法律案——山本幸彦君

第十六 航海獎勵法中改正法律案(政府 提出)

第一讀會ノ續(報告)

第三讀會

(山本幸彦君演壇ニ登ル)

○山本幸彦君(百八十九番) 委員會ノ審査ノ御報告ヲ致シマスル、案モ甚ダ

簡短デゴザイマスガ故ニ、取約メテ簡短ニ御報告ヲ致シマスル、元ト此航海

獎勵法ニハ、外國ニ於テ製造サレタ船舶ハ、此獎勵法ニ於テ、内國ニ於テ製造

造サレタ船舶ト同一ノ獎勵金ヲ受クベキコトニナ、テ居ルノデゴザイマス、改

然ルヲ今回此案ニ現レテ居ル通、本年ノ十月一日ヨリ以後ハ、外國ノ製造ニ

係ル船舶ヲバ、從來ノ獎勵金ト半額ヲ給スルト云フコトニ、制限ヲ附ケルト

云フ改正デゴザイマス、ソレカラモウツハ、此現行法ハ無限ノモノニナッ

テ居ルノデゴザイマス、ソレヘ對シテ現行法ノ施行當年ヨリ向フ十八箇年間

ノ有效ニセシムルト云フ、即チ期限ヲ附スルト云フノコトデゴザイマス、改

正ノ要旨ハ此二箇條デゴザイマス、甚ダ簡短デゴザイマスルケレドモ、此

獎勵金ニ制限ヲ附ケルト云フコトニ附イテハ、回漕業者ニ或ハ關係ヲ及スカ

ノ虞モアリマシタ、故ニ委員會ニ於キマシテハ二回マデ委員會ヲ開イテ、種

様ニ政府ニ質問モ致シタコトデゴザイマシタ、或ハ調査ヲ致シタモノヲ求

メテ、ソレニ附イテモ審査ヲ致シタコトデゴザイマシタガ、追々此獎勵法發

布以來非常ニ好結果ヲ奏シテ、サウシテ殆ド此船舶ノ外國若タハ内國ノ製造

ニ係ル船舶ハ、此兩三年此方非常ノ速力ヲ以テ、増加ヲ致シタ今日ニ相成

トシテ、修正シナケレバナラヌト思ヒマス、即チ本案ノ第一條ニ於テ、四千

万ト云フノハ、三千五百万ト云フコトニナラナケレバ、イクマイト思ヒマス、ソレカラシテ第一條ノ五號ノ治水工事ト云フモノハ、此中カラ削除ニナラ

ナケレバナラヌト考ヘル、右申シタ一條ノ中ノ一二三トアル五號ノ給水工事、

是ハ全體ナクナルノデアル

○恵松隆慶君(九十七番) 唯今星君ノ説ハ、皆豫算ノ結果カラ出ルノデアル

カラ、之ニ反対ト云フコトハアリマセヌ、直チニ決議ナランコトヲ希望致シマス

〔贊成々々ト呼フ者アリ〕

○議長(片岡健吉君) 此採決ヲ斯ウシヤウト思ヒマス、今星亨君ノ修正説ノアル所ハ星君ノ修正通、委員會ノ修正説ノアル所ハ委員會ノ修正通、其他ニ

○議長(片岡健吉君) 本案ニ附イテ御異議アサマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、原案ノ通決シマス、次ノ日程第十九ハ、委員長カラ此議事ヲ延バシテ貴ヒタイト云フ申出ガアリマスカラ、延バスコトニ致シマス、議事日程ノ第二十、第二十一、第二十二、第二十三ハ

一緒に議事ニ附シテハドウデスカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、其通致シマス

第二十 外國人又ハ外國法人ノ物權ノ登記ニ關スル 第一讀會

第二十一 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第二十二 議員ノ選舉及被選舉資格ニ關スル法律 第一讀會

第二十三 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
外國人又ハ外國法人ノ物權ノ登記ニ關スル法律案
外國人又ハ外國法人カ改正條約實施前ニ爲シタル不動産又ハ船舶ニ關スル
物權ノ得喪及ヒ其變更ニ付登記ヲ爲スヘキ場合及ヒ其登記ノ手續ニ付テハ
勅令ヲ以テ別段ノ規定ヲ設クルコトヲ得

議員ノ選舉及被選舉資格ニ關スル法律案
法律命令ニ據リテ選舉スル議會ノ議員選舉及被選舉ノ資格中地租納稅額ヲ
以テ其ノ資格ヲ定ムルモノハ土地臺帳ニ依ル

○恵松慶隆君(九十七番) 別々デス
○議長(片岡健吉君) 恵松慶隆君ノ動議ノ通、此二案ニ附イテ各別ニ九名ノ
特別委員ヲ議長ガ指名シテ、御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、其通致シマス
○恵松慶隆君(九十七番) 此場合ニチヨウト緊急動議ヲ提シマス、此遺失物
法案ト云フモノガ、貴族院カラコチラニ回ツタノデゴザイマス、是ダケハ今日
委員ヲ選ブト云フ緊急動議デゴザイマス、ドウカ御賛成アランコトヲ望ミマ
ス
〔賛成ト呼フ者アリ〕

○恵松慶隆君(九十七番) 問題ニナリマシタカ
○議長(片岡健吉君) 此協議會ノ委員ヲ選ブト云フコトデゴザイマスカ
○恵松慶隆君(九十七番) 是ハ貴族院カラ送付ニナッテ、報告ノアッタ案デ
ゴザイマス
○議長(片岡健吉君) 恵松慶隆君カラ、議事日程ヲ變更スルト云フ動議デゴ

ザイマシタガ此遺失物法案ト云フモノガ、貴族院カラ送付ニナッテ居リマス

〔恵松慶君議案ノ報告ガアツタカラ、委員ヲ選ブノダト呼フ〕
〔工藤行幹君「ナンデモ宜イガ、サウ云フコトハト呼ブ〕

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、遺失物法案一讀會ヲ開クコトニ致シマス、議案ノ朗讀ヲ省略致シマス

遺失物法案(政府提出貴族院送付)

(小字及ハ
貴族院ノ修正)

第一條 遺失物法
他入ノ遺失シタル物件ヲ拾得シタル者ハ速ニ遺失者又ハ所有者其ノ他物件回復ノ請求權ヲ有スル者ニ其ノ物件ヲ返還シ又ハ警察官署ニ之ヲ差出スヘン但シ法令ノ規定ニ依リ私ニ所有所持スルコトヲ禁シタル物件ハ返還スルノ限ニアラス

物件ヲ警察官署ニ差出シタルトキハ警察官署ハ物件ノ返還ヲ受クヘキ者ニ之ヲ返還スヘシ若シ返還ヲ受クヘキ者ノ氏名又ハ居所ヲ知ルコト能ハサルトキハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ公告ヲ爲スヘシ

第二條 警察官署ハ其ノ保管ノ物件滅失又ハ毀損ノ虞アルトキ又ハ其ノ保管ニ不相當ノ費用若ハ手數ヲ要スルトキハ命令ノ定ムル方法ニ從ヒ之ヲ賣却スルコトヲ得

賣却費用ハ賣却代金ヨリ支辨ス
賣却費用ヲ控除シタル賣却代金ノ殘額ハ拾得物ト看做シテ之ヲ保管ス

第三條 拾得物ノ保管費公告費其ノ他必要ナル費用ハ物件ノ返還ヲ受クル者又ハ物件ノ所有權ヲ取得シ之ヲ引取ル者ノ負擔トシ民法第二百九十五條乃至第三百二條ノ規定ヲ適用ス

第四條 物件ノ返還ヲ受クル者ハ物件ノ價格百分ノ十ヨリ少カラス二十ヨリ多カラサル報勞金ヲ拾得者ニ給スヘン但シ國庫其ノ他公ノ法人ハ報勞金ヲ請求スルコトヲ得ス
百分ノ五

第五條 第二條ニ依リ賣却シタル物件ニ付テハ賣却代金ノ額ヲ以テ物件ノ價格トス

第六條 第三條ノ費用及第四條ノ報勞金ハ物件ヲ返還シタル後一箇月ヲ過クルトキハ之ヲ請求スルコトヲ得ス
第七條 拾得者ハ豫メ申告シテ拾得物ニ關スル一切ノ權利ヲ抛棄シ義務ヲ免ルルコトヲ得

第八條 物件ノ返還ヲ受クヘキ者ハ其ノ權利ヲ抛棄シテ第三條ノ費用及第四條ノ報勞金辨償ノ義務ヲ免ルルコトヲ得

物件ノ所有權ヲ取得ス但シ拾得者其ノ取得權ヲ抛棄シ第一項ノ例ニ依ルコトヲ得
法令ノ規定ニ依リ私ニ所有所持スルコトヲ禁シタル物件ヲ拾取シタル者
ハ所有權ヲ取得スルノ限ニアラス

拾得

法令ノ規定ニ依リ私ニ所有所持スルコトヲ禁シタル物件ヲ拾取シタル者

第九條 第十六條ニ依リ處罰セラレタル者及拾得ノ日ヨリ七日内ニ第一條
第一項又ハ第十一條第一項ノ手續ヲ爲サル者ハ第二條ノ費用及第四條
ノ報勞金ヲ受クルノ權利竝ニ拾得物ノ所有權ヲ取得スルノ權利ヲ失フ
第十條 管守者アル船車建築物其ノ他公衆ノ通行ヲ禁シタル構内ニ於テ
人ノ物件ヲ拾得シタル者ハ其ノ物件ヲ管守者ニ交付スヘシ
前項ノ場合ニ於テハ船車建築物等ノ占有者ヲ以テ拾得者トス自己ノ管守
スル場所ニ於テ他人ノ物件ヲ拾得シタル者亦同シ
本條ノ場合ニ於テ報勞金ハ前項ノ占有者ト現ニ物件ヲ拾得シタル者ト折
半スヘシ

第十一條 犯罪者ノ置去リタルモノト認ムル物件ヲ拾得シタル者ハ速ニ其
ノ物件ヲ警察官署ニ差出スヘシ
前項ノ物件ニ關シテハ法律ノ規定ニ依リ沒收スルモノヲ除ク外本法及民
法第二百四十條ノ規定ヲ準用ス但シ公訴權消滅ノ日ヨリ一箇年間還付ヲ
受クル者ナキトキニ限り拾得者ニ於テ所有權ヲ取得ス
犯罪搜查ノ爲必要ナルトキハ警察官ニ於テ公訴權消滅ノ日マテ公告ヲ爲
ササルコトヲ得

第十二條 誤テ占有シタル物件他人ノ置去リタル物件又ハ逸走ノ家畜ニ關
シテハ本法及民法第二百四十條ノ規定ヲ準用ス但シ誤テ物件ヲ換易シタ
ル者ハ第三條ノ費用及第四條ノ報勞金ヲ請求スルコトヲ得ス

第十三條 埋藏物ニ關シテハ第十條ヲ除クノ外本法ノ規定ヲ準用ス
學術技藝若ハ考古ノ資料ニ供スヘキ埋藏物ニシテ其ノ所有者知レサルト
キハ其ノ所有權ハ國庫ニ歸屬ス此ノ場合ニ於テハ國庫ハ埋藏物ノ發見者
及埋藏物ヲ發見シタル土地ノ所有者ニ通知シ其ノ價格ニ相當スル金額ヲ
給給スヘシ

埋藏物ノ發見者ト埋藏物ヲ發見シタル土地ノ所有者ト異ルトキハ前項ノ
金額ハ折半シテ之ヲ給スヘシ

本條ノ金額ニ不服アル者ハ第二項ノ通知ノ日ヨリ六箇月内ニ民事訴訟ヲ
提起スルコトヲ得

第十四條 本法及民法第二百四十條第二百四十一條ノ規定ニ依リ物件ノ所
有權ヲ取得シタル者取得ノ日ヨリ一箇年内ニ物件ヲ警察官署ニ引取ラサ
ルトキハ所有權ヲ喪失ス

第十五條 本法ノ規定ニ依リ警察官署ニ保管スル物件ニシテ交付ヲ受クル
者ナキトキハ其ノ所有權ハ國庫ニ歸屬ス

第十六條 拾得物其ノ他本法ノ規定ヲ準用スル物件ヲ隱匿シ若ハ不正ニ處
分シタル者ハ三月以下ノ重禁錮又ハ二十圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ罪ハ刑法第三百七十七條ニ掲ケタル親屬ニ係ルトキハ之ヲ論セス

第十七條 明治九年第五十六號布告遺失物取扱規則ハ本法施行ノ日ヨリ廢
止ス

○恵松隆慶君(九十七番) 直チニ議長カラ、九名ノ委員ヲ指定セラレンコト
ヲ望ミマス

○議長(片岡健吉君) 御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、九名ノ特別委員ヲ、議長ガ指名ス
ルコトニ致シマス——報告ガアリマス

〔寺田書記官朗讀〕

國有土地森林原野下戻法案協議委員議長ニ工藤行幹君副議長ニ重野謙次郎
君當選セラレタリ

特別委員左ノ通指名セリ
外國人又ハ外國法人ノ物權ノ登記ニ關スル法律案委員

齊藤安雄君

門脇重雄君

初見八郎君

新開貢君

鹽田忠左衛門君

武石敬治君

遺失物法案委員

武弘宜路君

後藤文一郎君

星野助左衛門君

名須川良平君

望月長夫君

小林乾一郎君

松尾又雄君

内山松世君

前島丈之助君

高津雅雄君

廣住久道君

四宮有信君

渡邊猶人君

高津雅雄君

德增源太郎君

石原半右衛門君

浦野錠平君

渡邊猶人君

高津雅雄君

初見八郎君

新開貢君

鹽田忠左衛門君

武石敬治君

遺失物法案委員

齊藤安雄君

門脇重雄君

初見八郎君

新開貢君

鹽田忠左衛門君

武石敬治君

遺失物法案委員

齊藤安雄君

門脇重雄君

初見八郎君

新開貢君

鹽田忠左衛門君

武石敬治君

遺失物法案委員

齊藤安雄君

門脇重雄君

初見八郎君

新開貢君

鹽田忠左衛門君

武石敬治君

○議長(片岡健吉君) 工藤行幹君(百二十五番) 議長
○議長(片岡健吉君) 工藤行幹君(百二十五番) 恵松君ハ何時デモ、サウ云フコトヲ言ヒマスガ、
次ノ斗南藩ニ關スルコトハ、極軒要ナモノデゴザイマス、之ヲ止メテ……。
〔利光鶴松君・恵松君ハ不徳義ダト呼フ〕
タ、此段報告致シマス

○議長(片岡健吉君) 斗南藩士家祿給與法案、第一讀會ノ續、委員長報告

○議長(片岡健吉君) 斗南藩士家祿給與法案(鰐島) 第一讀會ノ續(委員長)

○議長(片岡健吉君) 相政君外四名提出

○議長(片岡健吉君) 恵松君(百七十三番) 僕ハ報告ニ賛成スルハト呼フ

○議長(片岡健吉君) 斗南藩士家祿給與法案、第一讀會ノ續、委員長報告

○議長(片岡健吉君) 斗南藩士家祿給與法案(鰐島) 第一讀會ノ續(委員長)

○議長(片岡健吉君) 恵松君(百七十三番) 本案ニ附キマシテハ、最初此議場ニ登リマシタ際
ニモ、政府ノ考ヲ申上ゲテ置キマシテガ、尙ホ重テ申上ゲザルヲ得マセヌカ
ラ、簡短ニ申上ゲマス、其節ニモ申上ゲマシタ通、斗南藩士ハ全體祿ヲ持ツ
テ居ナカタノデス、免功扶持ト云フモノハアリマシタケレドモ、ソレハ家

族ノ頭數ニ從^フテ、救與シマシタルモノズ、決シテ祿ノ如キ性質ヲ持^フテ居^タモノデハナイノデアリマス、ソレニ向^クテ今日新タニ祿ヲ與ヘヤウト云フコトハ、道理ノ上ニ於テ、理由ノナイノミナラズ、實際ノ事情ニ附イテ考ヘテ見マシテモ、政府ハ是マデ斗南藩士ニ隨分補助ヲシテ居ルノデゴザイマス、即チ明治三年ノ三月ニ下賜スルコトニ定メマシタ米ガ四万五千石、其後九月ニ米一千二百石、金デ十七万兩、ソレカラ明治五年ニ米九万石遣ルコトニナリマシテ、ソレダケノ合計米ダケガ十三万六千二百石、金デ十七万兩、ソレデ其金額ヲ其當時ノ米相場一石三兩二分位^デ、換算ヲシテ見マスト、凡ソ是ガ米デ五万石位ニナル、是等ヲ合計シマスルト十八万石バカリノ米ヲ斗南藩士ニ中央政府ハ給與シテ居ルノデゴザイマス、ソレヲ此斗南藩士ガ、實際受ケテ居ルノデゴザイマス、ソレデ免功扶持ノ額ト、此額トヲ合計シテ、他ノ一般士族ニ對シテ、金祿公債證書ヲ與レマシタモノト比較致シマスト、餘程多イノデゴザイマス、是ハ斗南藩士ガ祿ヲ持^フテ居リマセヌカツタカラ、祿ノ代リニ祿ニ對シテヤ^クタト云フ譯デハナイガ、是ダケニ中央政府ハ、心配シテヤ^クタノデゴザイマス、ソレヲ今日ニナリマシテ、又中央政府カラシテ金ナリ公債證書ナリヲヤラウト云フコトハ、道理ノ上カラ考ヘマシテモ、亦實際ノ上カラ考ヘマシテモ、少モ其理由ガナイコトデゴザイマスカラ、ドウカ本員ハ、否決ニナランコトヲ望ミマス

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、確定ト認メマス——諸君ニ御注意申シテ置キマスガ、議長ガ宣告ヲシテ居ル間ニ發言ハナリマセメ

ノ上ニ於テ、理由ノナイノミナラズ、實際ノ事情ニ附イテ考ヘテ見マシテモ、政府ハ是マデ斗南藩士ニ隨分補助ヲシテ居ルノデゴザイマス、即チ明治三年ノ三月ニ下賜スルコトニ定メマシタ米ガ四万五千石、其後九月ニ米一千二百石、金デ十七万兩、ソレカラ明治五年ニ米九万石遣ルコトニナリマシテ、ソレダケノ合計米ダケガ十三万六千二百石、金デ十七万兩、ソレデ其金額ヲ其當時ノ米相場一石三兩二分位^デ、換算ヲシテ見マスト、凡ソ是ガ米デ五万石位ニナル、是等ヲ合計シマスルト十八万石バカリノ米ヲ斗南藩士ニ中央政府ハ給與シテ居ルノデゴザイマス、ソレヲ此斗南藩士ガ、實際受ケテ居ルノデゴザイマス、ソレデ免功扶持ノ額ト、此額トヲ合計シテ、他ノ一般士族ニ對シテ、金祿公債證書ヲ與レマシタモノト比較致シマスト、餘程多イノデゴザイマス、是ハ斗南藩士ガ祿ヲ持^フテ居リマセヌカツタカラ、祿ノ代リニ祿ニ對シテヤ^クタト云フ譯デハナイガ、是ダケニ中央政府ハ、心配シテヤ^クタノデゴザイマス、ソレヲ今日ニナリマシテ、又中央政府カラシテ金ナリ公債證書ナリヲヤラウト云フコトハ、道理ノ上カラ考ヘマシテモ、亦實際ノ上カラ考ヘマシテモ、少モ其理由ガナイコトデゴザイマスカラ、ドウカ本員ハ、否決ニナランコトヲ望ミマス

○議長(片岡健吉君) 定足數ヲ闕ケテ居ルト云フ說モアリマシ、テ尙ホ調べテ見ルト、定數ニ足リマセヌカラ、今日ハ是マデニ致シマス、明日ノ議事日程ハ、書面ヲ以テ御通知スルコトニ致シマス、明日ハ午後一時カラ開會スルコトニ致シマス、是デ散會ヲ致シマス

午後四時二十七分散會

○議長(片岡健吉君) 是ハ政府委員ノ反對ガアリマシタガ、是ハ贊成デゴザイマス

(「贊成々々」ト呼フ者アリ)

○神鞭知常君(一百九十二番) 此案ニ對シテ先年復祿ノコトニ附イテノ委員トナシテ、本員モ調査シタコトガゴザイマス、彼ノ三十年ノ五十號ノ布告ノトキニモ、是等ノモノハドウカ處分シナケレバナラヌカラシテ、彼ノ法案ノ成立ツコトヲ希望シテ居リマシタガ、斗南藩ガ當時彼ノ通難澁アナカヅタナラバ、チヤント相應ナ祿ハ定メラレテ、今日其公債證書ヲ付與サレテ居ルノガ、餘り難澁過ギテ免功扶持デモ、家族ヲ養切レナイヤウナ有様デアツタガタメニ、不辛ガ更ニ不幸ノ種子ニナシテ、貴ヘナカツタノデゴザイマス、故ニ本員ハ、本案ハ相當ナコト、思ヒマスルカラ、贊成ヲ致シマス

○議長(片岡健吉君) 第二讀會ヲ開クヤ否ヤニ附イテ、採決ヲ致シマス

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、第二讀會ヲ開クコトニ致シマス

○恵松隆慶君(九十七番) 讀會省略ノ動議ヲ……

○議長(片岡健吉君) 讀會省略ノ動議が出マシタガ、御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 本員ハ委員會ノ修正ノアル所ハ、委員會ノ修正通、委員會ノ修正ノナシ所ハ、原案通デ、御異議ハアリマセヌカ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、讀會ハ省略致シマス

確定議

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 本員ハ委員會ノ修正ノアル所ハ、委員會ノ修正通、委員會ノ修正ノナシ所ハ、原案通デ、御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)